

赤十字概論

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年・編入3年次 開講期：前期 対応DP：「1」連携 「2」関係 「3」探求 実務
経験がある教員：○ 科目ナンバー：HBRC100

○角田 敦彦

■ 授業の目的

国際赤十字・赤新月運動の歴史、活動、理念の学びを通して人間として、また人道を実現する医療人に相応しい人間的資質を養う。

■ 到達目標

1. 国際赤十字・赤新月運動(日本赤十字社を含む)の歴史、理念、活動について理解し、説明できる。
2. 赤十字と国際人道法の基本的な内容や赤十字標章の正しい使い方について自分の言葉で説明できる。
3. 人道と人権の概念の理解を深め、人間尊重の文化について自分なりの意見を持つことができる。
4. 学習した内容を元に他者に赤十字の概要を説明できる。

■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。科目担当者の実務経験から、人道支援に関する具体的な事例を取り上げ、映像等も交えて紹介する。

特に授業参加者は自らの問題意識を高め、積極的な質疑、発言を行うことが期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：授業の進め方について 国際赤十字・赤新月運動の起源とアンリ・デュナン 事前学修：[30分] 国際赤十字運動に関する記事等を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	国際赤十字のしくみと活動 事前学修：[30分] 国際赤十字に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	日本赤十字社のしくみと活動 事前学修：[30分] 日本赤十字社の組織・活動に関する資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	赤十字運動の基本原則：人道 公平 中立 独立 奉仕 単一 世界性 事前学修：[30分] 赤十字運動の基本原則について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	戦争の歴史と国際人道法 事前学修：[30分] 国際人道法に関する参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	現代の武力紛争と赤十字及び国際人道法 事前学修：[30分] 現代の武力紛争の特徴について資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	赤十字標章の意味と適正な使用 事前学修：[30分] 赤十字標章について参考資料を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	国際社会における赤十字の役割 事前学修：[30分] 現代の人道危機に関する報道記事などを検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

■教科書

授業の中で、適宜資料を提示する。

■参考書、参考資料等

デュナン, H (1959). ソルフェリーノの思い出. 日本赤十字社.

井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂.

枘居孝・森正尚(2014). 新版 世界と日本の赤十字. 東信堂.

ピクテ, J (1979/2006)解説 赤十字基本原則. 東信堂

その他、日本赤十字社、ICRC の刊行物、ウェブサイトなど。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、実施後 7 日目を降 Glaxa 上にて、正答及び解説の掲示により行う。

■他の授業科目との関連

後期の赤十字国際活動論、3・4 年次の赤十字国際活動論(演習)は、赤十字概論を基礎に、より発展的な内容を取り扱う。

■成績評価の仕方

1. 授業への取組み 20 % 2. 試験 80 %

■オフィスアワー・研究室等

授業日(火)の 12 : 30~13 : 00 (角田 410 研究室)

心理学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 科目ナンバー：HBHU100

○遠藤 公久

■ 授業の目的

本講義では、人間の認知、感情、行動の諸特徴の基本的な心のしくみについて、ライフサイクルという時間と心の発達のあり方について、そして社会とのかかわりについて、心理学の基本的知識を理解し、心理臨床あるいは看護・介護にどのようにつながるかについても考察する。

■ 到達目標

1. 人の心のしくみについて理解する。
2. 人の心の発達について理解する。
3. 人の心と社会とのかかわりについて理解する。

■ 学習の進め方

1. 各単元ごとに、具体例を挙げながらわかりやすく講義形式によって説明する。基本的に毎回視聴覚教材を用いる。
2. 毎回授業の課題と感想(あれば不明な点)について記述を求め、質問には次の講義冒頭に説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：心を科学するとは 事前学修：[15分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[15分] 配布資料に目を通しておく	講義	遠藤
2	心のしくみ1：感覚と知覚(錯覚はなぜ起こるのか) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤
3	心のしくみ2：記憶と忘却(どのように覚え、忘れるのか、効率的な覚え方とは) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤
4	心のしくみ3：学習1(人が縁起をかつぐのはなぜか) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤
5	心のしくみ4：学習2(人はなぜ攻撃するのか) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤
6	心のしくみ5：感情と動機(感情はなぜ生れるか？ 意欲を高めるにはどうすればよいか) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤
7	心の発達1：心が発達するとは？ 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤
8	心の発達2：乳児期(赤ちゃんの能力はすごい！) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤
9	心の発達3：幼児・児童期(子どもの世界観ってどうなっているの？) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexaの確認テストを実施する	講義	遠藤

No	内容	形式	教員
10	心の発達4：青年期(アイデンティティに悩む若者、悩まない若者) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexa の確認テストを実施する	講義	遠藤
11	心の発達5：中年期・老年期(中年期の危機って？ 老いても発達するとは？) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexa の確認テストを実施する	講義	遠藤
12	心と社会1：対人関係の心理(人の印象はどう作られるのか、魅力的な人とは？) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexa の確認テストを実施する	講義	遠藤
13	心と社会2：対人関係の心理2(愛すること、信じること、でもときに危険な思い込みも) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[15分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく	講義	遠藤
14	心と社会3：集団心理(集団にいるときの心理の光と影) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexa の確認テストを実施する	講義	遠藤
15	心と社会4：災害心理学(災害時の「こころのケア」とは) 事前学修：[15分] 教科書を読み、内容をまとめておく 事後学修：[30分] 授業で扱った内容でわからないところを確認しておく Glexa の確認テストを実施する	講義	遠藤

■ 教科書

遠藤公久編著 (2019). 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する. 弘文堂.

■ 参考書、参考資料等

授業中に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

レポートの結果については、後期授業前にいつでも返却可能です。返却希望者は研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

他の授業科目との直接的な関連はない

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 課題(30%) 3. レポート(60%)で総合的に判断する。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日 12:30 - 14:30 遠藤(405 研究室) それ以外の場合にはメール：k-endo@redcross.ac.jp にてお問合せください。グレクサによるメールでも結構です。

■ 受講上の注意事項

遠隔授業に変更する場合には事前にお知らせします。

教育学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：HBHU101

○渋谷 真樹

■ 授業の目的

この授業では、教育の理念や歴史、方法、制度、課題などの概要を学びます。

教育学を概観することを通して、幅広い見識や、異なる文化や価値観を持つ人々を尊重する態度、主体的に課題を発見し解決する力を身に付けることを目的とします。

■ 到達目標

- 1 教育に関する思想、歴史、方法、制度の基本的事項について、簡潔に説明できる。
- 2 教育をめぐる課題について、自ら問いをもち、探究することができる。
- 3 教育と看護との共通点や相違点について、自分なりの考えを表明できる。

■ 学習の進め方

AL 講義・演習

受講生は皆、教育に関する経験や意見をもっていることでしょう。この授業では、それらをもとに、教育に対する問いを立て、講義や討論、小レポートの作成などを通して、その問いに接近していきます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 看護大学で教育学を学ぶ意義 事前学修：[60分] 教育をめぐる、印象に残っている体験を記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
2	教育とは何か 事前学修：[60分] 教育の目的について、自分なりの考えを記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
3	教育の思想：さまざまな子ども観 事前学修：[60分] 教育思想家をひとり選んで、概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
4	教育の歴史：学校のはじまりと変遷 事前学修：[60分] 学校のはじまりについて、概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
5	教育制度：戦前の制度や外国の制度との比較 事前学修：[60分] 現代日本の教育制度の概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
6	教育をめぐる法律：教育の権利の保障 事前学修：[60分] 教育基本法の概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
7	発達と学習 事前学修：[60分] 自分自身の学習体験を振り返って記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
8	教育の内容：カリキュラムとは 事前学修：[60分] 小学校の学習指導要領を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
9	教育の方法：系統主義と経験主義 事前学修：[60分] 印象に残っている授業について記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
10	教師の仕事：働き方をめぐって 事前学修：[60分] 印象に残っている教師について記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷

No	内容	形式	教員
11	学歴をめぐる競争：選択と選抜 事前学修：[60分] 自分の受験体験を記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
12	教育の課題：不登校 事前学修：[60分] 不登校の現状について調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
13	教育の課題：いじめ 事前学修：[60分] いじめ対策について調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
14	いのちの教育 事前学修：[60分] 生や死をめぐる教育実践を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷
15	ふりかえり・まとめ 事前学修：[60分] これまでの授業の資料やノートを整理し、ふりかえる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・ディスカッション(討論)	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しない。
授業中に関連資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

木村元編(2021). 系統看護学講座 基礎分野 教育学 [第8版]. 医学書院

■ フィードバックの仕方

リアクションペーパーには Glexa 上でコメントするとともに、次回以降の授業に反映させる。
最終レポートには、学期末までに Glexa 上でコメントする。

■ 他の授業科目との関連

看護教育学系の科目の基礎に位置づく科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%):リアクションペーパーや討論への参加状況から評価する。
最終レポート(50%)
最終的には、受講の状況と成果を総合的に判断して評価するので、Glexa 上の配点と異なることがある。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日 12:20-13:00
404 研究室

現代教育論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」関係 「2」探求 「3」国際貢献 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBHU150

○渋谷 真樹

■ 授業の目的

この授業では、現代社会において教育はどのような課題を抱えているのかを学び、その改善のためにどのような方法があり得るのかを考えます。

教育の現代的な課題を学習することを通して幅広い教養を培い、学び探究し続ける態度や、多様な他者と関係を築く力、グローバル社会に貢献する力を身に付けることを目指します。

■ 到達目標

- 1 現代的な教育課題について、基本的事項を説明できる。
- 2 現代的な教育課題の解決のために、多様な他者と関係を築く必要性を理解する。
- 3 現代社会と教育について、自らの問題意識を表明できる。

■ 学習の進め方

AL

講義や討論を通して、さまざまな教育の問題に接近していきましょう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：教育とはなにか 事前学修：[60分] この授業で学びたいこと、身に付けたい力を簡潔に記す。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
2	現代社会と教育 事前学修：[60分] 自分が受けてきた教育を批判的に振り返る。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
3	教育を科学する①：教師の仕事 事前学修：[60分] 自分が出会った教師について、批判的に振り返る。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
4	教育を科学する②：保健室という居場所 事前学修：[60分] 保健室の役割や実態について調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
5	教育・平等・公正①：子どもの貧困 事前学修：[60分] 子どもの貧困の現状を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
6	教育・平等・公正②：文化的再生産と教育格差 事前学修：[60分] 貧困の連鎖を生む仕組みについて、自分なりの考えをまとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
7	教育・平等・公正③：格差是正のための教育 事前学修：[60分] 子どもの貧困をめぐる政策や社会の動きを調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
8	教育・平等・公正④：平等とは？ 公正とは？ 事前学修：[60分] 平等や公正について、自分なりの考えをまとめる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
9	グローバル化と教育①：グローバル化とはなにか 事前学修：[60分] グローバリゼーションの特徴について調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
10	グローバル化と教育②：多文化の中で育つ子どもたち 事前学修：[60分] 外国にルーツをもつ子どもについて調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
11	グローバル化と教育③：多文化共生のための教育 事前学修：[60分] 多文化共生のための取組について調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷

No	内容	形式	教員
12	多様性と教育①：ジェンダーと教育 事前学修：[60分] ジェンダーをめぐる自分の問題意識を整理する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
13	多様性と教育②：多様な性・多様な家族 事前学修：[60分] 性や家族形態に関する多様性について調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
14	多様性と教育③：インクルーシブ教育 事前学修：[60分] 障害のある子どもについて調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷
15	まとめ：授業のふりかえりと今後の課題 事前学修：[90分] これまでの授業を振り返り、疑問点や問題意識を書き出す。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、リアクションペーパーを作成する。	講義・討論	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しません。

授業中に関連資料を配布します。

■ 参考書、参考資料等

阿部彩(2014). 子どもの貧困Ⅱ—解決策を考える—. 岩波新書.

内田良(2015). 教育という病—子どもと先生を苦しめる「教育リスク」—. 光文社新書.

松岡亮二(2019). 教育格差. 筑摩書房.

■ フィードバックの仕方

リアクションペーパーは、Glexa でコメントするとともに、随時授業に反映させます。

最終レポートのフィードバックも、Glexa で行います。

■ 他の授業科目との関連

「教育学概論」と関連しています。看護教育学系の科目を学ぶ上での基礎になります。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%)：授業への参加状況や小レポートを通して、意欲と理解を評価します。

定期試験(50%)：現代的な教育課題について、どのくらい多角的に考察し、論理的に表現できるかを評価します。

最終的には、上記を総合して判断します。

■ オフィスアワー・研究室等

火曜日 3 限終了後から 17:00 まで、404 研究室

身体運動論 I (理論)

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」連携 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHU151

○伊藤 麻希

■ 授業の目的

皆さんは人生 100 年時代の健康長寿に向けて医療、福祉、地域、教育等の現場でライフステージに適した健康管理方法を指導、実践する役割を担っています。また、身体運動やスポーツを習慣化し健康を維持・増進することは、皆さんが社会的務めを果たし活躍するためにも、個人として人生を豊かに過ごすためにも必要なことです。

本講義は身体運動やスポーツを安全に、効果的に、楽しく実践するための基本的知識を学ぶことを目的とします。

■ 到達目標

1. 身体運動やスポーツの意義や効果を理解し、自ら実践できるようになる。
2. 医療、福祉、地域、教育等の現場で身体運動、スポーツ、レクリエーションが持つ豊かな価値を提供できる。

■ 学習の進め方

講義を中心としますが、リフレクションシートを用いての対話やグループ発表等、積極的にアクティブラーニングを導入します。履修者数によって講義形式が変わる場合がありますので予めご了承下さい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

運動指導案グループ発表のための準備期間を長く設けるため、シラバスより若干早く内容を進める予定です。

No	内容	形式	教員
1	講義の目的、計画、講義の進め方、到達目標、評価基準等についての説明 事前学修：[15 分] 予めシラバスを読み、講義内容を確認する。 事後学修：[30 分] 次週の講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
2	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ① 「健康について考える」 事前学修：[15 分] 提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：[45 分] 配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
3	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ② 「日本人の抱える疾病」 事前学修：[15 分] 提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：[45 分] 配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
4	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ③ 「健康増進のための運動」 事前学修：[15 分] 提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：[45 分] 配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
5	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ④ 「運動の動機付け」 事前学修：[15 分] 提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：[45 分] 配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
6	人生 100 年時代の身体運動・スポーツ⑤ 「運動の具体的な実践」 事前学修：[15 分] 提示された講義内容に必要なキーワードを調べて、ノートに記す。 事後学修：[45 分] 配布資料をもとに講義の復習をする。疑問点を調べ、ノートに記す。	講義とディスカッション	伊藤
7	教養として学ぶ身体運動① 「運動指導案作成グループワーク」1 発表準備 事前学修：[30 分] 身体運動論 I で実践した内容などを振り返り、運動指導案として取り入れる運動のピックアップをする。 事後学修：[90 分] グループメンバーとともに、運動指導案の作成と発表準備を行う。	講義とディスカッション	伊藤
8	教養として学ぶ身体運動② 「運動指導案作成グループワーク」2 発表 事前学修：[90 分] グループメンバーとともに、運動指導案の作成と発表準備を行う。 事後学修：[120 分] 講義内容やノートの内容をまとめて最終レポートを作成、Glexa にて提出する。	講義とディスカッション、簡単な実技	伊藤

■教科書

教科書は使用しません。講義資料を配布します。

■参考書、参考資料等

- 1) 東京大学身体運動科学研究室編(2000). 教養としてのスポーツ・身体運動. 東京大学出版会.
- 2) 東京大学医学部健康総合学科編(2016). 社会を変える健康のサイエンス. 東京大学出版会.
- 3) 深代千之・内海良子(2018). 身体と動きで学ぶスポーツ科学. 東京大学出版会.
- 4) 福田洋・江口泰正編(2016). ヘルスリテラシー. 大修館書店.
- 5) 橋場弦・村田奈々子編(2016). 学問としてのオリンピック. 山川出版社.
- 6) 広瀬一郎(2005). スポーツマンシップを考える. 小学館.
- 7) 朝岡正雄(2019). 指導者のためのスポーツ運動学. 大修館書店.

■フィードバックの仕方

最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

■他の授業科目との関連

前期開講科目「身体運動論Ⅱ(実技)」を履修しておくことを勧めます。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(含講義内ミニレポート等) 40%
2. 学期末レポート 60%

学期末レポートの60%分の評価については、受講者数等によりレポートを筆記試験に変更する場合があります。

■オフィスアワー・研究室等

講義の前後で対応します。また、質問等はメールでも対応します。

■受講上の注意事項

時間割に試験日が記されていますが、試験は実施せず最終レポート提出に変更の予定です。遠隔授業に切り替わる可能性あり。その際は事前に告知する。

身体運動論Ⅱ(実技)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHU102

○伊藤 麻希

■ 授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

■ 到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身につける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身につけるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

■ 学習の進め方

2022年1月現在の予定としては、運動実技を指定される日程(未定)に合わせて対面授業と遠隔授業にて行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

基本的には対面・遠隔の両形態に対応できる個人競技(ヨガ・ピラティス)などを中心に実施します。また、状況が許すようであれば野外・屋内でのアクティビティやレクリエーションを積極的に追加して実施する予定です。

感染症の状況や学校全体の授業運営方針の変更、受講生全体の運動レベルに合わせ、シラバスの内容が前後、または大きく変更する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	ヨガの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法 事前学修：[20分] ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	ヨガの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 瞑想法とヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	ヨガの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
5	ヨガの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
6	ヨガの実践⑤ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	ヨガの実践⑥ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 心の健康とヨガの思想 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	ヨガの実践⑦ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの発展的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	ピラティスの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	ピラティスの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	ピラティスの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
12	ピラティスの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
13	スポーツレクリエーションアクティビティの実践①(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
14	スポーツレクリエーションアクティビティの実践②(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	授業全体の振り返り 最終レポートについて 事前学修：[30分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：[60分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glaxa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

最終レポートのフィードバックは、必要な場合コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

身体運動論 I (理論)と合わせて理解を深めます。

■ 成績評価の仕方

1. 出席点 60 % 2. 課題 30 % 3. 平常点(授業へ取り組む姿勢) 10 %

■ オフィスアワー・研究室等

質問等は Glaxa にて受け付けます。

身体運動論Ⅱ(実技)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHU102

○伊藤 麻希

■ 授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

■ 到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身につける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身につけるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

■ 学習の進め方

2022年1月現在の予定としては、運動実技を指定される日程(未定)に合わせて対面授業と遠隔授業にて行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

基本的には対面・遠隔の両形態に対応できる個人競技(ヨガ・ピラティス)などを中心に実施します。また、状況が許すようであれば野外・屋内でのアクティビティやレクリエーションを積極的に追加して実施する予定です。

感染症の状況や学校全体の授業運営方針の変更、受講生全体の運動レベルに合わせ、シラバスの内容が前後、または大きく変更する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	ヨガの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法 事前学修：[20分] ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	ヨガの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 瞑想法とヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	ヨガの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
5	ヨガの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
6	ヨガの実践⑤ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	ヨガの実践⑥ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 心の健康とヨガの思想 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	ヨガの実践⑦ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの発展的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	ピラティスの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	ピラティスの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	ピラティスの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
12	ピラティスの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
13	スポーツレクリエーションアクティビティの実践①(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
14	スポーツレクリエーションアクティビティの実践②(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	授業全体の振り返り 最終レポートについて 事前学修：[30分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：[60分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glaxa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

最終レポートのフィードバックは、必要な場合コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

身体運動論 I (理論) と合わせて理解を深めます。

■ 成績評価の仕方

1. 出席点 60 % 2. 課題 30 % 3. 平常点(授業へ取り組む姿勢) 10 %

■ オフィスアワー・研究室等

質問等は Glaxa にて受け付けます。

身体運動論Ⅱ(実技)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHU102

○伊藤 麻希

■ 授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

■ 到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身につける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身につけるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

■ 学習の進め方

2022年1月現在の予定としては、運動実技を指定される日程(未定)に合わせて対面授業と遠隔授業にて行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

基本的には対面・遠隔の両形態に対応できる個人競技(ヨガ・ピラティス)などを中心に実施します。また、状況が許すようであれば野外・屋内でのアクティビティやレクリエーションを積極的に追加して実施する予定です。

感染症の状況や学校全体の授業運営方針の変更、受講生全体の運動レベルに合わせ、シラパスの内容が前後、または大きく変更する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	ヨガの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法 事前学修：[20分] ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	ヨガの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 瞑想法とヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	ヨガの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
5	ヨガの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
6	ヨガの実践⑤ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	ヨガの実践⑥ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 心の健康とヨガの思想 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	ヨガの実践⑦ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの発展的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	ピラティスの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	ピラティスの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	ピラティスの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
12	ピラティスの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
13	スポーツレクリエーションアクティビティの実践①(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
14	スポーツレクリエーションアクティビティの実践②(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	授業全体の振り返り 最終レポートについて 事前学修：[30分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：[60分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glaxa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

最終レポートのフィードバックは、必要な場合コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

身体運動論 I (理論) と合わせて理解を深めます。

■ 成績評価の仕方

1. 出席点 60 % 2. 課題 30 % 3. 平常点(授業へ取り組む姿勢) 10 %

■ オフィスアワー・研究室等

質問等は Glaxa にて受け付けます。

身体運動論Ⅱ(実技)

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHU102

○伊藤 麻希

■ 授業の目的

第一の目的は、運動、スポーツ、レクリエーションアクティビティの享受能力を高めることです。第二の目的は、看護に関わる者として医療や教育の現場でこれら経験や知識を活かせる能力を身につけることです。なお運動強度は、健康的な心身の維持・増進を目的としたものです。

■ 到達目標

1. 健康な身体と心を維持、増進、管理できる実践能力を身につける。
2. 身体運動、スポーツレクリエーションアクティビティを自ら創意工夫して提供できる実践能力を身につけるとともに身体運動を通じてコミュニケーション能力を向上させる。
3. 身体と心の健康を探求し、自分自身の実生活に活かしていく。

■ 学習の進め方

2022年1月現在の予定としては、運動実技を指定される日程(未定)に合わせて対面授業と遠隔授業にて行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

基本的には対面・遠隔の両形態に対応できる個人競技(ヨガ・ピラティス)などを中心に実施します。また、状況が許すようであれば野外・屋内でのアクティビティやレクリエーションを積極的に追加して実施する予定です。

感染症の状況や学校全体の授業運営方針の変更、受講生全体の運動レベルに合わせ、シラパスの内容が前後、または大きく変更する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 〈自分の身体を観察する・知る〉〈相手の身体を観察する・知る〉 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 講義の情報から自分の身体について知ったことをノートに記す。	講義・演習	伊藤
2	ヨガの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとウォーミングアップ、呼吸法 事前学修：[20分] ヨガの歴史や効果、種類について調べてノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
3	ヨガの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 瞑想法とヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
4	ヨガの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
5	ヨガの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
6	ヨガの実践⑤ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの基本的なアーサナと太陽礼拝 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
7	ヨガの実践⑥ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 心の健康とヨガの思想 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
8	ヨガの実践⑦ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ヨガの発展的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したヨガのアーサナを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
9	ピラティスの実践① 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 イントロダクションとピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] ピラティスの歴史や効果について調べてノートに記す。日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
10	ピラティスの実践② 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[20分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
11	ピラティスの実践③ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤

No	内容	形式	教員
12	ピラティスの実践④ 〈自分の心と身体を観察する・知る〉 ピラティスの基本的なポーズ 事前学修：[30分] 日常生活で気になる自分の身体のことや、運動・健康について知りたいことをノートに記す。 事後学修：[30分] 実践したピラティスのポーズを実践し、感じたことや効果などをノートに記す。	演習	伊藤
13	スポーツレクリエーションアクティビティの実践①(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
14	スポーツレクリエーションアクティビティの実践②(実施競技は検討中) 〈仲間と協働する身体〉 事前学修：[30分] 実施する競技のルールを調べ、ノートに記す。 事後学修：[20分] 実践によって得られた感想をノートに記す。	演習	伊藤
15	授業全体の振り返り 最終レポートについて 事前学修：[30分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことをノートに記す。 事後学修：[60分] 授業全体を通して感じた自分の心や身体の変化、また授業を通して感じたことを Glaxa に最終レポートとして提出する。日常生活において授業内容を生かし、生活習慣を見直してみる。	講義・演習	伊藤

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

最終レポートのフィードバックは、必要な場合コメントを付したレポートの返却を通じて行います。

■ 他の授業科目との関連

身体運動論 I (理論) と合わせて理解を深めます。

■ 成績評価の仕方

1. 出席点 60 % 2. 課題 30 % 3. 平常点(授業へ取り組む姿勢) 10 %

■ オフィスアワー・研究室等

質問等は Glaxa にて受け付けます。

社会学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」連携 科目ナンバー：HBSS101

○鷹田 佳典

■ 授業の目的

社会学の学び方はいろいろありますが、そのひとつは社会学独自の「概念」を知ることです。これらの概念は、私たちが日常生活のなかで疑問に感じている事柄について、通常とは違う視点から考えるための手がかりを与えてくれます。本講義では毎回一つずつ社会学の基礎概念を取り上げ、その内容について解説しながら、これらの疑問に対する社会学なりの回答の仕方を提示します。こうした作業を通じて、社会学の基礎と思考方法を習得することが本講義の目的です。

■ 到達目標

1. 社会学の基礎と思考方法を習得する。
2. 社会学の概念の意味を理解する。
3. 社会学の概念を用いて日常で起こる社会事象を説明することができるようになる。

■ 学習の進め方

授業は講義形式で行います。毎回授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	イントロダクション：社会学への招待 事前学修：[30分] 社会学についての自分なりのイメージをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	禁欲主義：なぜ西洋においてのみ資本主義は成立したのか？ 事前学修：[30分] 宗教改革の概要をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	アノミー：なぜ人は自殺するのか？ 事前学修：[30分] ここ20年の日本の自殺に関する統計データを確認し、気づいたことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	印象操作：なぜ三者面談はしんどいのか？ 事前学修：[30分] 人前で自分がどのように振舞っているのかをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	感情労働：なぜ人相手の仕事は疲れるのか？ 事前学修：[30分] バイトで大変なことをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	予言の自己成就：なぜ予言は当たるのか？ 事前学修：[30分] プラセボ効果についてノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	ラベリング：なぜ人は犯罪をおかすのか？ 事前学修：[30分] 犯罪が起きる理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	相互行為儀礼：なぜ車内での化粧は迷惑なのか？ 事前学修：[30分] 公共交通機関を利用したときに乗客の様子を観察し、ノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
9	権威主義的性格：なぜレポートのテーマは決まっていた方がいいのか？ 事前学修：[30分] 日本人の国民性の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
10	伝統／内部／他人指向型：なぜ星飛雄馬は巨人の星を目指すのか？ 事前学修：[30分] Z世代の特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

No	内容	形式	教員
11	モラトリアム：人はいつオトナになるのか？ 事前学修：[30分] アイデンティティの確立に必要な要素をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
12	誇示的消費：なぜ「映え」が重要なのか？ 事前学修：[30分] 普段の消費活動を振り返り、その特徴をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
13	マクドナルド化：なぜ飲食店の椅子は硬いのか？ 事前学修：[30分] ファストフードレストランが増える理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
14	リスク：なぜ折りたたみ傘を持って外出するのか？ 事前学修：[30分] 身の回りにあるリスクをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
15	リキッドモダン：なぜ断捨離が流行るのか？ 事前学修：[30分] 断捨離ブームについて調べ、要点をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は使用しません。

■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説を行います。

■ 他の授業科目との関連

家族社会学と関連します。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、定期試験(60%)

■ オフィスアワー・研究室等

①水曜日、② 10：40～12：00、③ 405 研究室

国際関係論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」関係 「2」連携 「3」国際貢献 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBSS150

○角田 敦彦

■ 授業の目的

いま、世界で何が起き、何が問題とされているのか。現代の国際社会の仕組みやシステムについて考え、世界に対する基本的理解を深めることが本授業の目的です。あらゆる個人も国家も、自らの安心安全を希求して行動するとするならば国際社会の行動原理も同様といえるでしょう。本授業ではグローバル化が加速する国際社会の成り立ち、直面する諸問題を「人類への脅威」として捉え、国家の安全保障と人間の安全保障という二つの視点からこれらを考察します。またこうした諸問題の解決に向けての国際機関やNGO等の活動に対する理解も深めます。

■ 到達目標

1. 世界で起きている出来事に関心を抱き、身近な社会との関連性が理解できる。
2. 国際社会の一員としての自覚に基づく国際的な相互依存の構図が理解できる。
3. 地球市民として異文化に対する理解と共感を深めることができる。

■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、討論を交えて展開する。授業参加学生は世界の現状についての関心と問題意識を高め、積極的な質疑応答、討論を行うことが期待される。疑問については、授業ごとのフィードバックシートにより、科目担当者から回答もしくは授業の中で相互に議論しながら答えを得るよう努める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス:授業の進め方 国際関係論とは 事前学修：[30分] 現代の国際問題について一般的な情報を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
2	20世紀の国際関係の理解 事前学修：[30分] 二つの世界大戦とその後の冷戦について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	今日の国際関係 事前学修：[30分] 宗教や文化の衝突による紛争について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
4	グローバル化の時代 事前学修：[30分] グローバリゼーションとはどのようなものか、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
5	現代の安全保障 事前学修：[30分] 安全保障の様々な考え方に関する資料を検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
6	国際社会における日本の位置づけ 事前学修：[30分] 日本の外交や安全保障に関する課題をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
7	北東アジアの政治と国際関係 事前学修：[30分] 日本が北東アジアにおいて抱える問題について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
8	国際関係理論とは？ 事前学修：[30分] リアリズム、リベラリズムなどの理論について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
9	国際レジームとグローバル・ガバナンス 事前学修：[30分] 国際レジームの具体例について検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

No	内容	形式	教員
10	リージョナリズムと欧州統合 事前学修：[30分] EUなど欧州統合の具体例を自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
11	南北問題 事前学修：[30分] 南北問題とはどういうものか自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
12	地球環境問題 事前学修：[30分] 現在起こっている地球環境問題について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
13	非国家アクターの台頭 事前学修：[30分] 非国家アクターとはどういうものか自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
14	地球的諸問題に市民社会はどのように貢献できるか 事前学修：[30分] 市民社会が世界を動かした事例について自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
15	国際・国内紛争の解決 事前学修：[30分] 紛争解決に重要なアクターについて自分なりに調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20分] 講義で提示された資料を元に、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田

■ 教科書

なし。必要の都度提示する。

■ 参考書、参考資料等

佐渡友哲、国際関係論、弘文堂、2018

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、提出期間終了後 21 日以内に、410 研究室にてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

赤十字国際活動論、国際看護学、異文化理解等の基礎となる知識を得ることができる。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み 20% 2. 課題レポート 80%

■ オフィスアワー・研究室等

①開講期間中の月曜日 ② 12:30～13:00 ③ 410 研究室

日本国憲法

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBSS102

○多田 庶弘

■ 授業の目的

憲法改正が叫ばれる状況において、改憲、護憲以上に憲法をきちんと理解する「知憲」という視点が必要といえる。そのような点から、改めて憲法をとらえ直し、公正で論理的な憲法論議が出来ることを目指している。

■ 到達目標

- 1 憲法の実在意義を理解する。
- 2 憲法改正是非について理由をあげて説明できる。
- 3 学んだ知識について自分自身の身近な生活における課題に適用できる。

■ 学習の進め方

講義形式で行う。授業の中で随時小テストを行うので、疑問点は小テスト用紙の質問箇所や授業終了時に確認してください。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	国家と憲法 ーガイダンス 事前学修：[30分] 現在、憲法について何が議論されているのかを考えまとめてみる。 事後学修：[30分] 配布資料を確認し憲法の目的について復習するためノートにまとめる。	講義	多田
2	日本国憲法の成立 ー憲法の制定過程 事前学修：[30分] 中学・高校でも習っていると思われる、憲法の制定過程について調べてノートにまとめる。 事後学修：[30分] どのような背景で、憲法が制定されたのかを復習するためノートに整理する。	講義	多田
3	国民主権 ー日本国憲法における象徴天皇制 事前学修：[30分] 教科書の P34-P47 を読み、象徴天皇制の意味することを考えノートにまとめる。 事後学修：[30分] 配布資料を確認し、国民主権が天皇制の項目で制定されている意味を理解するためにノートにまとめる。	講義	多田
4	平和のうちに生きる権利 ー憲法 9 条から考える平和とは 事前学修：[30分] 世界各地の紛争について理由を調べてノートにまとめる。 事後学修：[30分] 教科書の P48-P63 と配布資料を読み、日本国憲法の掲げる平和主義の意味を理解するためにノートにまとめる。	講義	多田
5	個人の尊重と平等原則 ー人権保障に限界はあるのか 事前学修：[30分] 平等とはどのようなことなのかを考えノートにまとめる。 事後学修：[30分] 教科書 P64-P81 を読み、平等原則の内容を復習するためノートにまとめる。	講義	多田
6	人身の自由と適正手続きの保障 ー黙秘権と無罪の推定 事前学修：[30分] 人身の自由はなぜ必要なのかを考えてまとめてみる。 事後学修：[30分] なぜ、憲法で黙秘権や無罪推定の権利が制定されているかを教科書 P82-P91、配布資料を確認し理解するためにノートにまとめ理解する。	講義	多田
7	言論の自由 ーわいせつ文章はなぜ規制の対象となるのか 事前学修：[30分] 言論の自由についてどのような問題があるのか調べてノートにまとめてみる。 事後学修：[30分] 教科書 P92-P107、配布資料を確認し、言論の自由が重要な点をノートにまとめる。	講義	多田
8	学問と教育の自由 ー学問の自由ってなんだろう 事前学修：[30分] 教育の自由とは何を意味するのかを考えてまとめてみる。 事後学修：[30分] 教科書 P108-P120 を読み、教育の自由が憲法でなぜ示されているのかをノートにまとめる。	講義	多田

No	内容	形式	教員
9	婚姻は両性の合意に基づくとは一憲法で同性婚を認めることはできるのか 事前学修：[30分] 婚姻の自由の意味を調べてまとめてみる。 事後学修：[30分] 資料を確認し、日本国憲法で示す両性とは何か、同性婚は憲法上できるのかをまとめる。	講義	多田
10	政治参加の権利 一外国人の参政権 事前学修：[30分] 国民が政治に参加する意味を考え整理しまとめてみる。 事後学修：[30分] 教科書 P132-P144 を確認し、外国籍の定住者に地方選挙を認めるべきかを考えまとめてみる。	講義	多田
11	統治機構 一公約違反の議員に責任を問えるか 事前学修：[30分] 選挙で掲げた政治家の公約について調べてみる。 事後学修：[30分] 教科書 P145-P155 を読み、日本国憲法の統治機構について復習するためノートにまとめ理解する。	講義	多田
12	国会 一国権の最高機関としての国会 事前学修：[30分] 国会の役割について確認しまとめてみる。 事後学修：[30分] 教科書 P156-P179 を読み、国会の最高機関、全国民の代表の意味することを理解するためにノートにまとめる。	講義	多田
13	内閣 一内閣と議院内閣制 事前学修：[30分] 三権分立が意味するものを考えてまとめてみる。 事後学修：[30分] 教科書 P180-P192 を読み、議院内閣制の内容を復習するためノートにまとめる。	講義	多田
14	裁判を受ける権利 事前学修：[30分] 教科書 P193-P206 を読み、司法権の内容をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 資料を確認し日本国憲法における違憲立法審査権の意味するところを理解するためノートにまとめる。	講義	多田
15	憲法改正一人権を制約する改正は認められるのか 事前学修：[30分] 憲法改正手続きについて調べてノートにまとめる。 事後学修：[60分] いままでの授業の内容を確認し、憲法改正が必要な点があるのか、あるならばどのような点か、ないならばなぜ必要がないのかをノートにまとめる。	講義	多田

■教科書

山本聡・渡辺演久(2019年)『憲法のおもしろさ(第3版)』北樹出版

■参考書、参考資料等

芦部信喜(高橋 和之 補訂)(2019年)『憲法(第7版)』岩波書店

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後に解説資料を通じて行う。

■他の授業科目との関連

特になし。

■成績評価の仕方

定期試験 80%、小テスト 10%、授業への取り組み 10%

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつける。

地域健康社会学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」関係 「2」擁護 「3」連携 科目ナンバー：HBSS100

○若林 真美

■ 授業の目的

より良い地域社会を築くうえで、個々の健康づくり及び住民が主人公となり健康に暮らす地域づくりを、健康と地域社会のつながりの視点から学ぶ。

■ 到達目標

1. 一人ひとりの人間を多角的に理解することができる。
2. 人間の尊厳と権利を擁護する上での健康課題とその関連要因に気づくことができる。
3. 地域社会の中での健康の諸課題へ対応するため、課題とその対応を理解し、自分の言葉で表現できる。

■ 学習の進め方

AL

講義・議論・グループワークを通して、健康の社会決定要因とその対応について理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	健康とグローバリゼーション(「参加型授業の心構え」を含む。 事前学修：[15分] コロナ禍によって変化した自分の生活や行動について3つ以上あげ、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
2	健康の社会決定要因について考える 事前学修：[15分] 健康に影響を与える身近な例を3つ以上あげ、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
3	健康と雇用・収入・労働環境 事前学修：[15分] 労働環境が健康に与える影響について考え、3つ以上挙げる。それらがどのように健康に影響を与えているかを、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
4	健康と教育・ヘルスリテラシー・言語の壁 事前学修：[15分] もし外国人の患者さんの入院することになった場合、どのような配慮が必要か想像し、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
5	健康と性・ジェンダー・家族 事前学修：[15分] 自分の家族を思い浮かべ「母親」「父親」「自分」「兄弟・姉妹」「祖父母」等が立場によって期待される役割やそれらの違いを1つ挙げ、その違いを自分がどう感じるか、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
6	健康とコミュニティ・社会関係資本(ソーシャルキャピタル) 事前学修：[15分] 健康づくり、健康格差、貧困問題に取り組んでいる組織とその活動内容を調べ、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
7	グループプレゼンテーション 事前学修：[30分] 発表するグループプレゼンテーションを作成する。グループプレゼンテーション準備状況について、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] グループプレゼンテーション準備状況シートと各グループプレゼンテーションへのコメント表を、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林

No	内容	形式	教員
8	グループプレゼンテーション 事前学修：[30分] 発表するグループプレゼンテーションを作成する。グループプレゼンテーション準備状況について、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事グループプレゼンテーション準備状況シートとグループプレゼンテーションへのコメント表を、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林

■教科書

特定の教科書は使用しない。講義時に適時参考図書を紹介する。

■参考書、参考資料等

1. 武田裕子(編)格差時代の医療と社会的処方 病院の入り口に立てない人々を支えるSHD(健康の社会的決定要因)の視点
2. 石川ひろの、進藤雄三、山崎喜比古(著)系統別看護学講座-社会学-第6版

■フィードバックの仕方

フィードバックの仕方

1. フィードバックは、毎回のリフレクションシートのルーブリック評価にて行う。
2. 最終グループプレゼンテーション時に各グループへの口頭でフィードバックを行う。
【グループプレゼンテーションの方法】(詳細は授業で説明します)
 - 1.1 グループ3~4名。
 - 2.8分間の発表(1分間の質疑応答を含む)+フィードバック×8~9グループ
3. 事前準備：各グループで、「健康の社会決定要因」から1つテーマを選び、そのテーマと健康がどのように結びついているのかについて調べ、自分たちの体験と結びつけながら自分たちの意見をまとめる。発表スライドを作る。各グループプレゼンテーションに関するコメントシートを記入して、提出する。
4. 準備状況として、①グループ内での自分の役割②各人の役割に関する進捗状況③自分のグループが選んだテーマに関する自分の考えを指定用紙(A4の1枚)にまとめたものを提出する。

■他の授業科目との関連

1年次後期に実施する地域看護学など地域関連科目と関連している。

■成績評価の仕方

授業への取り組み：事前学習のまとめとコメントシートの提出(各3~9点×6回)(54%)、
 グループプレゼンテーション準備(16%)：準備状況シートにて(第7、8回)確認する。
 グループプレゼンテーション参加と各グループへのコメント記入(30%)

■オフィスアワー・研究室等

講義の前後で対応します。また、質問等はメールでも対応します。

■受講上の注意事項

1. 授業内容を変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、授業への取り組み不足として減点の対象となる。提出期限の過ぎた課題は減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
3. グループプレゼンテーションに参加できない場合は、教員に相談する。(グループプレゼンテーションの内容についてのレポートを1500字以上2000字以内にまとめて提出するという別課題を設ける)
4. レポートやコメントシートに関して、参考や引用した文章には必ず出典を明記すること。剽窃(ウェブ上の文章、本などを出典を明記せずにコピー)していることが発覚した場合は、減点の対象となる。
5. 授業は、皆さんの積極的な発言によって成り立ちます。どんどん積極的に発言しましょう。(授業中の質問、各グループプレゼンテーションへの質問は加点対象になる。)

基礎数学

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 科目ナンバー：HBNS100

○山下 龍生

■ 授業の目的

自然科学分野の基礎となる数学を学習する。特に、統計学を学ぶ上で必要な基礎を習得することを目的とする。本講義では、基礎的な計算力と図形の性質、微分積分学の基礎を学習する。

■ 到達目標

1. 大学教養課程の基礎的な数学を理解し、基礎的な計算ができる。
2. 関数からグラフを描き、答えを導くことができる。
3. 微分積分学の基礎的な考え方を理解する。
4. 1 年次選択科目「基礎統計学」の受講をスムーズにする。

■ 学習の進め方

基本的には講義を主体とするが、演習を交えながら理解の定着を図る。社会情勢を鑑みて、オンラインで開講する可能性あり。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	数と演習： 文字式の計算、因数分解、一次方程式と二次方程式について学ぶ。 事前学修：[30 分] 高校の数学 I 「数と式」の復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
2	図形と三角比： 図形と三角関数を学び、諸公式を理解する。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
3	指数・対数関数： 指数関数と対数関数の性質を理解し、計算できる。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
4	微分法： 微分法の基本的な考え方を理解し、基本的な計算ができる。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
5	積分法： 積分法の基本的な考え方を理解し、基本的な計算ができる。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
6	ベクトル： 平面ベクトルの性質を理解し、基本的な計算ができる。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
7	確率： 統計学を学ぶ上で必要な確率の考え方を学ぶ。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
8	まとめ： 授業で学んだことを復習して、まとめを行う。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生

■ 教科書

授業中及び Glexa に配布する資料

■ 参考書、参考資料等

中野友裕 (2009) 「大学新入生のためのリメディアル数学(第2版)」 森北出版

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験後 3 週間以内に行う。その際、口頭での解説または解説資料の配布を用いて行う。

■ 他の授業科目との関連

1 年次の選択科目「基礎統計学」のための基礎知識を学ぶ。2 年次の必修科目「保健統計学」に繋がる科目なので数学に苦手意識がある学生に対して積極的に受講を勧める。

■ 成績評価の仕方

定期試験 60%、授業への取り組み 40%

■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、及び講義前後の時間で受け付ける。

また、メールでの問い合わせは下記まで

yamashita@uitech.ac.jp

■ 受講上の注意事項

数学が苦手な学生についても、考え方を一から解説するので受講を歓迎する。

基礎統計学

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 科目ナンバー：HBNS150

○山下 龍生

■ 授業の目的

近年、多くの分野で統計的なものの見方や統計的手法の必要性が高まっている。本講義では、統計学の基本的な理論を具体的な例を踏まえながら学び、データを客観的に評価できるようになることを目的とする。

■ 到達目標

1. 統計学の基本的な考え方を理解し、基本的な計算ができる。
2. データの整理及び要約ができる。
3. 平均・分散・標準偏差の計算と考え方を理解する。
4. 2 年次必修科目「保健統計学」の受講をスムーズにする。

■ 学習の進め方

基本的には講義を主体とするが、演習を交えながら理解の定着を図る。
社会情勢を鑑みて、オンラインで開講する可能性あり。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス： 確率統計の起源と歴史を学び、統計学とはどのような学問であるか、どのように利用されているか学ぶ。 事前学修：[30 分] 高校の数学「場合の数・確率」の復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
2	度数分布表とヒストグラム： データの特徴をうまく捉える方法を学ぶ。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
3	平均値： 統計学でよく利用される平均値について、その捉え方を学ぶ。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
4	分散と標準偏差： データのばらつき具合を知ることができる分散と標準偏差について学ぶ。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
5	標準偏差の利用： 具体例を踏まえながら、標準偏差の考え方を学ぶ。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
6	正規分布： 統計学でよく用いられる正規分布について学ぶ。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
7	正規分布を用いた未来の予測： 正規分布の知識を使って、統計的に未来を予測する方法を学ぶ。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生
8	まとめ： 授業で学んだことを復習して、まとめを行う。 事前学修：[30 分] 前回までの復習 事後学修：[30 分] 授業の復習	講義・演習	山下龍生

■ 教科書

授業中及び Glaxa に配布する資料

■ 参考書、参考資料等

小島寛之 (2006)「完全独習 統計学入門」ダイヤモンド社

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験後 3 週間以内に行う。その際、口頭での解説または解説資料の配布を用いて行う。

■ 他の授業科目との関連

2 年次の必修科目「保健統計学」のための基礎知識を学ぶ。数学に苦手意識がある学生に対して積極的に受講を勧める。

■ 成績評価の仕方

定期試験 60%、授業への取り組み 40%

■ オフィスアワー・研究室等

質問は講義中、及び講義前後の時間で受け付ける。

また、メールでの問い合わせは下記まで

yamashita@uitech.ac.jp

■ 受講上の注意事項

数学が苦手な学生についても、統計学の考え方を一から解説するので受講を歓迎する。

期末試験では電卓があることが望ましい。

化学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 科目ナンバー：HBNS101

○三好 洋

■ 授業の目的

医療関連の専門科目の理解および医療従事者としての業務に必須な化学の基礎的考え方、生命現象や医療技術に関する生体関連物質の性質から物事を考えるために必要な化学の基礎的な知識を学ぶ。

■ 到達目標

1. 医療に関係する物質の性質について化学的に説明できる。
2. 水および水溶液について、化学的に説明できる。
3. 水溶液の濃度、浸透圧、pH、緩衝液、透析について説明できる。
4. 細胞内で起こる基本的な化学反応の仕組みを説明できる。
5. 生命現象や医療技術に関連する重要化合物の構造と性質・利用法について説明できる。

■ 学習の進め方

1. パワーポイントによる講義・解説、インターネット上の関連動画サイトの紹介などによって講義を進める。
2. 講義内容の要旨・スライドなどは講義の前週に Glexa によって公開する。
3. 講義の理解度を Glexa への確認テストの提出によって行い、確認テストに対して解説・コメントをフィードバックする。受講生はフィードバックから理解度を確認する。
4. 講義内容は学習の進行状況に応じて変更する場合がある。
5. 講義内容に応じた化学的な実演を行う場合がある。
6. 講義の最終回には模擬試験を行って理解度を確認を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	講義内容の概要説明-オリエンテーション・化学の必要性- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
2	水-性質・状態・身体と水- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
3	元素・原子・分子-融点・沸点、身体の中の分子・物質の状態、酸素と呼吸- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
4	溶液の濃度-溶解、濃度、有効数字、物質量、血糖値、生理食塩水- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
5	溶液の性質-沸点上昇・凝固点降下と滅菌、浸透、脱水、透析- 事前学修：[30 分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30 分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好

No	内容	形式	教員
6	酸と塩基-酸性・塩基性、pH、緩衝液、体液- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] Glexa に UP した確認テストの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
7	酸化と還元 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
8	化学反応と化学平衡 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
9	透析と浸透圧 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
10	化学結合-原子軌道と分子の形 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
11	有機化学の世界、有機化合物と性質-アルカン- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
12	有機化合物と性質-アルケン・アルキン- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
13	酸素・窒素・ベンゼン環を含む有機化合物 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
14	生体高分子の化学・バイオテクノロジー・2032年の化学-核酸、タンパク質- 事前学修：[30分] Glexa に UP した講義概要・講義スライドに目を通し、理解していない単語・事柄を抽出する。 事後学修：[30分] 確認テストの提出と Glexa に UP した確認テストへのコメントの見直しによる講義内容の理解度の確認。	講義	三好
15	模擬試験と解説 事前学修：[30分] これまでの講義資料の見直し 事後学修：[60分] 模擬試験解説の見直し	講義	三好

■ 教科書

土居 純子 (2017)、栄養科学イラストレイテッド基礎化学、羊土社
教科書のほかに、毎回、講義概要・スライドを Glexa で配布する。
教科書は 8 回まで使用し、9-14 回は教科書代わりに資料を別に Glexa で配布する。

■ 参考書、参考資料等

Glexa での講義概要・スライドの配布資料をダウンロードして講義に臨んでください。

さらに深く興味がある学生には参考書・副読本として、下記の成書を推薦する。参考書・副読本の内容も講義内では紹介する。

野島 高彦(2012)、はじめて学ぶ化学、化学同人

■ フィードバックの仕方

毎回の確認テストのフィードバック・解説は Glexa によって行う。

模擬試験のフィードバックは最終回の講義時間内に行う。

■ 他の授業科目との関連

他の授業科目と直結することは困難であるが、代謝、生化学、生体防御に関連した科目の理解に役立つように生命現象および医療技術に関係する物質の性質を、化学(自然科学)的な考え方で捉えることが出来るように心がけて説明を行う。

■ 成績評価の仕方

講義・確認テストへの取り組み 40 %、定期試験 60 %で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師なので研究室はありませんが、講義中・後でも気軽に質問してください。

Glexa および電子メール(hmiyoshi@marianna-u.ac.jp)による問い合わせに応じます。

■ 受講上の注意事項

アクティブラーニング的な講義の進め方になっています。講義前に Glexa によって公開する講義概要・スライドに目を通しておくことを推奨します。高校で「化学基礎」「化学」を学んだ実感がない人にも、身近な例を交えながら医療に必要な化学の考え方と知識を紹介します。可能な限り平易な言葉での授業を心がけますので、「化学アレルギー」のある人こそ選択してください。指定教科書は生命現象および医療技術に繋がる平易な表現が用いられているものを採用しています。講義では教科書の内容よりもさらに看護に役立つ情報に触れるようにします、これまで化学を学んでも「化学なんか役に立たない」と考えていた人にとって有意義な講義にします。

情報リテラシー

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」関係 「3」連携 科目ナンバー：HBIS100

○川崎 洋平、鷹田 佳典

■ 授業の目的

情報の意味と伝達について学ぶ。
人間・社会と情報の関わりについて学ぶ。
医療情報処理の基礎について学ぶ。
医療情報の収集方法の基礎について学ぶ。

■ 到達目標

情報リテラシーや情報モラルを理解できる。
情報とは何かを説明できる。
情報社会の特性を説明できる。
医療や看護の提供にあたってどのような情報が必要かを述べるができる。
医療・患者情報の扱いにおけるセキュリティの重要性と医療者の責務について説明できる。

■ 学習の進め方

第1回で情報とは何か、情報の基礎を学ぶ。
第2回～第3回で情報セキュリティや情報モラルを学ぶ。
第4～6回でわれわれ人間が情報をどのように使い、情報からどのような影響を受けているのかや、メディアやインターネットが発達した現代社会において情報が人間生活とどう関わっているのかについて学ぶ。
第7回では、医療・看護と情報の関わりについて学ぶ。
第8回では、情報を整理する力を身に着けるべく、文献検索の方法や実践を行う。
授業は講義・演習形式で進める。
授業終了時に配布する用紙に、授業の重点項目のまとめ、理解度、質問を記入してもらう。次の授業のはじめに、質問に対する回答として補足説明することによって、理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	情報とは何か・情報リテラシー基礎 事前学修：[30分] 普段自分がどのようにインターネットを利用しているかを、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	鷹田
2	インターネットの基礎と電子メールについて 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、操作方法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
3	情報セキュリティと情報モラル 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、操作方法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
4	情報を伝える 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、操作方法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	鷹田
5	情報を見分ける 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、操作方法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	鷹田
6	情報に基づいて決める 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、操作方法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	鷹田
7	医療情報処理の基礎 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、操作方法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
8	医療情報の収集(文献検索) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、操作方法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義・演習	川崎 洋平

■ 教科書

使用しない。必要に応じて資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

矢野文彦(2019). 情報リテラシー教科書 Windows 10/Office 2019 対応版. オーム社

北澤京子(2009)『患者のための医療情報収集ガイド』ちくま新書

中山健夫(2008)『健康・医療の情報を読み解くー健康情報学への招待』丸善

富田英典・南田勝也・辻泉編(2007)『デジタルメディア・トレーニングー情報化時代の社会学的思考法』有斐閣選書

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

研究基礎1は情報リテラシーの知識を利活用し、研究の基礎を学ぶことになります。

■ 成績評価の仕方

レポート70%、授業への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

鷹田：Glexa で質問を受け付ける。

川崎：授業終了後に教室で質問を受け付ける。

日本語の表現

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBL5101

○越後 敬子

■ 授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

■ 到達目標

1. 日本語の語彙を増やす。
2. 敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3. 敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4. 手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5. 自分の考えを口頭で述べるができるようにする。

■ 学習の進め方

1. 授業の前半で「日本語」に関する講義を行い、後半はその内容に基づいた課題に取り組む。
2. 課題を提出して採点を受け、自分の日本語運用能力について知り今後に生かす。
3. 授業の終盤には、受講生自らがテーマに沿ったスピーチを行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「日本語検定」にチャレンジ 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、疑問点がなかったかどうか改めて考える。	演習・講義	越後
2	文の構造①—主語・述語・修飾語・被修飾語— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
3	文の構造②—助詞等— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
4	敬語・敬意表現① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
5	敬語・敬意表現② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
6	敬語・敬意表現③ 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
7	手紙の書き方① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
8	手紙の書き方② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

No	内容	形式	教員
9	手紙の書き方③ 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
10	メールの書き方 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
11	日本語弱者について考える① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
12	日本語弱者について考える② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
13	スピーチ① 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後
14	スピーチ② 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、よかった点を考える。	講義・演習	越後
15	スピーチ③ 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

提出された課題は、翌週あるいは翌々週の授業時に返却する。

■ 他の授業科目との関連

日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み40%、課題提出60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を希望する。

日本語の表現

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBL5101

○越後 敬子

■ 授業の目的

普段何気なく使っている「日本語」について改めて考えてみよう。この授業では日本語に関するさまざまな知識を身につけ、自己の考えを「ことば」や「文字」で的確に表現できるようにすることを目的とする。

■ 到達目標

1. 日本語の語彙を増やす。
2. 敬意表現を身につけ、正しい話し言葉を習得する。
3. 敬意表現を身につけ、正しい書き言葉を習得する。
4. 手紙やメールなど、正しい伝達方法を身につける。
5. 自分の考えを口頭で述べるができるようにする。

■ 学習の進め方

1. 授業の前半で「日本語」に関する講義を行い、後半はその内容に基づいた課題に取り組む。
2. 課題を提出して採点を受け、自分の日本語運用能力について知り今後に生かす。
3. 授業の終盤には、受講生自らがテーマに沿ったスピーチを行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「日本語検定」にチャレンジ 事前学修：[30分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、疑問点がなかったかどうか改めて考える。	演習・講義	越後
2	文の構造①—主語・述語・修飾語・被修飾語— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
3	文の構造②—助詞等— 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
4	敬語・敬意表現① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
5	敬語・敬意表現② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
6	敬語・敬意表現③ 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
7	手紙の書き方① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
8	手紙の書き方② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後

No	内容	形式	教員
9	手紙の書き方③ 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
10	メールの書き方 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
11	日本語弱者について考える① 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
12	日本語弱者について考える② 事前学修：[30分] 配布された資料を読み、疑問点をまとめた上で授業に臨む。 事後学修：[30分] 配布された資料を読み返し、事前にまとめた疑問点が解決できたかを考える。	講義・演習	越後
13	スピーチ① 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後
14	スピーチ② 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、よかった点を考える。	講義・演習	越後
15	スピーチ③ 事前学修：[30分] スピーチの準備をする。 事後学修：[30分] 他者のスピーチについて、良かった点を考える。	講義・演習	越後

■ 教科書

プリントを配布する。

■ 参考書、参考資料等

授業時に適宜紹介する。

■ フィードバックの仕方

提出された課題は、翌週あるいは翌々週の授業時に返却する。

■ 他の授業科目との関連

日本語を使用するすべての科目と関連し、今後の大学生活、社会生活全般において必要であろう。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み40%、課題提出60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける。

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を希望する。

英語 R1-1

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL100

○川崎 修一

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Dental Health During Pregnancy (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Dental Health During Pregnancy (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Why Swearing Is Good For You? (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Why Swearing Is Good For You? (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Autism and Theory of Mind (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	Autism and Theory of Mind (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Language and Woman's Place (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Language and Woman's Place (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	Mind and Perception (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	Mind and Perception (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
12	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
13	Placebo/Nocebo Effect (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	Placebo/Nocebo Effect (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。		川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

他の英語科目の基礎になる科目になります。

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 60% + 期末試験 40%

■ オフィスアワー・研究室等

402 研究室 月曜日 13:10 - 16:20

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-1

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5100

○遠藤 花子

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction Human Rights 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	Peace 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
3	War 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	Environment 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
5	Water 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	Famine 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
7	HIV/AIDS 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	Poverty 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
9	Education 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	Media 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
11	Gender 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
12	Globalization 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
13	Refugees 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	Nation-States 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回のテキストに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] テキストの復習をする。		遠藤

■ 教科書

Hiromi Ehara. Making History. Nan'un-do.

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

毎回の授業のフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

2年次に開講される「R2-1」「R2-2」の基礎的な科目となります。

■ 成績評価の仕方

授業毎の課題 60%+期末試験 40%

■ オフィスアワー・研究室等

401 研究室 月曜日の昼休み

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-1

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL100

○川崎 修一

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Dental Health During Pregnancy (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Dental Health During Pregnancy (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Why Swearing Is Good For You? (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Why Swearing Is Good For You? (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Autism and Theory of Mind (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	Autism and Theory of Mind (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Language and Woman's Place (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Language and Woman's Place (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	Mind and Perception (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	Mind and Perception (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
12	The Pandemic (H1N1) 2009 Virus Vaccine (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
13	Placebo/Nocebo Effect (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	Placebo/Nocebo Effect (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。		川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

他の英語科目の基礎になる科目になります。

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 60%+期末試験 40%

■ オフィスアワー・研究室等

402 研究室 月曜日 13:10 - 16:20

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-1

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS100

○遠藤 花子

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction Human Rights 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	Peace 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
3	War 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	Environment 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
5	Water 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	Famine 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
7	HIV/AIDS 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	Poverty 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
9	Education 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	Media 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
11	Gender 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
12	Globalization 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
13	Refugees 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	Nation-States 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回のテキストに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] テキストの復習をする。		遠藤

■ 教科書

Hiromi Ehara. Making History. Nan'un-do.

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

毎回の授業のフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

2年次に開講される「R2-1」「R2-2」の基礎的な科目となります。

■ 成績評価の仕方

授業毎の課題 60%+期末試験 40%

■ オフィスアワー・研究室等

401 研究室 月曜日の昼休み

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-2

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS150

○遠藤 花子

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction Human Rights 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	Peace 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
3	War 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	Environment 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
5	Water 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	Famine 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
7	HIV/AIDS 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	Poverty 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
9	Education 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	Media 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
11	Gender 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
12	Globalization 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
13	Refugees 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	Nation-States 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回のテキストに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] テキストの復習をする。		遠藤

■ 教科書

Hiromi Ehara. Making History. Nan'un-do.

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

毎回の授業のフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

2年次に開講される「R2-1」「R2-2」の基礎的な科目となります。

■ 成績評価の仕方

授業毎の課題 60%+期末試験 40%

■ オフィスアワー・研究室等

401 研究室 月曜日の昼休み

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-2

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS150

○川崎 修一

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Blindness, Deafness, and Language Acquisition (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Blindness, Deafness, and Language Acquisition (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Folk Psychology (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Folk Psychology (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Myth and Meaning (1) 事前学修：[60分] 英文を読んで内容を理解する 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する	講義・演習	川崎
6	Myth and Meaning (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Children's Cognitive Development (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Children's Cognitive Development (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	The Elementary Structures of Kinship (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	The Elementary Structures of Kinship (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	Mental Models (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
12	Mental Models (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	On Behaviourism (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	On Behaviourism (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

R1-1 を履修して下さい。

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 60%+期末試験 40%。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜、火曜、水曜、金曜の昼休み(12:30-13:00)。研究室は4階402号室。

■ 受講上の注意事項

* この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-2

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5150

○遠藤 花子

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction Human Rights 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
2	Peace 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
3	War 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
4	Environment 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
5	Water 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
6	Famine 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
7	HIV/AIDS 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
8	Poverty 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
9	Education 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
10	Media 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
11	Gender 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
12	Globalization 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤

No	内容	形式	教員
13	Refugees 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
14	Nation-States 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	遠藤
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回のテキストに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] テキストの復習をする。		遠藤

■ 教科書

Hiromi Ehara. Making History. Nan'un-do.

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

毎回の授業のフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

2年次に開講される「R2-1」「R2-2」の基礎的な科目となります。

■ 成績評価の仕方

授業毎の課題 60%+期末試験 40%

■ オフィスアワー・研究室等

401 研究室 月曜日の昼休み

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 R1-2

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS150

○川崎 修一

■ 授業の目的

学術的な英文を正確に読む。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。

■ 学習の進め方

AL

看護・医療だけでなく、言語・心理・コミュニケーションなど、様々なトピックから文献を選び、精読します。授業では文構造をきちんと捉えた上で、文、段落、また文章全体の意味を正確に理解できるように詳しく説明します。

履修のために必要な事前学習：授業前には、英文の指定された箇所を読んでくる。

履修のために必要な事後学習：授業中に指摘された重要事項を確認しておく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Blindness, Deafness, and Language Acquisition (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Blindness, Deafness, and Language Acquisition (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Folk Psychology (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Folk Psychology (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Myth and Meaning (1) 事前学修：[60分] 英文を読んで内容を理解する 事後学修：[30分] 授業で指摘されたポイントを復習する	講義・演習	川崎
6	Myth and Meaning (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Children's Cognitive Development (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Children's Cognitive Development (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	The Elementary Structures of Kinship (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	The Elementary Structures of Kinship (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
11	Mental Models (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
12	Mental Models (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	On Behaviourism (1) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	On Behaviourism (2) 事前学修：[30分] 英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
15	Review 事前学修：[30分] 1～14回の QUIZ2 の問題プリントに目を通し理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

電子辞書を持参して下さい。

■ フィードバックの仕方

全ての小テストのフィードバックは授業最終回に行います。期末試験のフィードバックを希望する場合は、3週間以内にメールにて連絡して下さい。

■ 他の授業科目との関連

R1-1 を履修して下さい。

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 60 % + 期末試験 40 %。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜、火曜、水曜、金曜の昼休み(12:30-13:00)。研究室は4階402号室。

■ 受講上の注意事項

* この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 W1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL102

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

The aim of this course is to strengthen the English grammar knowledge of the students, to provide them with basic information on writing a (short) paper, and to refine their writing skills through practice.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to write more complex sentences in English, be able to express their ideas better in writing, and will have a better idea on the structure of a paper.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class; writing e-mails 事前学修：[30 分] Confirm that you have an e-mail account that can be used for class-related communication 事後学修：[30 分] Send an e-mail to the teacher with a self-introduction	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
2	Using dictionaries 事前学修：[30 分] Find an interesting article on Wikipedia and find 3 words you don't understand 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
3	Writing basics: types of sentences 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
4	Writing basics: clauses 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
5	Writing basics: tense and aspect 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
6	Finding a topic of interest 事前学修：[30 分] Think about topics you like/don't like to write about 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your paper, complete the handout	Short lecture; planning; discussion.	Sam Bamkin
7	The structure of a paper 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Come up with an outline for your paper	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
8	Conducting a survey 事前学修：[30分] Think of questions for the survey 事後学修：[30分] Fill out the surveys of your classmates	Short lecture; plan and conduct a survey. (online in case of Covid restrictions)	Sam Bamkin
9	Describing graphs and figures 事前学修：[30分] Look at the results of your survey 事後学修：[30分] Describe the results of your survey, complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
10	Comparing and contrasting 事前学修：[30分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30分] Compare and contrast the results of your survey, complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
11	Concessions 事前学修：[30分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
12	Linking words 事前学修：[30分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30分] Write out the results of the survey while using linking words	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
13	Writing conclusions 事前学修：[30分] Think about the conclusion of your survey 事後学修：[30分] Write a conclusion of your paper or the survey	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
14	Proofreading & peer-review 事前学修：[60分] Finish a draft of your paper 事後学修：[30分] Submit your paper and check your classmate's paper	On-demand and online	Sam Bamkin
15	Tips & tricks on formatting your paper 事前学修：[30分] Review your classmate's notes and apply them 事後学修：Submit your final paper	Short lecture; discussion' pair and groups feedback.	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible)

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class will continue as W1-2 in the fall semester.

■ 成績評価の仕方

25% class participation, 25% assignments, 50% final paper.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 W1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS102

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The aim of this course is to strengthen the English grammar knowledge of the students, to provide them with basic information on writing a (short) paper, and to refine their writing skills through practice.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to write more complex sentences in English, be able to express their ideas better in writing, and will have a better idea on the structure of a paper.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class; writing emails 事前学修：[5 分] Confirm that you have an e-mail account that can be used for class-related communication 事後学修：[30 分] Write an email to the teacher		
2	Using dictionaries 事前学修：[20 分] Open a random English website and find 3 words you don't understand 事後学修：[30 分] Complete the handout		
3	Writing basics: types of sentences 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout		
4	Writing basics: clauses 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout		
5	Writing basics: tense and aspect 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout		
6	Finding a topic of interest 事前学修：[20 分] Think about topics you like to write about 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your paper		
7	The structure of a paper 事前学修：[20 分] Think about what you want to write in your paper 事後学修：[30 分] Make an outline for your paper		
8	Conducting a survey 事前学修：[20 分] Think about something you want to investigate 事後学修：[30 分] Finish making the survey		
9	Describing graphs and figures 事前学修：[20 分] Answer the surveys of your classmates 事後学修：[30 分] Write a short text about your own survey		
10	Writing an introduction and the structure of paragraphs 事前学修：[20 分] Review the materials from the past few weeks and think again about your topic 事後学修：[30 分] Complete the handout, work on your paper		
11	Comparing and contrasting 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout, work on your paper		

No	内容	形式	教員
12	Concessions 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your paper		
13	Writing conclusions 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your paper		
14	Tips & tricks on formatting your paper 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Finish a draft version of your paper		
15	Peer review, Q&A 事前学修：[10分] Print out a draft of your paper (2x) and bring to class 事後学修：[120分] Submit your final paper		

■ 教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class will continue as W1-2 in the fall semester.

■ 成績評価の仕方

Class participation (20%)

Assignments (30%)

Final paper (50%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays.

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English and Japanese. The contents of the course might change depending on the students' ability.

英語 W1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS102

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

The aim of this course is to strengthen the English grammar knowledge of the students, to provide them with basic information on writing a (short) paper, and to refine their writing skills through practice.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to write more complex sentences in English, be able to express their ideas better in writing, and will have a better idea on the structure of a paper.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class; writing e-mails 事前学修：[30 分] Confirm that you have an e-mail account that can be used for class-related communication 事後学修：[30 分] Send an e-mail to the teacher with a self-introduction	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
2	Using dictionaries 事前学修：[30 分] Find an interesting article on Wikipedia and find 3 words you don't understand 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
3	Writing basics: types of sentences 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
4	Writing basics: clauses 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
5	Writing basics: tense and aspect 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
6	Finding a topic of interest 事前学修：[30 分] Think about topics you like/don't like to write about 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your paper, complete the handout	Short lecture; planning; discussion.	Sam Bamkin
7	The structure of a paper 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Come up with an outline for your paper	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
8	Conducting a survey 事前学修：[30分] Think of questions for the survey 事後学修：[30分] Fill out the surveys of your classmates	Short lecture; plan and conduct a survey. (online in case of Covid restrictions)	Sam Bamkin
9	Describing graphs and figures 事前学修：[30分] Look at the results of your survey 事後学修：[30分] Describe the results of your survey, complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
10	Comparing and contrasting 事前学修：[30分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30分] Compare and contrast the results of your survey, complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
11	Concessions 事前学修：[30分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30分] Complete the handout	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
12	Linking words 事前学修：[30分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30分] Write out the results of the survey while using linking words	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
13	Writing conclusions 事前学修：[30分] Think about the conclusion of your survey 事後学修：[30分] Write a conclusion of your paper or the survey	Short lecture; practice in groups; individual writing practice.	Sam Bamkin
14	Proofreading & peer-review 事前学修：[60分] Finish a draft of your paper 事後学修：[30分] Submit your paper and check your classmate's paper	On-demand and online	Sam Bamkin
15	Tips & tricks on formatting your paper 事前学修：[30分] Review your classmate's notes and apply them 事後学修：Submit your final paper	Short lecture; discussion' pair and groups feedback.	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible)

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class will continue as W1-2 in the fall semester.

■ 成績評価の仕方

25% class participation, 25% assignments, 50% final paper.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 W1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS102

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The aim of this course is to strengthen the English grammar knowledge of the students, to provide them with basic information on writing a (short) paper, and to refine their writing skills through practice.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to write more complex sentences in English, be able to express their ideas better in writing, and will have a better idea on the structure of a paper.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class; writing emails 事前学修：[5 分] Confirm that you have an e-mail account that can be used for class-related communication 事後学修：[30 分] Write an email to the teacher		
2	Using dictionaries 事前学修：[20 分] Open a random English website and find 3 words you don't understand 事後学修：[30 分] Complete the handout		
3	Writing basics: types of sentences 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout		
4	Writing basics: clauses 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout		
5	Writing basics: tense and aspect 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout		
6	Finding a topic of interest 事前学修：[20 分] Think about topics you like to write about 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your paper		
7	The structure of a paper 事前学修：[20 分] Think about what you want to write in your paper 事後学修：[30 分] Make an outline for your paper		
8	Conducting a survey 事前学修：[20 分] Think about something you want to investigate 事後学修：[30 分] Finish making the survey		
9	Describing graphs and figures 事前学修：[20 分] Answer the surveys of your classmates 事後学修：[30 分] Write a short text about your own survey		
10	Writing an introduction and the structure of paragraphs 事前学修：[20 分] Review the materials from the past few weeks and think again about your topic 事後学修：[30 分] Complete the handout, work on your paper		
11	Comparing and contrasting 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Complete the handout, work on your paper		

No	内容	形式	教員
12	Concessions 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your paper		
13	Writing conclusions 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your paper		
14	Tips & tricks on formatting your paper 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Finish a draft version of your paper		
15	Peer review, Q&A 事前学修：[10分] Print out a draft of your paper (2x) and bring to class 事後学修：[120分] Submit your final paper		

■ 教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class will continue as W1-2 in the fall semester.

■ 成績評価の仕方

Class participation (20%)

Assignments (30%)

Final paper (50%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays.

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English and Japanese. The contents of the course might change depending on the students' ability.

英語 W1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS151

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

The purpose of this class is to acquire knowledge on academic language and academic papers, and to write your own essay, with guidance.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to find and use academic sources related to their topic, organize their writing into logically organized paragraphs, describe data, and incorporate elements of academic style in their writing.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Review of last semester 事前学修：[30 分] Review your notes and reflect on last semester 事後学修：[30 分] Complete the assignment	Lecture and group writing	Sam Bamkin
2	Finding and evaluating sources 事前学修：[30 分] Think of a broad topic you want to research 事後学修：[30 分] Find at least two sources and narrow down your topic	Lecture and group writing	Sam Bamkin
3	Types of essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Submit your topic idea	Lecture and group writing	Sam Bamkin
4	Creating an outline; academic writing style 事前学修：[30 分] Review the topic for your essay 事後学修：[30 分] Write an outline of your essay	Lecture and group writing	Sam Bamkin
5	Structure of a paragraph 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture. Group writing and individual writing.	Sam Bamkin
6	Paraphrasing and in-text citation 事前学修：[30 分] Choose a specific part of one of your sources to use in your essay 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture and group writing	Sam Bamkin
7	Title and the introduction section 事前学修：[30 分] Revise the outline of your paper 事後学修：[30 分] Write your introduction section	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
8	The body and conclusion section 事前学修：[30 分] Organize your information for the body of your essay 事後学修：[30 分] Start writing the body section	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
9	Narrative and descriptive essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture. Group writing and individual writing.	Sam Bamkin
10	Argumentative essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
11	Cause and effect essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture and group writing	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
12	Process essays 事前学修：[30分] Read the materials provided 事後学修：[30分] Complete the handout	Lecture and group writing	Sam Bamkin
13	Compare and contrast essays 事前学修：[30分] Read the materials provided 事後学修：[30分] Complete the handout	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
14	References 事前学修：[30分] Collect the sources you are using in your essay 事後学修：[30分] Make a list of your references in APA style	Lecture and group writing	Sam Bamkin
15	Analysis of an essay 事前学修：[30分] Finish a draft of your essay, prepare questions for the final class 事後学修：[30分] Submit your final essay	Lecture and discussion	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible)

■ フィードバックの仕方

This class continues W1-1.

■ 他の授業科目との関連

25% class participation, 25% assignments, 50% final paper.

■ 成績評価の仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 W1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5151

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The purpose of this class is to provide students with knowledge on a variety of English texts, and to increase their knowledge on academic language and academic papers.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to write different English texts. They will be able to find and use academic sources related to their topic, organize their writing into logically organized paragraphs, and incorporate elements of academic style in their writing.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction, writing a journal/diary entry 事前学修：[5 分] Confirm that you have access to the class page 事後学修：[30 分] Write a diary/journal entry		
2	Writing a resume 事前学修：[20 分] Make an overview of your education, part-time jobs and other information for a resume 事後学修：[30 分] Complete the handout		
3	Writing formal and informal letters 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Write a letter		
4	Writing a movie/book review 事前学修：[20 分] Think about a movie or book you want to write about 事後学修：[30 分] Write a review		
5	Review from last semester: the key elements of an academic paper 事前学修：[20 分] Review the materials from last semester 事後学修：[30 分] Take a look at the feedback on your paper last semester		
6	Types of essays 事前学修：[20 分] Bring the outline of your final paper from last semester 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your final paper		
7	Finding sources 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Find at least two sources you can use for your final paper		
8	Argumentative essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for an argumentative essay		
9	Cause and effect essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for a cause and effect essay		
10	Compare and contrast essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for a compare and contrast essay		
11	Process essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for a process essay		

No	内容	形式	教員
12	Descriptive and narrative essays 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Write a short story		
13	Academic writing 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your final paper		
14	References 事前学修：[20分] Look for sources you can use in your paper 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your final paper		
15	Review of the class, Q&A 事前学修：[20分] Prepare questions about your paper 事後学修：[120分] Submit your final paper		

■ 教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class is a continuation of W1-1.

■ 成績評価の仕方

Class participation (20%)

Assignments (30%)

Final paper (50%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English and Japanese. The contents of the course might change depending on the students' ability.

英語 W1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS151

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

The purpose of this class is to acquire knowledge on academic language and academic papers, and to write your own essay, with guidance.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to find and use academic sources related to their topic, organize their writing into logically organized paragraphs, describe data, and incorporate elements of academic style in their writing.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Review of last semester 事前学修：[30 分] Review your notes and reflect on last semester 事後学修：[30 分] Complete the assignment	Lecture and group writing	Sam Bamkin
2	Finding and evaluating sources 事前学修：[30 分] Think of a broad topic you want to research 事後学修：[30 分] Find at least two sources and narrow down your topic	Lecture and group writing	Sam Bamkin
3	Types of essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Submit your topic idea	Lecture and group writing	Sam Bamkin
4	Creating an outline; academic writing style 事前学修：[30 分] Review the topic for your essay 事後学修：[30 分] Write an outline of your essay	Lecture and group writing	Sam Bamkin
5	Structure of a paragraph 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture. Group writing and individual writing.	Sam Bamkin
6	Paraphrasing and in-text citation 事前学修：[30 分] Choose a specific part of one of your sources to use in your essay 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture and group writing	Sam Bamkin
7	Title and the introduction section 事前学修：[30 分] Revise the outline of your paper 事後学修：[30 分] Write your introduction section	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
8	The body and conclusion section 事前学修：[30 分] Organize your information for the body of your essay 事後学修：[30 分] Start writing the body section	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
9	Narrative and descriptive essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided by the teacher 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture. Group writing and individual writing.	Sam Bamkin
10	Argumentative essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
11	Cause and effect essays 事前学修：[30 分] Read the materials provided 事後学修：[30 分] Complete the handout	Lecture and group writing	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
12	Process essays 事前学修：[30分] Read the materials provided 事後学修：[30分] Complete the handout	Lecture and group writing	Sam Bamkin
13	Compare and contrast essays 事前学修：[30分] Read the materials provided 事後学修：[30分] Complete the handout	Lecture and individual writing	Sam Bamkin
14	References 事前学修：[30分] Collect the sources you are using in your essay 事後学修：[30分] Make a list of your references in APA style	Lecture and group writing	Sam Bamkin
15	Analysis of an essay 事前学修：[30分] Finish a draft of your essay, prepare questions for the final class 事後学修：[30分] Submit your final essay	Lecture and discussion	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible)

■ フィードバックの仕方

This class continues W1-1.

■ 他の授業科目との関連

25% class participation, 25% assignments, 50% final paper.

■ 成績評価の仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 W1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS151

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The purpose of this class is to provide students with knowledge on a variety of English texts, and to increase their knowledge on academic language and academic papers.

■ 到達目標

By the end of this course, students will be able to write different English texts. They will be able to find and use academic sources related to their topic, organize their writing into logically organized paragraphs, and incorporate elements of academic style in their writing.

■ 学習の進め方

The class consists of a lecture component and a groupwork component. Students are expected to prepare before class, actively participate and contribute during the lecture and group assignments, and to do their homework after class.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction, writing a journal/diary entry 事前学修：[5 分] Confirm that you have access to the class page 事後学修：[30 分] Write a diary/journal entry		
2	Writing a resume 事前学修：[20 分] Make an overview of your education, part-time jobs and other information for a resume 事後学修：[30 分] Complete the handout		
3	Writing formal and informal letters 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Write a letter		
4	Writing a movie/book review 事前学修：[20 分] Think about a movie or book you want to write about 事後学修：[30 分] Write a review		
5	Review from last semester: the key elements of an academic paper 事前学修：[20 分] Review the materials from last semester 事後学修：[30 分] Take a look at the feedback on your paper last semester		
6	Types of essays 事前学修：[20 分] Bring the outline of your final paper from last semester 事後学修：[30 分] Decide on a topic for your final paper		
7	Finding sources 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Find at least two sources you can use for your final paper		
8	Argumentative essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for an argumentative essay		
9	Cause and effect essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for a cause and effect essay		
10	Compare and contrast essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for a compare and contrast essay		
11	Process essays 事前学修：[20 分] Review the materials from last week 事後学修：[30 分] Prepare an outline for a process essay		

No	内容	形式	教員
12	Descriptive and narrative essays 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Write a short story		
13	Academic writing 事前学修：[20分] Review the materials from last week 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your final paper		
14	References 事前学修：[20分] Look for sources you can use in your paper 事後学修：[30分] Complete the handout, work on your final paper		
15	Review of the class, Q&A 事前学修：[20分] Prepare questions about your paper 事後学修：[120分] Submit your final paper		

■ 教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the class.

■ 参考書、参考資料等

Dictionary, smartphone or laptop (if possible).

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class is a continuation of W1-1.

■ 成績評価の仕方

Class participation (20%)

Assignments (30%)

Final paper (50%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English and Japanese. The contents of the course might change depending on the students' ability.

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5103

○ Benjamin Tutcher

■ 授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

■ 到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

■ 学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.
※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Course orientation and introductions. 事前学修：[30 分] Familiarize yourselves with the teacher and class. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	Getting to know you. 事前学修：[30 分] Prepare classroom questions. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	Your questions. Question and answer activities in groups. 事前学修：[30 分] Preview vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	Body parts - Medical English 事前学修：[30 分] Prepare relevant English phrases. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	Health and sickness - Medical English 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	English activity design. 事前学修：[30 分] Consider themes and English for an English game. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	Important events 1 - Activities related to important historical events. 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	Presentation preparation. Researching and preparing. 事前学修：[30 分] Consider possible topics for a presentation. 事後学修：[30 分] Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	Presentation preparation 2. Preparing and finalising. 事前学修：[30 分] Continue presentation preparation. 事後学修：[30 分] Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	Presentations. Individual or pair presentations. 事前学修：[30 分] Continue working on presentation. 事後学修：[30 分] Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	Health conversations - Medical English 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
12	Important events 2 - Further activities related to important historical events. 事前学修：[30分] Prepare English related to important events. 事後学修：[30分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher
13	Playing your games. Practical use and evaluation of student games. 事前学修：[30分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	Review and test preparation. 事前学修：[30分] Review course content. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	Test. 事前学修：[30分] Study for the test. 事後学修：[30分] Review everything.	試験	Tutcher

■ 教科書

None

■ 参考書、参考資料等

None

■ フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

■ 成績評価の仕方

40% participation

30% presentation

30% final test

■ オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL103

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.

To increase comfort and skill in using English in everyday situations.

■ 到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.

Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channeling, follow-up questions, agreeing and more.

■ 学習の進め方

対面の場合

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

Students should be prepared to participate openly.

遠隔授業の場合

Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレイクアウトの活動(ペア・小グループでの活動)はビデオとマイクを使う期待があります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Self-introductions. Getting to know each other 事前学修：[30 分] Read the syllabus carefully 事後学修：[30 分] Post in the class forum	対 面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	Sam Bamkin
2	Identity & Faces of the World 事前学修：[30 分] Watch the videos posted on Glexa 事後学修：[30 分] Revise vocabulary	対 面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	Sam Bamkin
3	Travel 事前学修：[30 分] Think about your favourite holiday. Prepare to speak about it 事後学修：[30 分] Watch other student's presentations and ask questions.	対 面：Whole class presentation; Q&A; listening worksheet. 遠 隔：同期アクティビティ, Glexa でポスト	Sam Bamkin
4	Coronavirus (Covid-19 pandemic) 事前学修：[30 分] Find English words related to the coronavirus 事後学修：[30 分] Revise vocabulary	対 面：small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
5	Film / television / book. 1 事前学修：[30分] Think about your favourite film, television programme or fictional book 事後学修：[30分] Prepare to present about a film, television programme or book	Class pre- sentation (practice)	Sam Bamkin
6	Film / television / book. 2 事前学修：[30分] Prepare to present about a film, television programme or book 事後学修：[30分] Reflect on the strengths and weaknesses of your presentation	Class pre- sentation (practice)	Sam Bamkin
7	Sports 事前学修：[30分] Watch the videos posted on Glexa 事後学修：[30分] View other student's posts/presentations and ask questions.	対 面：small group activities 遠隔：小グルー プで活動	Sam Bamkin
8	Multiculturalism in England and Japan 事前学修：[30分] Think about multiculturalism. What is it? 事後学修：[30分] Reflect on multiculturalism in Japan	対 面：Group discussion; listening work- sheets; Q&A; whole class discussion. 遠 隔：同期 ア クティビティ, Glexa でポスト	Sam Bamkin
9	SLEEP 事前学修：[30分] Watch the videos posted on Glexa 事後学修：[30分] Revise vocabulary	対 面：small group activi- ties; worksheet listening. 遠隔：非同期ア クティビティ	Sam Bamkin
10	Presentation preparation 事前学修：[30分] Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：[30分] Post ideas in class forum	Class presen- tation	Sam Bamkin
11	Storytime 事前学修：[30分] Watch the videos posted on Glexa 事後学修：[30分] Revise vocabulary	対 面：Group discussion; group writing. 遠 隔：同期 ア クティビティ, Glexa でポスト	Sam Bamkin
12	Class Presentations 事前学修：[30分] Think about stories from your childhood 事後学修：[30分] Revise vocabulary	Class presen- tation	Sam Bamkin
13	Class Presentations 事前学修：[30分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations	Class presen- tation	Sam Bamkin
14	Future predictions 事前学修：[30分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations	Online: 同期 アクティビテ ィ, Glexa でポ スト.	Sam Bamkin
15	Class survey 事前学修：[30分] Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：[30分] Plan English studies over the break	Whole class discussion; class survey	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

■ フィードバックの仕方

Online survey

■ 他の授業科目との関連

この授業は「英語 LS1-2」へと続くコースです。

■ 成績評価の仕方

Worksheets. Glexa posts.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5103

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

■ 到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

■ 学習の進め方

A class will consist of the following structure:

1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and an individual presentation on topics of their choice.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class, getting to know each other 事前学修：[5 分] Confirm that you have access to the class page 事後学修：[10 分] Review the materials of the class		
2	Personality types 事前学修：[20 分] Make the online personality test and answer the questionnaire 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
3	Predicting the future 事前学修：[30 分] Watch the video and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
4	Sleep 事前学修：[10 分] Write down how late you go to bed and how early you wake up this week 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
5	Morning routine 事前学修：[10 分] Write down your morning routine of one day 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
6	Stories 事前学修：[10 分] Think about your favorite book/manga/story 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
7	How to give a good presentation 事前学修：[10 分] Think about a topic for the group presentation 事後学修：[20 分] Review the materials of the class		
8	Group presentations 事前学修：[60 分] Prepare the group presentations 事後学修：[5 分] Submit the slides to Glexa		
9	Advertisements 事前学修：[10 分] Search your favorite advertisement 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
10	Films (1) 事前学修：[10 分] Think about your favorite film and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		

No	内容	形式	教員
11	Films (2) 事前学修：[10分] Think about what makes a film great in your opinion 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		
12	Sports 事前学修：[10分] Think about your favorite sport and prepare to talk about it 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		
13	Final presentations 事前学修：[120分] Prepare your presentation 事後学修：[5分] Submit your slides to Glexa		
14	Final presentations 事前学修：[120分] Prepare your presentation 事後学修：[5分] Submit your slides to Glexa		
15	Online education 事前学修：[10分] Think about what you like and dislike about online classes 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		

■ 教科書

None. Materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class will continue in the fall semester as LS1-2.

■ 成績評価の仕方

Class participation (30%)

Group presentation (30%)

Final presentation (40%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

英語 LS1-1

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5103

○ Benjamin Tutcher

■ 授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

■ 到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

■ 学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves. ※ In principle, the course will be conducted using distance-teaching methods (on-demand learning in Glexa or/and simultaneous, interactive classes by Teams and/or Zoom), and will require assignment submission.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Course orientation and introductions. 事前学修：[30分] Familiarize yourselves with the teacher and class. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	Getting to know you. 事前学修：[30分] Prepare classroom questions. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	Your questions. Question and answer activities in groups. 事前学修：[30分] Preview vocabulary. 事後学修：[30分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	Body parts - Medical English 事前学修：[30分] Prepare relevant English phrases. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	Health and sickness - Medical English 事前学修：[30分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	English activity design. 事前学修：[30分] Consider themes and English for an English game. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	Important events 1 - Activities related to important historical events. 事前学修：[30分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	Presentation preparation. Researching and preparing. 事前学修：[30分] Consider possible topics for a presentation. 事後学修：[30分] Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	Presentation preparation 2. Preparing and finalising. 事前学修：[30分] Continue presentation preparation. 事後学修：[30分] Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	Presentations. Individual or pair presentations. 事前学修：[30分] Continue working on presentation. 事後学修：[30分] Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	Health conversations - Medical English 事前学修：[30分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
12	Important events 2 - Further activities related to important historical events. 事前学修：[30分] Prepare English related to important events. 事後学修：[30分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher
13	Playing your games. Practical use and evaluation of student games. 事前学修：[30分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	Review and test preparation. 事前学修：[30分] Review course content. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	Test. 事前学修：[30分] Study for the test. 事後学修：[30分] Review everything.	試験	Tutcher

■ 教科書

None

■ 参考書、参考資料等

None

■ フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

■ 成績評価の仕方

40% participation

30% presentation

30% final test

■ オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL103

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.

To increase comfort and skill in using English in everyday situations.

■ 到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.

Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channeling, follow-up questions, agreeing and more.

■ 学習の進め方

対面の場合

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

Students should be prepared to participate openly.

遠隔授業の場合

Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレイクアウトの活動(ペア・小グループでの活動)はビデオとマイクを使う期待があります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Self-introductions. Getting to know each other 事前学修：[30 分] Read the syllabus carefully 事後学修：[30 分] Post in the class forum	対 面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	Sam Bamkin
2	Identity & Faces of the World 事前学修：[30 分] Watch the videos posted on Glaxa 事後学修：[30 分] Revise vocabulary	対 面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	Sam Bamkin
3	Travel 事前学修：[30 分] Think about your favourite holiday. Prepare to speak about it 事後学修：[30 分] Watch other student's presentations and ask questions.	対 面：Whole class presentation; Q&A; listening worksheet. 遠 隔：同期アクティビティ, Glaxa でポスト	Sam Bamkin
4	Coronavirus (Covid-19 pandemic) 事前学修：[30 分] Find English words related to the coronavirus 事後学修：[30 分] Revise vocabulary	対 面：small group activities; worksheet listening. 遠隔：非同期アクティビティ	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
5	Film / television / book. 1 事前学修：[30分] Think about your favourite film, television programme or fictional book 事後学修：[30分] Prepare to present about a film, television programme or book	Class pre- sentation (practice)	Sam Bamkin
6	Film / television / book. 2 事前学修：[30分] Prepare to present about a film, television programme or book 事後学修：[30分] Reflect on the strengths and weaknesses of your presentation	Class pre- sentation (practice)	Sam Bamkin
7	Sports 事前学修：[30分] Watch the videos posted on Glexa 事後学修：[30分] View other student's posts/presentations and ask questions.	対 面：small group activities 遠隔：小グルー プで活動	Sam Bamkin
8	Multiculturalism in England and Japan 事前学修：[30分] Think about multiculturalism. What is it? 事後学修：[30分] Reflect on multiculturalism in Japan	対 面：Group discussion; listening work- sheets; Q&A; whole class discussion. 遠 隔：同期ア クティビティ, Glexa でポスト	Sam Bamkin
9	SLEEP 事前学修：[30分] Watch the videos posted on Glexa 事後学修：[30分] Revise vocabulary	対 面：small group activi- ties; worksheet listening. 遠隔：非同期ア クティビティ	Sam Bamkin
10	Presentation preparation 事前学修：[30分] Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：[30分] Post ideas in class forum	Class presen- tation	Sam Bamkin
11	Storytime 事前学修：[30分] Watch the videos posted on Glexa 事後学修：[30分] Revise vocabulary	対 面：Group discussion; group writing. 遠 隔：同期ア クティビティ, Glexa でポスト	Sam Bamkin
12	Class Presentations 事前学修：[30分] Think about stories from your childhood 事後学修：[30分] Revise vocabulary	Class presen- tation	Sam Bamkin
13	Class Presentations 事前学修：[30分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations	Class presen- tation	Sam Bamkin
14	Future predictions 事前学修：[30分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations	Online: 同期 アクティビテ ィ, Glexa でポ スト.	Sam Bamkin
15	Class survey 事前学修：[30分] Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：[30分] Plan English studies over the break	Whole class discussion; class survey	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

■ フィードバックの仕方

Online survey

■ 他の授業科目との関連

この授業は「英語 LS1-2」へと続くコースです。

■ 成績評価の仕方

Worksheets. Glexa posts.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glexa.

英語 LS1-1

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5103

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

■ 到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

■ 学習の進め方

A class will consist of the following structure:

1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and an individual presentation on topics of their choice.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction to the class, getting to know each other 事前学修：[5 分] Confirm that you have access to the class page 事後学修：[10 分] Review the materials of the class		
2	Personality types 事前学修：[20 分] Make the online personality test and answer the questionnaire 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
3	Predicting the future 事前学修：[30 分] Watch the video and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
4	Sleep 事前学修：[10 分] Write down how late you go to bed and how early you wake up this week 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
5	Morning routine 事前学修：[10 分] Write down your morning routine of one day 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
6	Stories 事前学修：[10 分] Think about your favorite book/manga/story 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
7	How to give a good presentation 事前学修：[10 分] Think about a topic for the group presentation 事後学修：[20 分] Review the materials of the class		
8	Group presentations 事前学修：[60 分] Prepare the group presentations 事後学修：[5 分] Submit the slides to Glexa		
9	Advertisements 事前学修：[10 分] Search your favorite advertisement 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
10	Films (1) 事前学修：[10 分] Think about your favorite film and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		

No	内容	形式	教員
11	Films (2) 事前学修：[10分] Think about what makes a film great in your opinion 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		
12	Sports 事前学修：[10分] Think about your favorite sport and prepare to talk about it 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		
13	Final presentations 事前学修：[120分] Prepare your presentation 事後学修：[5分] Submit your slides to Glexa		
14	Final presentations 事前学修：[120分] Prepare your presentation 事後学修：[5分] Submit your slides to Glexa		
15	Online education 事前学修：[10分] Think about what you like and dislike about online classes 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		

■ 教科書

None. Materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class will continue in the fall semester as LS1-2.

■ 成績評価の仕方

Class participation (30%)

Group presentation (30%)

Final presentation (40%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBS152

○ Benjamin Tutcher

■ 授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

■ 到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

■ 学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Welcome back. Conversation activities about the summer. 事前学修：[30 分] Prepare language regarding summer experiences. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	Agree / disagree. Discussion activity about controversial topics. 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	Agree / disagree 2. Student lead discussion activity. 事前学修：[30 分] Consider ideas for discussion. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	You liars. Descriptive English activity relating life experiences. 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	Drawing dictation. Dictation and interpretation activity. 事前学修：[30 分] Preview required description vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	Body parts 2 - Medical English activities 事前学修：[30 分] Preview required language . 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	Halloween activities. 事前学修：[30 分] Preview Halloween vocabulary and activities. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	Presentation preparation. Researching and preparing presentation topic and script. 事前学修：[30 分] Consider possible topics for a presentation. 事後学修：[30 分] Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	Presentation preparation. Further preparation and finalising of presentation. 事前学修：[30 分] Continue presentation preparation. 事後学修：[30 分] Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	Presentations. Presentations leading to discussions in full class setting. 事前学修：[30 分] Continue working on presentation. 事後学修：[30 分] Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	The Matrix - English activities based on a movie scene and related themes. 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher
12	Christmas conversations. 事前学修：[30 分] Prepare English related to Christmas situations. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
13	You are the teacher. Researching and preparing topics for video related activities. 事前学修：[30分] Preview required English and related materials. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	Review and test preparation. 事前学修：[30分] Review course content. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	Test based on class content. 事前学修：[30分] Study for the test. 事後学修：[30分] Review everything.	試験	Tutcher

■ 教科書

Inspire 2

Cengage Learning

■ 参考書、参考資料等

None

■ フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

■ 成績評価の仕方

40% participation

30% presentation

30% final test

■ オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5152

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.

To increase comfort and skill in using English in everyday situations

■ 到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.

Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channelling, follow-up questions, agreeing and more.

■ 学習の進め方

対面の場合

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

Students should be prepared to participate openly.

遠隔授業の場合

Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレイクアウトの活動(ペア・小グループでの活動)はビデオとマイクを使う期待があります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Review of Spring term (LS1-1) Review of presentations Discuss syllabus 事前学修：[30 分] Read the syllabus carefully. 事後学修：[30 分] Post in the class forum	対 面：Whole class discus- sion; small group activities 遠隔：全員ミー ティング・非同 期アクティビテ ィ	Sam Bamkin
2	Club activities 事前学修：[30 分] What club activities did you do in high school? Prepare to present about it. 事後学修：[30 分] Post in class forum	対 面：Small group activi- ties; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同 期アクティビテ ィ	Sam Bamkin
3	My part-time job 事前学修：[30 分] Think about your part-time job, or if you want one. Prepare to present to the class. 事後学修：[30 分] Post in class forum	対 面：Small group activi- ties; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非 同期アクティビ ティ	Sam Bamkin
4	Investigation 1: studying overseas A 事前学修：[30 分] Find Youtube videos from Japanese students studying overseas. 事後学修：[30 分] Prepare your presentation and questions for other students	Individual or group discussion. Discussion.	Sam Bamkin
5	Investigation 1: studying overseas B 事前学修：[30 分] Prepare your presentation and questions for other students 事後学修：[30 分] Reflect on presentation. Feedback to classmates.	Class presen- tation.	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
6	Investigation 2: Olympics A 事前学修：[30分] Find an athlete who has competed in the Olympics. Learn about the athlete online. 事後学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students	Individual or group discussion. Discussion.	Sam Bamkin
7	Investigation 2: Olympics B 事前学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students 事後学修：[30分] Reflect on presentation. Feedback to classmates.	Class presentation.	Sam Bamkin
8	Investigation 1: Film, television, book A 事前学修：[30分] Think about your favourite film, television programme or fictional book. 事後学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students	Individual or group discussion. Discussion. Rehearsal.	Sam Bamkin
9	Investigation 2: Film, television, book B 事前学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students 事後学修：[30分] Reflect on presentation. Feedback to classmates.	Class role-play	Sam Bamkin
10	Presentation preparation 事前学修：[30分] Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：[45分] Post ideas in class forum	Whole class discussion; small group activities	Sam Bamkin
11	Write a children's story 事前学修：[15分] Think about your favourite stories from your childhood 事後学修：[30分] Revise vocabulary	Group discussion; group writing	Sam Bamkin
12	Pronunciation 事前学修：(none) 事後学修：[30分] Practice pronunciation	Pronunciation theory; Copying and practice; Q&A	Sam Bamkin
13	Class Presentations 事前学修：[45分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations		Sam Bamkin
14	Class Presentations 事前学修：[45分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations		Sam Bamkin
15	Class survey 事前学修：[30分] Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：[30分] Plan English studies over the break	Whole class discussion; class survey	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

■ フィードバックの仕方

Class survey (online or in-class)

■ 他の授業科目との関連

この授業は「英語 LS1-1」を続くコースです。

■ 成績評価の仕方

Worksheets. Glaxa posts.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glaxa.

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5152

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

■ 到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

■ 学習の進め方

A class will consist of the following structure:

1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and an individual presentation on topics of their choice.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Travel 事前学修：[5 分] Confirm that you have access to the class page 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
2	Food 事前学修：[10 分] Think about your favorite food and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
3	Fake news 事前学修：[20 分] Look up a fake news article 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
4	Stereotypes 事前学修：[10 分] Think about a stereotype 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
5	Fashion 事前学修：[10 分] Think about your favorite clothing stores 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
6	University life 事前学修：[10 分] Think about what you like most about being a student 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
7	Group presentations 事前学修：[60 分] Prepare the presentation 事後学修：[5 分] Submit the presentation to Glexa		
8	Jobs 事前学修：[10 分] Think about your dream job and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
9	Photography 事前学修：[10 分] Find a photo you like and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
10	Music 事前学修：[10 分] Think about your favorite song/singer 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
11	Life after COVID 事前学修：[10 分] Think about how your life would look like after the pandemic 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		

No	内容	形式	教員
12	Final presentations 事前学修：[120分] Prepare your presentation 事後学修：[5分] Submit your presentation to Glexa		
13	Final presentations 事前学修：[120分] Prepare your presentation 事後学修：[5分] Submit your presentation to Glexa		
14	Christmas 事前学修：[10分] Think about your favorite holiday 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		
15	Languages 事前学修：[10分] Think about what you have learned during this class 事後学修：[20分] Review the vocabulary/grammar		

■ 教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class is a continuation of LS1-1

■ 成績評価の仕方

Class participation (30%)

Group presentation (30%)

Final presentation (40%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL152

○ Benjamin Tutcher

■ 授業の目的

The purpose of this course is to equip students with valuable language skills in common environments and situations.

■ 到達目標

In this course students will learn to communicate their opinions and ideas in English. The course specifically targets improvements in their ability to understand and verbally interact in English.

■ 学習の進め方

This is an English course that focuses on a wide variety of activities and subjects in order to increase students' use and appreciation of English as a means to understand and interact with a modern global community and simultaneously learn more about themselves.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Welcome back. Conversation activities about the summer. 事前学修：[30 分] Prepare language regarding summer experiences. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
2	Agree / disagree. Discussion activity about controversial topics. 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
3	Agree / disagree 2. Student lead discussion activity. 事前学修：[30 分] Consider ideas for discussion. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
4	You liars. Descriptive English activity relating life experiences. 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
5	Drawing dictation. Dictation and interpretation activity. 事前学修：[30 分] Preview required description vocabulary. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
6	Body parts 2 - Medical English activities 事前学修：[30 分] Preview required language . 事後学修：[30 分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
7	Halloween activities. 事前学修：[30 分] Preview Halloween vocabulary and activities. 事後学修：[30 分] Review new language.	講義・演習	Tutcher
8	Presentation preparation. Researching and preparing presentation topic and script. 事前学修：[30 分] Consider possible topics for a presentation. 事後学修：[30 分] Continue presentation preparation.	講義・演習	Tutcher
9	Presentation preparation. Further preparation and finalising of presentation. 事前学修：[30 分] Continue presentation preparation. 事後学修：[30 分] Continue preparation for presentation.	講義・演習	Tutcher
10	Presentations. Presentations leading to discussions in full class setting. 事前学修：[30 分] Continue working on presentation. 事後学修：[30 分] Review presentation performance and content.	講義・演習	Tutcher
11	The Matrix - English activities based on a movie scene and related themes. 事前学修：[30 分] Preview required vocabulary. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher
12	Christmas conversations. 事前学修：[30 分] Prepare English related to Christmas situations. 事後学修：[30 分] Review any new language.	講義・演習	Tutcher

No	内容	形式	教員
13	You are the teacher. Researching and preparing topics for video related activities. 事前学修：[30分] Preview required English and related materials. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
14	Review and test preparation. 事前学修：[30分] Review course content. 事後学修：[30分] Review class content.	講義・演習	Tutcher
15	Test based on class content. 事前学修：[30分] Study for the test. 事後学修：[30分] Review everything.	試験	Tutcher

■ 教科書

Inspire 2

Cengage Learning

■ 参考書、参考資料等

None

■ フィードバックの仕方

The teacher will address all feedback issues and requests in class time. The teacher can also be contacted through email.

■ 他の授業科目との関連

この授業は、「英語 LS1-2」へ続くコースです。

■ 成績評価の仕方

40% participation

30% presentation

30% final test

■ オフィスアワー・研究室等

I can be contacted at this address: benjamin_tutcher@hotmail.com

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5152

○ Sam Bamkin

■ 授業の目的

To provide students the opportunity to use English on popular topics.

To increase comfort and skill in using English in everyday situations

■ 到達目標

Students will be able to speak using understandable English in a variety of situations.

Students will be able to do research, lead a conversation and learn tools for communicating, such as including back channelling, follow-up questions, agreeing and more.

■ 学習の進め方

対面の場合

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

Students should be prepared to participate openly.

遠隔授業の場合

Because of CoVid-19, classes may be held online or through a combination of synchronous and asynchronous activities.

Students will be expected to participate in class through pair and group (sessions 1-10) presentation (sessions 11-14), within a framework provided by the class activities.

全員の活動はマイクとビデオを使うことは任意です。ブレイクアウトの活動(ペア・小グループでの活動)はビデオとマイクを使う期待があります。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Review of Spring term (LS1-1) Review of presentations Discuss syllabus 事前学修：[30 分] Read the syllabus carefully. 事後学修：[30 分] Post in the class forum	対 面：Whole class discussion; small group activities 遠隔：全員ミーティング・非同期アクティビティ	Sam Bamkin
2	Club activities 事前学修：[30 分] What club activities did you do in high school? Prepare to present about it. 事後学修：[30 分] Post in class forum	対 面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 同期アクティビティ	Sam Bamkin
3	My part-time job 事前学修：[30 分] Think about your part-time job, or if you want one. Prepare to present to the class. 事後学修：[30 分] Post in class forum	対 面：Small group activities; worksheet listening. 遠隔：Zoom 非同期アクティビティ	Sam Bamkin
4	Investigation 1: studying overseas A 事前学修：[30 分] Find Youtube videos from Japanese students studying overseas. 事後学修：[30 分] Prepare your presentation and questions for other students	Individual or group discussion. Discussion.	Sam Bamkin
5	Investigation 1: studying overseas B 事前学修：[30 分] Prepare your presentation and questions for other students 事後学修：[30 分] Reflect on presentation. Feedback to classmates.	Class presentation.	Sam Bamkin

No	内容	形式	教員
6	Investigation 2: Olympics A 事前学修：[30分] Find an athlete who has competed in the Olympics. Learn about the athlete online. 事後学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students	Individual or group discussion. Discussion.	Sam Bamkin
7	Investigation 2: Olympics B 事前学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students 事後学修：[30分] Reflect on presentation. Feedback to classmates.	Class presentation.	Sam Bamkin
8	Investigation 1: Film, television, book A 事前学修：[30分] Think about your favourite film, television programme or fictional book. 事後学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students	Individual or group discussion. Discussion. Rehearsal.	Sam Bamkin
9	Investigation 2: Film, television, book B 事前学修：[30分] Prepare your presentation and questions for other students 事後学修：[30分] Reflect on presentation. Feedback to classmates.	Class role-play	Sam Bamkin
10	Presentation preparation 事前学修：[30分] Think about a presentation topic. Prepare to speak about it. 事後学修：[45分] Post ideas in class forum	Whole class discussion; small group activities	Sam Bamkin
11	Write a children's story 事前学修：[15分] Think about your favourite stories from your childhood 事後学修：[30分] Revise vocabulary	Group discussion; group writing	Sam Bamkin
12	Pronunciation 事前学修：(none) 事後学修：[30分] Practice pronunciation	Pronunciation theory; Copying and practice; Q&A	Sam Bamkin
13	Class Presentations 事前学修：[45分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations		Sam Bamkin
14	Class Presentations 事前学修：[45分] Prepare a presentation and questions for other students. 事後学修：[30分] Reflect on presentations		Sam Bamkin
15	Class survey 事前学修：[30分] Revise the syllabus. Reflect on the lessons 事後学修：[30分] Plan English studies over the break	Whole class discussion; class survey	Sam Bamkin

■ 教科書

(none)

■ 参考書、参考資料等

Please feel free to bring an electronic dictionary or smartphone dictionary app.

■ フィードバックの仕方

Class survey (online or in-class)

■ 他の授業科目との関連

この授業は「英語 LS1-1」を続くコースです。

■ 成績評価の仕方

Worksheets. Glaxa posts.

■ オフィスアワー・研究室等

Thursday, you are welcome to speak with me after class.

Please feel free to message anytime via Glaxa.

英語 LS1-2

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBL5152

○ Michelle van Bokhorst

■ 授業の目的

The purpose of this class is to build vocabulary and grammar necessary to facilitate smooth communication and give students opportunities to use English to express their opinions and ideas.

■ 到達目標

By the end of this course students will have gained new vocabulary both on specific topics presented in class, as well as common terms and expressions helpful in discussions and conversations. The students will be able to communicate with more freedom and confidence.

■ 学習の進め方

A class will consist of the following structure:

1. A short introduction to the topic in the form of an interactive lecture
2. Discussions in small groups related to the topic of the class

Students will hold group presentations and an individual presentation on topics of their choice.

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Travel 事前学修：[5 分] Confirm that you have access to the class page 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
2	Food 事前学修：[10 分] Think about your favorite food and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
3	Fake news 事前学修：[20 分] Look up a fake news article 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
4	Stereotypes 事前学修：[10 分] Think about a stereotype 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
5	Fashion 事前学修：[10 分] Think about your favorite clothing stores 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
6	University life 事前学修：[10 分] Think about what you like most about being a student 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
7	Group presentations 事前学修：[60 分] Prepare the presentation 事後学修：[5 分] Submit the presentation to Glexa		
8	Jobs 事前学修：[10 分] Think about your dream job and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
9	Photography 事前学修：[10 分] Find a photo you like and prepare to talk about it 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
10	Music 事前学修：[10 分] Think about your favorite song/singer 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
11	Life after COVID 事前学修：[10 分] Think about how your life would look like after the pandemic 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		

No	内容	形式	教員
12	Final presentations 事前学修：[120 分] Prepare your presentation 事後学修：[5 分] Submit your presentation to Glexa		
13	Final presentations 事前学修：[120 分] Prepare your presentation 事後学修：[5 分] Submit your presentation to Glexa		
14	Christmas 事前学修：[10 分] Think about your favorite holiday 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		
15	Languages 事前学修：[10 分] Think about what you have learned during this class 事後学修：[20 分] Review the vocabulary/grammar		

■ 教科書

None. Handouts and other materials will be provided during the course.

■ 参考書、参考資料等

Smartphones or other devices with access to the internet will be helpful.

■ フィードバックの仕方

Feedback will be given directly during class or through comments on written assignments.

■ 他の授業科目との関連

This class is a continuation of LS1-1

■ 成績評価の仕方

Class participation (30%)

Group presentation (30%)

Final presentation (40%)

■ オフィスアワー・研究室等

Questions regarding the course will be answered by e-mail; if necessary individual consultation can be arranged on Thursdays (appointment by e-mail).

■ 受講上の注意事項

The class will be conducted in English. The contents of the course might change depending on the students' ability.

語学研修

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」実践 「3」成長 科目ナンバー：HBL5153

○遠藤 花子

■ 授業の目的

アメリカ北西部のシアトルに位置する州立ワシントン大学が担当する STEP(Short English Programs) に参加します。3 週間のプログラムで、コミュニケーションの強化に焦点をおき、ボキャブラリー、表現方法、発音練習と合わせて、アメリカの習慣文化についてインタビューやディスカッション、小グループ単位のプロジェクトワークを通じて会話力の向上を目指します。授業は自分のレベルにあったクラス構成となります。研修中はホームステイとなります。

■ 到達目標

英語で積極的なコミュニケーションができるようになる。
異文化に対する理解を深めることができるようになる。
日本文化をより深く理解することができるようになる。

■ 学習の進め方

学内で事前ガイダンスを 3 回ほど行い、夏季休暇中に 3 週間の語学研修に参加する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

4 月 22 日(金) 1 限 研修内容の説明
5 月 20 日(金) 1 限 旅行者による説明会
7 月 15 日(金) B クラス 1 限 渡航前講習会、危機管理講習会
A クラス 4 限 渡航前講習会、危機管理講習会
ワシントン大学へ 3 週間のプログラムに参加
帰国後 フィードバック

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

■ 教科書

ガイダンスの時にお伝えします。

■ 参考書、参考資料等

特になし

■ フィードバックの仕方

帰国後、フィードバックを行います。

■ 他の授業科目との関連

特になし

■ 成績評価の仕方

成績は単位認定になりますので、S, A, B, C での評価は行いません。
2 年生以上は「LS2-2」で単位認定となります。

■ オフィスアワー・研究室等

メール(h-endo@redcross.ac.jp)あるいは、研究室 401 室にて質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

ガイダンスに必ず参加して下さい。国際状況により、やむを得ず閉講になることがあります。

中国語

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」関係 「3」成長 科目ナンバー：HBL104

○郭 嘉瑋

■ 授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、その発音と基礎的な文法を習得し、簡単な挨拶や日常会話ができるようになり、中国の文化や習慣について理解を深めることを目的とする。

■ 到達目標

- ①中国語の発音を習得する。
- ②中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
- ③名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
- ④日本と中国の文化の違いについて自分で考えられるようになる。

■ 学習の進め方

この授業は、以下のように進める。

1. 教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
3. 授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。

この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音や文を練習し、習得することを求める。したがって授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚、現代中国社会、および医療に関する話題についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 事前学修：[15 分] 身の回りにある中国語や中国文化を探し、メモする 事後学修：[15 分] 授業内容を復習し、気づきや感想、およびこの授業で勉強したいことを 200 字程度にまとめる	講義・演習	郭
2	発音(1)：中国語についての概要・声調・単母音 事前学修：[15 分] 事後学習に必要な道具(ノートや教科書など)を準備し、教科書 6-7 頁を読み、知らなかった内容や興味のある内容をノートに書きだす 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 8 頁の「声調」と「単母音」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
3	発音(2)：子音 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、8 頁の「声調」と「単母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 9 頁の「子音」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
4	発音(3)：複合母音・-n、-ng をともなう母音 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、9 頁の「子音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 10 頁「複合母音」・11 頁「-n、-ng をともなう母音」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
5	発音(4)：ピンイン書き換えのルール・軽声・変調・数字 1～10 の言い方 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、10 頁「複合母音」・11 頁「-n、-ng をともなう母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、数字 1～10 を暗記する	講義・演習	郭
6	発音(5)：発音のまとめ・「あいさつ」 【小テスト(1)】発音の聴き取り 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、ここまで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 63 頁「あいさつ」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭

No	内容	形式	教員
7	第1課 新出単語・会話・文法ポイント解説 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、ここまでで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて14頁「会話」・15頁「ポイント1」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
8	第2課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(1)〕名前を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第1課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて18頁「会話」・19頁「ポイント2」、および名前の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
9	第3課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(2)〕大学名・専攻・学年を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第2課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて22頁「会話」・23頁「ポイント3」、および大学名・専攻・学年の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
10	第4課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔小テスト(2)〕自分の名前、大学名、専攻、学年を紹介する 事前学修：[60分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第3課の内容を復習する、自分の名前、大学名、専攻、学年の紹介を練習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて26頁「会話」・27頁「ポイント4」をくりかえし練習する	講義・演習	郭
11	第5課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(3)〕誕生日・年齢を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第4課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて30頁「会話」・31頁「ポイント5」、および誕生日・年齢の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
12	第6課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(4)〕住まい(実家)を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第5課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて34頁「会話」・35頁「ポイント6」、および住まい(実家)の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
13	第7課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(5)〕家族を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第6課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて38頁「会話」・39頁「ポイント7」、および家族の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
14	補足語句・ドリル 〔自己紹介(6)〕趣味や好きなもの 〔小テスト(3)〕互いの情報の聞き合う 事前学修：[60分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第1-7課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、補足語句、および趣味や好きなものの紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
15	総合練習 事前学修：[60分] 前期に学んだ表現を用いて「自己紹介」を書く 事後学修：[120分] 授業内容全体を復習し、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する、関心のある中国の文化や社会に関する話題を一つ選んで調べ、発表できるようにまとめる	講義・演習	郭

■教科書

竹島金吾監、尹景春、竹島毅著(2012).《最新2訂版》中国語はじめての一步. 白水社.

■参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社.

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

初めて中国語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、小テスト 30 %、定期試験 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

フランス語

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」国際貢献 「3」成長 科目ナンバー：HBL154

○西村 友樹雄

■ 授業の目的

フランス語の文法の基礎と、それを用いたフランス語コミュニケーションの基礎を学ぶ。

■ 到達目標

- ・簡単な会話や作文ができるようになる。
- ・フランス文化に対する理解を深める。

■ 学習の進め方

会話文をもとに基本文法をおさえ、ペア・ワークを含むさまざまなアクティビティをとおして、実践的にフランス語を学んでいきます。また時間の許すかぎり、ニュースや映像、音楽などを用いて、フランス文化の紹介も行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 事前学修：[20 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[20 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西村
2	Leçon1 自己紹介する 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
3	Leçon1 名前、国籍、出身地を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
4	Leçon2 人について語る 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
5	Leçon2 職業名、住んでいるところ、話せる言語を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
6	Leçon3 持ち物についてたずねる 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
7	Leçon3 身の回りのものについて 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
8	Leçon4 好き・嫌いを言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
9	Leçon4 趣味・活動について 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
10	Leçon5 行先を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
11	Leçon5 施設・場所について 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
12	Leçon6 紹介する 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村

No	内容	形式	教員
13	Leçon6 家族について 事前学修：[20分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西脇
14	Supplément 2 カフェで注文する 事前学修：[20分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
15	まとめ 事前学修：[90分] 全体を振り返り、疑問点があれば整理しておく。 事後学修：[30分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

■ 教科書

北村垂矢子・Vincent Durrenberger 著、『新・オン プラティック! -使える・発音(はな)せるフランス語-』、朝日出版社、2017

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後、Glexa 上に模範解答を提示して行う。

■ 他の授業科目との関連

「国際関係論」など、国際貢献にかかわるような科目とつながります。
また、フランス語が話されている地域への留学・海外研修で使える知識を提供します。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%) 2. 試験(50%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつけます。また授業初回に質問・連絡用のメールアドレスを伝えます。

■ 受講上の注意事項

授業でわからないことがあるなど、困ったことがあれば遠慮せず口頭・メールどちらでもよいので聞いてください。

人体の構造と機能 I (解剖と生理①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS100

○井上 明宏

■ 授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 消化器、呼吸器、循環器の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

■ 学習の進め方

- ・ 授業は講義形式を基本とするが、適宜、自習ノート作成、演習、小テスト(Quiz)などを行う。
- ・ 授業は教科書の内容を基本として進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	解剖生理学を学ぶための基礎知識(1) 事前学修：[60分] 教科書第1章 B ①～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[60分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
2	解剖生理学を学ぶための基礎知識(2) 事前学修：[60分] 教科書第1章 B ⑥～第1章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
3	栄養の消化と吸収(1) 事前学修：[60分] 教科書第2章 A ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
4	栄養の消化と吸収(2) 事前学修：[60分] 教科書第2章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
5	栄養の消化と吸収(3) 事前学修：[60分] 教科書第2章 B ③～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
6	栄養の消化と吸収(4) 事前学修：[60分] 教科書第2章 B ⑥⑦、第2章 C ②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
7	栄養の消化と吸収(5) 事前学修：[60分] 教科書第2章 C ③④、第2章 D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
8	呼吸と血液のはたらき(1) 事前学修：[60分] 教科書第3章 A、第3章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上

No	内容	形式	教員
9	呼吸と血液のはたらき(2) 事前学修：[60分] 教科書第3章 B ③～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
10	呼吸と血液のはたらき(3) 事前学修：[60分] 教科書第3章 C ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
11	呼吸と血液のはたらき(4) 事前学修：[60分] 教科書第3章 C ⑤～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
12	血液の循環と調節(1) 事前学修：[60分] 教科書第4章 A、B、C ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
13	血液の循環と調節(2) 事前学修：[60分] 教科書第4章 C ③、第4章 D ②～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
14	血液の循環と調節(3) 事前学修：[60分] 教科書第4章 D ①、第4章 E ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
15	血液の循環と調節(4) 事前学修：[60分] 教科書第4章 E ⑤、第4章 F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上

■教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 医学書院(2021)

■参考書、参考資料等

必要に応じて適宜紹介する。また、参考資料のプリント(紙媒体)を配布する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明する。

■他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっているが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できる。なお、本科目は「看護援助論実習[レベルⅠ]」の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

授業への取り組み(課題提出、Quiz など) 30%および定期試験 70%を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 井上研究室(409)

■受講上の注意事項

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

人体の構造と機能 I (解剖と生理①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS100

○井上 明宏

■ 授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 消化器、呼吸器、循環器の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
- ・ 身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

■ 学習の進め方

- ・ 授業は講義形式を基本とするが、適宜、自習ノート作成、演習、小テスト(Quiz)などを行う。
- ・ 授業は教科書の内容を基本として進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	解剖生理学を学ぶための基礎知識(1) 事前学修：[60分] 教科書第1章 B ①～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[60分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
2	解剖生理学を学ぶための基礎知識(2) 事前学修：[60分] 教科書第1章 B ⑥～第1章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
3	栄養の消化と吸収(1) 事前学修：[60分] 教科書第2章 A ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
4	栄養の消化と吸収(2) 事前学修：[60分] 教科書第2章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
5	栄養の消化と吸収(3) 事前学修：[60分] 教科書第2章 B ③～⑤を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
6	栄養の消化と吸収(4) 事前学修：[60分] 教科書第2章 B ⑥⑦、第2章 C ②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
7	栄養の消化と吸収(5) 事前学修：[60分] 教科書第2章 C ③④、第2章 D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
8	呼吸と血液のはたらき(1) 事前学修：[60分] 教科書第3章 A、第3章 B ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上

No	内容	形式	教員
9	呼吸と血液のはたらき(2) 事前学修：[60分] 教科書第3章 B ③～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
10	呼吸と血液のはたらき(3) 事前学修：[60分] 教科書第3章 C ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
11	呼吸と血液のはたらき(4) 事前学修：[60分] 教科書第3章 C ⑤～⑦を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	白井・井上
12	血液の循環と調節(1) 事前学修：[60分] 教科書第4章 A、B、C ①②を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
13	血液の循環と調節(2) 事前学修：[60分] 教科書第4章 C ③、第4章 D ②～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
14	血液の循環と調節(3) 事前学修：[60分] 教科書第4章 D ①、第4章 E ①～④を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
15	血液の循環と調節(4) 事前学修：[60分] 教科書第4章 E ⑤、第4章 F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上

■教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 医学書院(2021)

■参考書、参考資料等

必要に応じて適宜紹介する。また、参考資料のプリント(紙媒体)を配布する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明する。

■他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっているが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できる。なお、本科目は「看護援助論実習[レベルⅠ]」の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

授業への取り組み(課題提出、Quiz など) 30%および定期試験 70%を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 井上研究室(409)

■受講上の注意事項

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS101

○井上 明宏

■ 授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・腎・泌尿器、内分泌器官、運動器、脳・神経、生体防御・免疫、生殖・発生の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
- ・身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

■ 学習の進め方

「AL」

- ・授業は講義形式を基本とするが、適宜、自習ノート作成、演習、小テスト(Quiz)などを行う。
- ・授業は教科書の内容を基本として進める。
- ・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとする。
- ・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	体液の調節と尿の生成(1) 事前学修：[60分] 教科書第5章A①～③をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
2	体液の調節と尿の生成(2) 事前学修：[60分] 教科書第5章A③④、第5章B、CをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
3	内臓機能の調節(1) 事前学修：[60分] 教科書第6章B、第6章C①をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
4	内臓機能の調節(2) 事前学修：[60分] 教科書第6章C②③をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
5	内臓機能の調節(3) 事前学修：[60分] 教科書第6章C④～⑥、第6章D、EをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
6	身体の支持と運動(1) 事前学修：[60分] 教科書第7章A～CをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
7	身体の支持と運動(2) 事前学修：[60分] 教科書第7章D、EをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
8	身体の支持と運動(3) 事前学修：[60分] 教科書第7章FをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義・演習	井上

No	内容	形式	教員
9	身体の支持と運動(4) 事前学修：[60分] 教科書第7章 G、H を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
10	情報の受容と処理(1) 事前学修：[60分] 教科書第8章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
11	情報の受容と処理(2) 事前学修：[60分] 教科書第8章 C～F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
12	情報の受容と処理(3) 事前学修：[60分] 教科書第8章 G～J を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
13	外部環境からの防御 事前学修：[60分] 教科書第9章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
14	生殖・発生と老化のしくみ(1) 事前学修：[60分] 教科書第10章 B、C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
15	生殖・発生と老化のしくみ(2) 事前学修：[60分] 教科書第10章 A、D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上

■教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 医学書院(2021)

■参考書、参考資料等

必要に応じて適宜紹介する。また、参考資料のプリント(紙媒体)を配布する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明する。

■他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっているが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できる。なお、本科目は「看護援助論実習[レベルⅠ]」の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

授業への取り組み(課題提出、演習、Quiz など)30%および定期試験70%を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の18:00～18:30 井上研究室(409)

■受講上の注意事項

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS101

○井上 明宏

■ 授業の目的

人体解剖生理学は、人間に生じる複雑な健康問題とそれに対する反応を科学的、論理的に理解するための基礎となる科目であり、基礎・臨床医学、看護学、その他関連諸学問との連携や応用に結びつくように意識しながら学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・腎・泌尿器、内分泌器官、運動器、脳・神経、生体防御・免疫、生殖・発生の構造や機能に関する用語とその意味を正しく、他者にわかりやすく説明できる。
- ・身体の機能を構造に結びつけて、他者にわかりやすく説明できる。
- ・身体の正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。

■ 学習の進め方

「AL」

- ・授業は講義形式を基本とするが、適宜、自習ノート作成、演習、小テスト(Quiz)などを行う。
- ・授業は教科書の内容を基本として進める。
- ・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとする。
- ・学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	体液の調節と尿の生成(1) 事前学修：[60分] 教科書第5章A①～③をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
2	体液の調節と尿の生成(2) 事前学修：[60分] 教科書第5章A③④、第5章B、CをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
3	内臓機能の調節(1) 事前学修：[60分] 教科書第6章B、第6章C①をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
4	内臓機能の調節(2) 事前学修：[60分] 教科書第6章C②③をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
5	内臓機能の調節(3) 事前学修：[60分] 教科書第6章C④～⑥、第6章D、EをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
6	身体の支持と運動(1) 事前学修：[60分] 教科書第7章A～CをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
7	身体の支持と運動(2) 事前学修：[60分] 教科書第7章D、EをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義	井上
8	身体の支持と運動(3) 事前学修：[60分] 教科書第7章FをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quizなどを行う。	講義・演習	井上

No	内容	形式	教員
9	身体の支持と運動(4) 事前学修：[60分] 教科書第7章 G、H を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
10	情報の受容と処理(1) 事前学修：[60分] 教科書第8章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
11	情報の受容と処理(2) 事前学修：[60分] 教科書第8章 C～F を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
12	情報の受容と処理(3) 事前学修：[60分] 教科書第8章 G～J を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義・演習	井上
13	外部環境からの防御 事前学修：[60分] 教科書第9章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
14	生殖・発生と老化のしくみ(1) 事前学修：[60分] 教科書第10章 B、C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上
15	生殖・発生と老化のしくみ(2) 事前学修：[60分] 教科書第10章 A、D を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業を振り返り、指示があれば、課題提出、Glexa Quiz などを行う。	講義	井上

■教科書

系統看護学講座 専門基礎「解剖生理学」人体の構造と機能① 医学書院(2021)

■参考書、参考資料等

必要に応じて適宜紹介する。また、参考資料のプリント(紙媒体)を配布する。

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、「人体の構造と機能Ⅱ」の授業中またはポータルサイトにて、対策、総評および特に注意が必要な点について説明する。

■他の授業科目との関連

「人体の構造と機能ⅠおよびⅡ」は独立した科目設定になっているが、Ⅰに引き続きⅡを学ぶことで解剖生理学の全体が把握できる。なお、本科目は「看護援助論実習[レベルⅠ]」の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

授業への取り組み(課題提出、演習、Quiz など) 30%および定期試験 70%を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00～18:30 井上研究室(409)

■受講上の注意事項

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS150

○菅田 晴夫

■ 授業の目的

1. 代謝・生化学

人体が摂取した糖質、脂質、タンパク質は、体内でエネルギー源及び体の構成成分の原料として使われ、やがて分解・排泄される。この過程は代謝と呼ばれ、これを研究する分野を生化学という。この授業では糖質、脂質、タンパク質の構造・性質・働きを学んでから代謝の仕組みを学ぶ。また代謝に必要なビタミン、無機質、酵素について、さらに遺伝情報を担う核酸についても学ぶ。

2. 生体防御・感染

疾患の原因となる微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)の性質と、それらが人体に感染する仕組み、および発症の仕組みを学ぶ。さらに、感染症に対する生体防御の仕組み、また化学療法および院内感染について学ぶ。

■ 到達目標

1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸の構造・性質・働きについて説明できる。
2. 摂取した糖質、脂質、タンパク質の体内代謝の過程を説明できる。
3. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質について説明できる。
4. 病原微生物による感染の仕組み、生体防御の仕組み、感染症および化学療法について説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の予定：前半8回を「代謝・生化学」の講義に、後半7回を「生体防御・感染」の講義にあてる。
2. 図表の提示：教科書の図表に解説を加えた資料を授業ごとに配る。同じ資料をパワーポイントで図示しながら講義を進める。
3. 質問に基づく授業展開：学生からの疑問点を取り上げ、授業内容の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生化学の基礎 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
2	酵素の性質と働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
3	ビタミン・無機質の性質と働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
4	糖質の構造・性質・働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
5	脂質の構造・性質・働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
6	タンパク質の構造・性質・働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
7	核酸の構造・性質・働き、遺伝情報伝達の仕組み 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
8	糖・脂質・タンパク質の代謝 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
9	細菌の性質 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田

No	内容	形式	教員
10	真菌・原虫・ウイルスの性質 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
11	感染と感染症 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
12	感染に対する生体防御の仕組み 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
13	感染源・感染経路からみた感染症 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
14	滅菌と消毒 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
15	感染症の治療、院内感染とその特徴 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田

■ 教科書

- 代謝・生化学：系統看護学講座 [生化学 人体の構造と機能 ②] 畠山鎮次(著)(医学書院) 2022
- 生体防御・感染：系統看護学講座 [微生物学 疾病のなりたちと回復の促進 ④] 南嶋洋一、他 4名(著)(医学書院) 2022

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後、Glexa を通じた解説資料の配布によって行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、主に内科系の科目に関連する基礎科目の 1 つであることを理解して授業に臨むこと。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(15%)、定期試験(85%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で、また電子メールで随時質問を受け付ける。

質問先メールアドレス：Glexa に掲載

■ 受講上の注意事項

疑問点はそのままにせず、積極的に質問すること。

人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」関係 「3」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS150

○菅田 晴夫

■ 授業の目的

1. 代謝・生化学

人体が摂取した糖質、脂質、タンパク質は、体内でエネルギー源及び体の構成成分の原料として使われ、やがて分解・排泄される。この過程は代謝と呼ばれ、これを研究する分野を生化学という。この授業では糖質、脂質、タンパク質の構造・性質・働きを学んでから代謝の仕組みを学ぶ。また代謝に必要なビタミン、無機質、酵素について、さらに遺伝情報を担う核酸についても学ぶ。

2. 生体防御・感染

疾患の原因となる微生物(細菌、真菌、原虫、ウイルス)の性質と、それらが人体に感染する仕組み、および発症の仕組みを学ぶ。さらに、感染症に対する生体防御の仕組み、また化学療法および院内感染について学ぶ。

■ 到達目標

1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸の構造・性質・働きについて説明できる。
2. 摂取した糖質、脂質、タンパク質の体内代謝の過程を説明できる。
3. 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質について説明できる。
4. 病原微生物による感染の仕組み、生体防御の仕組み、感染症および化学療法について説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の予定：前半8回を「代謝・生化学」の講義に、後半7回を「生体防御・感染」の講義にあてる。
2. 図表の提示：教科書の図表に解説を加えた資料を授業ごとに配る。同じ資料をパワーポイントで図示しながら講義を進める。
3. 質問に基づく授業展開：学生からの疑問点を取り上げ、授業内容の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生化学の基礎 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
2	酵素の性質と働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
3	ビタミン・無機質の性質と働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
4	糖質の構造・性質・働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
5	脂質の構造・性質・働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
6	タンパク質の構造・性質・働き 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
7	核酸の構造・性質・働き、遺伝情報伝達の仕組み 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
8	糖・脂質・タンパク質の代謝 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田
9	細菌の性質 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A4用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	菅田

No	内容	形式	教員
10	真菌・原虫・ウイルスの性質 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
11	感染と感染症 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
12	感染に対する生体防御の仕組み 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
13	感染源・感染経路からみた感染症 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
14	滅菌と消毒 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田
15	感染症の治療、院内感染とその特徴 事前学修：[30分] 教科書の講義範囲を事前に読み、A 4 用紙に要点をまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容が理解できていたかどうか、要点を確認する。	講義	誉田

■ 教科書

- 代謝・生化学：系統看護学講座 [生化学 人体の構造と機能 ②] 畠山鎮次(著)(医学書院) 2022
- 生体防御・感染：系統看護学講座 [微生物学 疾病のなりたちと回復の促進 ④] 南嶋洋一、他 4 名(著)(医学書院) 2022

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後、Glexa を通じた解説資料の配布によって行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、主に内科系の科目に関連する基礎科目の 1 つであることを理解して授業に臨むこと。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(15%)、定期試験(85%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で、また電子メールで随時質問を受け付ける。

質問先メールアドレス：Glexa に掲載

■ 受講上の注意事項

疑問点はそのままにせず、積極的に質問すること。

疾病の成り立ちと回復の促進 I (病理学総論、内分泌・代謝、消化器)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS151

○井上 明宏、吉田 英雄、高屋 和彦

■ 授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進 I、II、III」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかわかり、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 消化器系および内分泌・代謝の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■ 学習の進め方

- ・ 授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテストを行う。
- ・ 授業は基本的に教科書の内容に沿って進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
- ・ 必要に応じて LMS(Learning Management System・Glexa) を活用する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	病理学総論(1)「病理学序論、細胞・組織の損傷と修復」 事前学修：[60分] 教科書第1章、第2章、第10章を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
2	病理学総論(2)「炎症と免疫・移植と再生医療」 事前学修：[60分] 教科書第2章、第3章を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
3	病理学総論(3)「循環障害」 事前学修：[60分] 教科書第5章を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
4	病理学総論(4)「感染症・代謝障害」 事前学修：[60分] 教科書第4章、第6章を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
5	病理学総論(5)「老化と死・先天異常と遺伝疾患」 事前学修：[60分] 教科書第7章、第8章を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
6	病理学総論(6)「腫瘍」 事前学修：[60分] 教科書第9章を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
7	消化器疾患(1)「症状」「上部消化管の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第3章、第4章A、第5章Aを A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
8	消化器疾患(2)「上部・下部消化管の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章B、C ①～⑧⑩を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
9	消化器疾患(3)「下部消化管の疾患」「肝臓の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章C ⑨⑩、D ①を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田

No	内容	形式	教員
10	消化器疾患(4)「肝臓の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章D②～⑤をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
11	消化器疾患(5)「胆嚢・膵臓の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章D⑦～⑩、第5章EをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	吉田
12	内分泌疾患(1)「下垂体の疾患①」 事前学修：[60分] 教科書第2章、3章、4章、5章Aの関連する内容をA4用紙2枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
13	内分泌疾患(2)「下垂体の疾患②」「甲状腺・副甲状腺の疾患」「副腎の疾患」 事前学修：[60分] 教科書第2章、3章、4章、5章Aの関連する内容をA4用紙2枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
14	代謝疾患(1)「糖尿病」 事前学修：[60分] 教科書第2章、3章、4章、5章Bの関連する内容をA4用紙2枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋
15	代謝疾患(2)「脂質異常症」「メタボリックシンドローム」「尿酸代謝異常」 事前学修：[60分] 教科書第2章、3章、4章、5章Bの関連する内容をA4用紙2枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	高屋

■ 教科書

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 第6版、医学書院(2021改訂)
- ・系統看護学講座・専門II「消化器」成人看護学⑤ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門II「内分泌・代謝」成人看護学⑥ 第15版、医学書院(2019改訂)

■ 参考書、参考資料等

- ・参考資料のプリントを配布する。
- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 第2版、医学書院(2016)

■ フィードバックの仕方

試験の対策、結果の総評について、試験の前後2～3週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa)等で伝達する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・ミニテスト・リフレクションペーパー・演習(20%)および定期試験(80%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の18:00～18:30(井上研究室409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

■ 受講上の注意事項

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBHS152

○井上 明宏、出雲 雄大、石橋 由孝

■ 授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 呼吸器系、循環器系、腎・泌尿器系の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■ 学習の進め方

AL

- ・ 授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテスト・演習を行う。
- ・ 授業は基本的に教科書の内容に沿って進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
- ・ 学生自らが調べ、考え、まとめて他者に伝えるというアクティブラーニングの形態を導入する。
- ・ 必要に応じてLMS(Learning Management System・Glexa)を活用する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション(解剖生理復習) 事前学修：[90分] 各科の教科書第2章をA4用紙6枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
2	呼吸器疾患(1)「構造と機能・症状と病態生理・検査と治療」 事前学修：[60分] 教科書第2章、第3章、第4章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
3	呼吸器疾患(2)「感染症」 事前学修：[60分] 教科書第5章AをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
4	呼吸器疾患(3)「間質性肺炎・喘息」 事前学修：[60分] 教科書第5章B、C①をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
5	呼吸器疾患(4)「慢性閉塞性肺疾患・肺腫瘍」 事前学修：[60分] 教科書第5章C②、③、D、GをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	出雲
6	呼吸器疾患(5)まとめ 事前学修：[60分] 演習課題実施メモを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	演習	出雲
7	循環器疾患(1)「構造と機能・症状と病態生理」 事前学修：[60分] 教科書第2章、第3章を参考に事前課題をA4用紙4枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
8	循環器疾患(2)「検査と治療」 事前学修：[60分] 教科書第4章を参考に事前課題をA4用紙4枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
9	循環器疾患(3)「虚血性心疾患・心不全」 事前学修：[60分] 教科書第5章A、Bを参考に事前課題をA4用紙4枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] 演習課題実施メモを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	GW・演習	井上

No	内容	形式	教員
10	循環器疾患(4)「血圧異常・不整脈」 事前学修：[60分] 教科書第5章 C、D を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	井上
11	循環器疾患(5)「弁膜症・心膜炎・心筋疾患・先天性心疾患・動・静脈系疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章 E~K を参考に事前課題を A4 用紙 4 枚程度にまとめる。 事後学修：[30分] 演習課題実施メモを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	GW・演習	井上
12	腎疾患(1)「構造と機能・症状と病態生理・検査と治療」 事前学修：[60分] 教科書第2章、第3章、第4章を A4 用紙 4 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
13	腎疾患(2)「腎不全・ネフローゼ」 事前学修：[60分] 教科書第5章 A、B を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
14	腎疾患(3)「糸球体腎炎」 事前学修：[60分] 教科書第5章 C を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	石橋
15	腎疾患(4)まとめ 事前学修：[60分] 腎疾患(1)~(3)の要点を A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 演習課題実施メモを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義・GW・演習	石橋

■教科書

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学② 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧ 第15版、医学書院(2019改訂)

■参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 第5版、医学書院(2015改訂)
- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 第2版、医学書院(2016改訂)
- ・参考資料のプリントを配布する。

■フィードバックの仕方

試験の対策、結果の総評について、試験の前後 2~3 週間の間に、ポータルサイト、LMS(Glexa) 等で伝達する。

■他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

- ・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・ミニテスト・リフレクションペーパー・演習(20%)および定期試験(80%)を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 18:00~18:30 (井上研究室 409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論:運動器、脳・神経、感覚器)

単位: 2単位 必修/選択: 必修 履修年次: 1年次 開講期: 後期 対応 DP: 「1」成長 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員: - 科目ナンバー: HBHS153

○井上 明宏、河村 直洋、田中 滋之、伊藤 英也、井桁 之総、伊地 俊介、堀内 恵美子、舟木 俊成、物部 寛子、今門 純久、未定

■ 授業の目的

「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」では、解剖生理学等の知識を基にして、実際にどのような健康の異状や疾病が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解し、疾患からの回復のための検査、診断、治療や看護の概要を学ぶことを目的とする。

■ 到達目標

- ・ 正常な生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学のことばと概念で理解、説明できる(病態生理学)。
- ・ 基本的な病気の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学のことばで理解、説明できる(病理学)。
- ・ 運動器系、脳・神経系、眼、耳鼻咽喉、皮膚の個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■ 学習の進め方

- ・ 授業は講義形式を基本とするが、適宜、ミニテストを行う。
- ・ 授業は基本的に教科書の内容に沿って進める。
- ・ 授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまで補助的なものとして考える。
- ・ 必要に応じて LMS(Learning Management System・Glexa) を活用する。

■ スケジュール: 学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修: [90分] 各科の教科書第2章を A4 用紙 8 枚程度にまとめて解剖生理学の復習をする。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義・演習	井上
2	運動器疾患(1)「検査・治療」 「外傷性疾患①」 事前学修: [60分] 教科書第4章、第5章ⅠAを A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	伊藤
3	運動器疾患(2)「外傷性疾患②」 「非外傷性疾患①」 事前学修: [60分] 教科書第5章ⅠB、ⅡB、Ⅰ~Mを A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	伊藤
4	運動器疾患(3)「非外傷性疾患②」 事前学修: [60分] 教科書第5章ⅡAを A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	河村
5	運動器疾患(4)「非外傷性疾患③」 事前学修: [60分] 教科書第5章ⅡC~Fを A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	田中
6	運動器疾患(5)「非外傷性疾患④」 事前学修: [60分] 教科書第5章ⅡG、Hを A4 用紙 4 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	大谷
7	眼科疾患 事前学修: [60分] 教科書第3~5章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	舟木
8	耳鼻咽喉科疾患 事前学修: [60分] 教科書第3~5章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	物部
9	皮膚科疾患 事前学修: [60分] 教科書第3~5章を A4 用紙 6 枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修: [30分] リフレクションペーパーを当日授業時または LMS(Glexa)に提出する。	講義	今門

No	内容	形式	教員
10	脳・神経疾患(1)「構造と機能」 事前学修：[60分] 教科書第2章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁
11	脳・神経疾患(2)「症状・病態生理」「検査・治療」 事前学修：[60分] 教科書第3章をA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	井桁
12	脳・神経疾患(3)「脳疾患」 事前学修：[60分] 教科書第4章AをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	伊地
13	脳・神経疾患(4)「脊髄疾患」 事前学修：[30分] 教科書第5章AをA4用紙2枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	伊地
14	脳・神経疾患(5)「末梢神経障害」「神経・筋疾患」 事前学修：[60分] 教科書第5章B～DをA4用紙2枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	堀内
15	脳・神経疾患(6)「脱髄・変性疾患」「認知症」その他 事前学修：[60分] 教科書第5章E～JをA4用紙4枚程度にまとめて予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを当日授業時またはLMS(Glexa)に提出する。	講義	堀内

■教科書

- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学⑦ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学⑨ 第15版、医学書院(2019改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「皮膚」成人看護学⑫ 第15版、医学書院(2020改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「眼」成人看護学⑬ 第14版、医学書院(2020改訂)
- ・系統看護学講座・専門Ⅱ「耳鼻咽喉」成人看護学⑭ 第14版、医学書院(2020改訂)

■参考書、参考資料等

- ・系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 第6版、医学書院(2021改訂)
- ・系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 第2版、医学書院(2016改訂)
- ・参考資料のプリントを配布する。

■フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後2-3週間に、ポータルサイト、LMS(Glexa)等で伝達する。

■他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」、「栄養学」などと密接に関連している。また、「看護援助論実習」[レベルⅡ]の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

- ・講義の出席は試験受験資格確認のためとし、評価は主として記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・リフレクションペーパー(25%)および定期試験(75%)を総合して評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の18:00～18:30(井上研究室409)。非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受けます。

■受講上の注意事項

予定した回が休講になった場合は、原則として補講が設定される。

研究基礎 I

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 科目ナンバー：HBRE100

○川崎 洋平、川崎 修一、角田 敦彦、井上 明宏、遠藤 公久、遠藤 花子、鷹田 佳典、越後 敬子、伊藤 麻希、鈴木 勝己

■ 授業の目的

大学で学問を学ぶために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につける。

■ 到達目標

1. 人文・社会・自然科学の講義や他者の意見の内容を理解できる。
2. 論文を読んでその内容を理解し相手にわかる形でまとめる能力を身につける。
3. 自分の意見をその根拠も含めて相手にわかりやすく説明できる。
4. 適切なデータベースを利用して文献検索・収集ができる。
5. 論理的なレポートや論文の書き方を身につける。
6. 情報リテラシー能力を身につける。

■ 学習の進め方

「AL」

上記の到達目標が達成できるように、少人数(10 数名)のゼミにおいて個人やグループで課題に取り組む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己紹介を兼ねて「私はどのような大学生になりたいか。なぜそう考えるか。」等のテーマで自分の意見を発表する。授業終了前に 4 回目の討論テーマを決める。 事前学修：[15 分] 自己紹介の内容を考えて A4 用紙 1 枚にまとめ、発表準備をする 事後学修：[15 分] 授業の振り返り	発表	各担当教員
2	A グループ：Microsoft Word の基本操作と APA の学習 B1 グループ：情報探索の方法の理解と実践 (前半)文献検索の練習 (後半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。 B2 グループ：情報探索の方法の理解と実践 (前半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。 (後半)文献検索の練習 事前学修：[15 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、討論	各担当教員
3	A1 グループ：情報探索の方法の理解と実践 (前半)文献検索の練習 (後半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。 A2 グループ：情報探索の方法の理解と実践 (前半)図書館の図書・雑誌・辞典類・AV 資料の配置を覚える。 (後半)文献検索の練習 B グループ：Microsoft Word の基本操作と APA の学習 事前学修：[30 分] 関連するテキストの部分を読み、注意点をノートにメモしておく。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、討論	各担当教員
4	討論テーマの決定と討論準備 事前学修：[30 分] 討論テーマについて、自身の考えをまとめノートに記す。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員
5	第 4 回で決めたテーマについて討論 事前学修：[30 分] 事前に提示された指定図書を読み発表資料を A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	発表、討論	各担当教員
6	研究論文(量的研究)の読解と討論(1 回目) 事前学修：[60 分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(A1・A2)。テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(B1・B2)。 事後学修：[15 分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論(遠隔)	各担当教員

No	内容	形式	教員
7	指定図書を読み自分の意見を発表し討論する 事前学修：[60分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(A1・A2)。指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(B1・B2)。 事後学修：[15分] 授業内容の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
8	研究論文(質的研究)の読解、討論(2回目) 事前学修：[60分] 指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(A1・A2)。テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(B1・B2)。 事後学修：[15分] 授業の振り返り	演習、発表、討論	各担当教員
9	APA方式の復習 事前学修：[60分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく(A1・A2)。指定の研究論文を読み自分の意見をまとめる(B1・B2)。 事後学修：[15分] 授業内容の振り返り	演習(遠隔)	各担当教員
10	レポート作成要領の説明と個別指導 事前学修：[15分] テキストの該当部分を読み疑問点などをまとめておく。レポートのテーマを考えノートに記す。 事後学修：[15分] 授業内容の振り返り	演習	各担当教員
11	レポート作成のための個別指導： ・テーマの設定、必要な資料や情報の検索など 事前学修：[30分] レポートのテーマに関して必要な資料や情報を整理しノートに記す。 事後学修：[15分] 個別指導の内容を踏まえ、不足している資料の収集を行う。	演習(遠隔)	各担当教員
12	レポート作成のための個別指導： ・設定したテーマに従って必要な資料(文献やデータ等)を収集し、検討するなど。 事前学修：[30分] レポートテーマについて、文献検索を進める。 事後学修：[15分] 検索した資料を整理し、不足している資料があればさらに検索する。	演習	各担当教員
13	レポート中間発表会(前半) ・適切な形でのアウトプットを行う 事前学修：[30分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	演習	各担当教員
14	レポート中間発表会(後半) ・適切な形でのアウトプットを行う 事前学修：[60分] レポート中間発表の準備(レジュメやスライドの作成)をする。 事後学修：[15分] 他者の発表を聞き、自分の発表内容の課題を明確にする。	発表	各担当教員
15	論理的なレポート作成のための個別指導： ・最終レポート作成に向け、論文に適した表現などについて担当教員の指導を受ける。 事前学修：[30分] レポートテーマについて、文献検索を進め、執筆を進める。 事後学修：[15分] 作成中のレポートを再検討し、論理的な表現など指導された内容を確認する。	演習	各担当教員

■ 教科書

なし(プリントを配布します)。

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートは担当教員のコメントを付して、Glexaを使って返却します。

■ 他の授業科目との関連

この科目の発展的応用的科目として2年次前期に「研究基礎Ⅱ」があります。

■ 成績評価の仕方

授業スケジュールの1～10の課題を達成した合計が50点、レポート評価が50点(レポート中間発表会でのプレゼンテーション評価10点を含む)。

■ オフィスアワー・研究室等

時間：専任教員は授業開講日の12:30～13:00。非常勤講師は授業終了後。

場所：遠藤(花)(401研究室)、川崎(修)(402研究室)、遠藤(公)(404研究室)、川崎(洋)(407研究室)、井上(409研究室)、角田(410研究室)、鷹田(404研究室)、非常勤講師(各教室または講師が指定する方法)。

■ 受講上の注意事項

* 指定された担当教員のゼミを履修する。

看護学概論 I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBIN100

○川原 由佳里

■ 授業の目的

ケアの原理を中心として看護とは何かを探究し、これ以後に展開される看護学全体の学びへの動機づけを図る。

■ 到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念(健康、環境、人間、看護)を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 「看護学概論 I」に入り、フォルダを開きます。
3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
4. 教科書の関連部分を読みます。
5. 提示された課題(クイズへの回答やボード、Teams、レポートの提出)に取り組みます。
6. 教員は、課題提出を確認し、1週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護とは：看護の歴史 事前学修：[30分] 教科書の pp.2-7、pp.14-16 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] ナイチンゲールの業績に関するレポート作成	対面・遠隔	川原
2	専門職としての看護 事前学修：[30分] 教科書の pp.16-17、pp.38-39、pp.138-150 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] 日本の看護の専門職化とかかわりのある職能団体、学協会、制度の調べ学習	対面・遠隔	川原
3	人々の健康と生活 看護職の養成と就業状況、保健医療福祉システムと多職種連携 事前学修：[30分] 教科書の pp.59-61、pp.115-136、pp.158-162、pp.225-246 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
4	看護の定義、看護とその主要概念(健康・環境・人間・看護)、看護理論、ケアリング 事前学修：[30分] 教科書の pp.20-46、pp.78-100、pp.108-115 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
5	看護の法的基盤：医療倫理と看護倫理 事前学修：[30分] 教科書の pp.150-154、pp.186-217 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
6	課題学習 看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する① 事前学修：[30分] グループで課題に取り組み、A4用紙4枚で発表資料を作成する。 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
7	課題学習 看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する② 事前学修：[30分] グループで課題に取り組み、A4用紙4枚で発表資料を作成する。 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
8	課題学習 看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する③ 事前学修：[30分] グループで課題に取り組み、A4用紙4枚で発表資料を作成する。 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原

■ 教科書

看護学概論 基礎看護学① 医学書院

■ 参考書、参考資料等

授業開始 1 日前までに Glexa 上にて動画の PPT を配布、参考資料を提示する

■ フィードバックの仕方

提出物のフィードバックは 1 週間以内に Glexa 上で行う。

試験問題の解説に関する資料を試験後に掲示する。

■ 他の授業科目との関連

レベル I 実習の履修要件になっています。1 年時以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論などこれから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

■ 成績評価の仕方

授業中の課題 20 %と定期試験 80 %で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業日の 12 時 20 分～12 時 50 分 447 研究室にて

■ 受講上の注意事項

特になし

看護学概論 I

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」関係 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBIN100

○川原 由佳里

■ 授業の目的

ケアの原理を中心として看護とは何かを探求し、これ以後に展開される看護学全体の学びへの動機づけを図る。

■ 到達目標

1. ケアの原理を理解できる。
2. 看護の歴史の基礎を理解できる。
3. 看護学の重要概念(健康、環境、人間、看護)を説明できる。
4. 看護の提供システムに関する基礎知識を理解できる。
5. 看護の法と倫理に関する基礎知識を理解できる。
6. 看護とは何かに関する自己の考えを表現することができる。

■ 学習の進め方

1. Glexa にアクセスします。
2. 「看護学概論 I」に入り、フォルダを開きます。
3. パワーポイント資料や動画を視聴します。
4. 教科書の関連部分を読みます。
5. 提示された課題(クイズへの回答やボード、Teams、レポートの提出)に取り組みます。
6. 教員は、課題提出を確認し、1週間以内に Glexa 上でコメントを返したり、クイズの解答解説などのフィードバックを行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護とは：看護の歴史 事前学修：[30分] 教科書の pp.2-7、pp.14-16 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] ナイチンゲールの業績に関するレポート作成	対面・遠隔	川原
2	専門職としての看護 事前学修：[30分] 教科書の pp.16-17、pp.38-39、pp.138-150 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] 日本の看護の専門職化とかかわりのある職能団体、学協会、制度の調べ学習	対面・遠隔	川原
3	人々の健康と生活 看護職の養成と就業状況、保健医療福祉システムと多職種連携 事前学修：[30分] 教科書の pp.59-61、pp.115-136、pp.158-162、pp.225-246 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
4	看護の定義、看護とその主要概念(健康・環境・人間・看護)、看護理論、ケアリング 事前学修：[30分] 教科書の pp.20-46、pp.78-100、pp.108-115 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
5	看護の法的基盤：医療倫理と看護倫理 事前学修：[30分] 教科書の pp.150-154、pp.186-217 を読み、空欄を補充 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔	川原
6	課題学習 看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する① 事前学修：[30分] グループで課題に取り組み、A4用紙4枚で発表資料を作成する。 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
7	課題学習 看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する② 事前学修：[30分] グループで課題に取り組み、A4用紙4枚で発表資料を作成する。 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原
8	課題学習 看護に関する資料を読んで理解し、議論を深め、自分たちの意見を発表する③ 事前学修：[30分] グループで課題に取り組み、A4用紙4枚で発表資料を作成する。 事後学修：[30分] グループワークについてリフレクションする	対面・遠隔 グループワーク・発表	川原

■ 教科書

看護学概論 基礎看護学① 医学書院

■ 参考書、参考資料等

授業開始 1 日前までに Glexa 上にて動画の PPT を配布、参考資料を提示する

■ フィードバックの仕方

提出物のフィードバックは 1 週間以内に Glexa 上で行う。

試験問題の解説に関する資料を試験後に掲示する。

■ 他の授業科目との関連

レベル I 実習の履修要件になっています。1 年時以降に開講される看護技術論あるいは看護援助論などこれから学ぶ看護学専門科目の基礎的な学習となる。

■ 成績評価の仕方

授業中の課題 20 %と定期試験 80 %で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業日の 12 時 20 分～12 時 50 分 447 研究室にて

■ 受講上の注意事項

特になし

看護技術論 I (援助的人間関係)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN100

○堀川 英起、堀井 湖浪、武井 麻子、田代 祐子、林田 聖子、内藤 なづな

■ 授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起きている(いた)のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

■ 学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせで行います。演習の主な内容は、グループワークです。
学生を全 12 グループに分け、12 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。その他の演習として、リラクゼーションやタッチング、ビデオ鑑賞に基づく話し合いなどを予定しています。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	援助的人間関係の基本的な考え方／大学で学ぶということ 事前学修：[10 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 講義および演習の進め方について資料を読んで理解する。	講義	古城門・堀川
2	感覚や感情を用いる 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる 事後学修：[30 分] 自分が体験した印象的な場面を想起し、指定の用紙にまとめる。	講義	古城門・堀川
3	コミュニケーションの基礎 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[1 時間分] 自らのコミュニケーションについて振り返って、指定の用紙にまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
4	映画観賞とグループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
5	映画観賞とグループワーク② 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
6	構成的グループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
7	構成的グループワーク② 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
8	小グループに分かれてのグループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤
9	小グループに分かれてのグループワーク② 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤
10	小グループに分かれてのグループワーク③ 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤

No	内容	形式	教員
11	小グループに分かれてのグループワーク④ 事前学修：[15分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤
12	グループワークのまとめ 事前学修：[15分] グループワーク演習での体験を読み返して要点をノートにまとめる。 事後学修：[1時間分] 小グループワークでの体験について要点をノートにまとめる。	講義	古城門・堀川
13	自己理解を深める－性格の様々なタイプ－ 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
14	援助的人間関係の基礎－自己一致－ 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
15	レポートを書く 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	演習	古城門・堀川

■ 教科書

武井麻子ほか著：系統看護学講座精神看護学 [1] 精神看護の基礎(医学書院)，最新版。
適宜、プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子(2002).『グループ』という方法，医学書院。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、後期ガイダンス期間中に、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。返却可能な時間や教室はポータルで連絡します。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習 [レベル I] を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

■ 成績評価の仕方

1. 演習への取り組み 55 % 2. レポート 45 % : レポートは演習に参加しての感想文(15%)と最終レポート(30%)で評価。

■ オフィスアワー・研究室等

授業日の 12:30~12:50、412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)で質問や相談に応じます。

■ 受講上の注意事項

演習は、何よりも参加が基本です。欠席をしないようにして下さい。
講義形式および、内容は変更する可能性があります。

看護技術論 I (援助的人間関係)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」関係 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN100

○古城門 靖子、渋谷 真樹、鷹野 朋美、佐々木 幾美、富澤 真紀、池田 良輔子

■ 授業の目的

看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助を提供する道具としての自分の対人関係におけるくせや、陥りやすい感じ方、考え方について気づくことができる。
2. 他者とかかわるということを体験する。
3. 自分と他者の間で、何が起きている(いた)のかを感じ、考えることができる。
4. 自分の体験を通して、援助とは何かについて考えることができる。

■ 学習の進め方

「AL」講義と演習とを組み合わせで行います。演習の主な内容は、グループワークです。
学生を全 12 グループに分け、12 の教員がそれぞれのグループを担当します。グループの進め方としては、特にテーマを設定せず、その場で話したいことを自由に話し合い、その体験を通して自己理解を深め、他者とかかわることを学びます。これを全 4 回行います。その他の演習として、リラクゼーションやタッチング、ビデオ鑑賞に基づく話し合いなどを予定しています。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	援助的人間関係の基本的な考え方／大学で学ぶということ 事前学修：[10 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[30 分] 講義および演習の進め方について資料を読んで理解する。	講義	古城門・堀川
2	感覚や感情を用いる 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる 事後学修：[30 分] 自分が体験した印象的な場面を想起し、指定の用紙にまとめる。	講義	古城門・堀川
3	コミュニケーションの基礎 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[1 時間分] 自らのコミュニケーションについて振り返って、指定の用紙にまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
4	映画観賞とグループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
5	映画観賞とグループワーク② 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
6	構成的グループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
7	構成的グループワーク② 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	古城門・堀川・鷹野・堀井・内藤
8	小グループに分かれてのグループワーク① 事前学修：[15 分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤
9	小グループに分かれてのグループワーク② 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤
10	小グループに分かれてのグループワーク③ 事前学修：[15 分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30 分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤

No	内容	形式	教員
11	小グループに分かれてのグループワーク④ 事前学修：[15分] 前回の演習での体験についての記入内容を読んでおく。 事後学修：[30分] 演習での体験を事前配布資料の記入欄にまとめる。	演習	堀川・堀井・佐々木・田代・内藤
12	グループワークのまとめ 事前学修：[15分] グループワーク演習での体験を読み返して要点をノートにまとめる。 事後学修：[1時間分] 小グループワークでの体験について要点をノートにまとめる。	講義	古城門・堀川
13	自己理解を深める－性格の様々なタイプ－ 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
14	援助的人間関係の基礎－自己一致－ 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	講義	古城門・堀川
15	レポートを書く 事前学修：[15分] 事前配布資料の該当部分を読んでノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義内容について資料を読み返す。	演習	古城門・堀川

■教科書

武井麻子ほか著：系統看護学講座精神看護学 [1] 精神看護の基礎(医学書院)，最新版。
適宜、プリントを配布します。

■参考書、参考資料等

武井麻子(2002).『グループ』という方法，医学書院。

■フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、後期ガイダンス期間中に、コメントを付したレポートの返却を通じて行います。返却可能な時間や教室はポータルで連絡します。

■他の授業科目との関連

看護援助論実習 [レベル I] を履修するにあたって、本授業科目の修了試験受験資格を有していることが履修要件となります。また、看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)の基礎となる科目です。

■成績評価の仕方

1. 演習への取り組み 55 % 2. レポート 45 % : レポートは演習に参加しての感想文(15%)と最終レポート(30%)で評価。

■オフィスアワー・研究室等

授業日の 12:30~12:50、412 研究室(古城門靖子)あるいは 426 研究室(堀川英起)で質問や相談に応じます。

■受講上の注意事項

演習は、何よりも参加が基本です。欠席をしないようにして下さい。
講義形式および、内容は変更する可能性があります。

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN150

○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■ 授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法およびプロセスを学習する。

■ 到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の“からだ”の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は DVD 視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことを積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：リフレクションペーパーを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	概論と基本技術 一般状態・生命の徴候 1：体温・呼吸・意識 事前学修：[30分] 提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
2	面接技法と基本技術 一般状態・生命の徴候 1：体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	生命の徴候 2：脈拍・血圧 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
4	脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	身体を動かすこと 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	細野/樋口
6	身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	総合演習①健康問題とフィジカルアセスメント 事前学修：[30分] 提示された総合演習①の事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 提示された総合演習①の事後課題に取り組む	演習	樋口/全員

No	内容	形式	教員
8	総合演習①健康問題とフィジカルアセスメント 事前学修：[30分] 提示された総合演習①の事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 提示された総合演習①の事後課題に取り組む	演習	樋口/全員
9	食べること・栄養を取り込むこと 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
10	食べること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	排泄すること・セクシュアリティ 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口
12	排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	技術チェック 事前学修：[30分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・ 振り返り	全員
14	技術チェック 事前学修：[30分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・ 振り返り	全員
15	実践にむけてのまとめ 事前学修：[30分] 全体振り返りシートに取り組む 事後学修：[60分] 技術を洗練させるために反復練習を行う	講義	樋口

■教科書

1. 守田美奈子監修(2021). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス(初版第2刷). インターメディカ.

■参考書、参考資料等

1. 藤崎郁(2017). フィジカルアセスメント完全ガイド第3版. 学習研究社.
2. Steve parker(2009). みえる人体ー構造・機能・病態. 南江堂.
3. 医療情報科学研究所(2019). 看護がみえる Vol.3. フィジカルアセスメント. メディックメディア.

*資料は適宜配布します

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します。
2. 事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントし次回授業時に全体で共有します。
3. 技術チェックの結果は終了後の授業内に返却し個別指導につなげます。
4. 筆記試験の結果はこの科目のシリーズであるフィジカルアセスメント②の初回授業で振り返りを行います。

■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習 [レベルⅠ] の履修要件となっています。
2. 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

■成績評価の仕方

事前事後課題・総合演習①の取り組み 20% 技術チェックへの取り組み 30% 筆記試験 50%

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の12:10~12:40(場所：第2実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定します(技術の練習や質問など自由に行うことができます)。具体的な日程は1回目の授業時間内に提示します。

研究室：広尾キャンパス 樋口(411研究室)細野(437研究室)鬼頭(438研究室)吉良(439研究室)遠山(453研究室)

■受講上の注意事項

- ◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います。
- ◆30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN150

○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■ 授業の目的

日常生活行動と心身のメカニズムとの関連を理解したうえで、対象者の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントの考え方、方法およびプロセスを学習する。

■ 到達目標

この科目の目標は、人々を擁護し援助するための実践的な方法を学ぶこと、およびそのプロセス全体を通して関係を築きながら人々への理解を深める方法を学ぶことである。それを通して、自らの身体感覚を活用しながら人間の“からだ”の在りようを探求する手掛かりを得る。具体的には以下の通りである。

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面はDVD視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことを積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：リフレクションペーパーを記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	概論と基本技術 一般状態・生命の徴候1：体温・呼吸・意識 事前学修：[30分] 提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
2	面接技法と基本技術 一般状態・生命の徴候1：体温・呼吸・意識に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	生命の徴候2：脈拍・血圧 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	樋口
4	脈拍・血圧に関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	身体を動かすこと 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	細野/樋口
6	身体を動かすことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	総合演習①健康問題とフィジカルアセスメント 事前学修：[30分] 提示された総合演習①の事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 提示された総合演習①の事後課題に取り組む	演習	樋口/全員

No	内容	形式	教員
8	総合演習①健康問題とフィジカルアセスメント 事前学修：[30分] 提示された総合演習①の事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 提示された総合演習①の事後課題に取り組む	演習	樋口/全員
9	食べること・栄養を取り込むこと 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	遠山/樋口
10	食べること・栄養を取り込むことに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	排泄すること・セクシュアリティ 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」の課題に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」の課題に取り組む	講義	鬼頭/樋口
12	排泄すること・セクシュアリティに関連したフィジカルイグザム 事前学修：[30分] 該当箇所の動画に目を通し課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	技術チェック 事前学修：[30分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・ 振り返り	全員
14	技術チェック 事前学修：[30分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う 事後学修：[60分] 技術オフィスアワーを利用して技術の反復練習を行う	技術チェック・ 振り返り	全員
15	実践にむけてのまとめ 事前学修：[30分] 全体振り返りシートに取り組む 事後学修：[60分] 技術を洗練させるために反復練習を行う	講義	樋口

■教科書

1. 守田美奈子監修(2021). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス(初版第2刷). インターメディカ.

■参考書、参考資料等

1. 藤崎郁(2017). フィジカルアセスメント完全ガイド第3版. 学習研究社.
2. Steve parker(2009). みえる人体ー構造・機能・病態. 南江堂.
3. 医療情報科学研究所(2019). 看護がみえる Vol.3. フィジカルアセスメント. メディックメディア.

*資料は適宜配布します

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します。
2. 事後課題は提出された課題用紙に必要時コメントし次回授業時に全体で共有します。
3. 技術チェックの結果は終了後の授業内に返却し個別指導につなげます。
4. 筆記試験の結果はこの科目のシリーズであるフィジカルアセスメント②の初回授業で振り返りを行います。

■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習 [レベルⅠ] の履修要件となっています。
2. 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学びます。

■成績評価の仕方

事前事後課題・総合演習①の取り組み 20% 技術チェックへの取り組み 30% 筆記試験 50%

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の12:10~12:40(場所：第2実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定します(技術の練習や質問など自由に行うことができます)。具体的な日程は1回目の授業時間内に提示します。

研究室：広尾キャンパス 樋口(411研究室)細野(437研究室)鬼頭(438研究室)吉良(439研究室)遠山(453研究室)

■受講上の注意事項

- ◆基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行います。
- ◆30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN101

○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：リフレクションペーパーを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。知識の定着を図るため、授業後提示される事後課題(振り返りチャレンジ)に取り組む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護技術概論 事前学修：[30分] 事前に提示された「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	樋口
2	感染予防に関する援助技術① 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	遠山/樋口
3	感染予防に関する援助技術①<技術演習：手洗い、ガウンテクニック> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	環境調整に関する援助技術 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	樋口
5	環境調整に関する援助技術<技術演習：環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術① 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	遠山/樋口
7	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①<技術演習：体位変換> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	活動・運動に関する援助技術② 事前学修：[30分] 「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分] 「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	鬼頭/樋口
9	活動・運動に関する援助技術②<技術演習：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
10	食事・口腔ケアに関する援助技術 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉田里奈/樋口
11	食事・口腔ケアに関する援助技術<技術演習：食事介助・口腔ケア> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	排泄に関する援助技術① 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉良/樋口
13	排泄に関する援助技術①<技術演習：一般的な排泄の援助> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	前期技術総合演習(技術チェック) 事前学修：[30分] 該当箇所の動画で復習する。 事後学修：[30分] 事後課題(知識の振り返り)に取り組む。	演習	樋口・全員
15	前期技術総合演習(技術チェック) 事前学修：[30分] 該当箇所の動画で復習する。 事後学修：[60分] 事後課題(知識の振り返り)に取り組む。	演習	樋口・全員

■教科書

1. 吉田みづ子・本庄恵子監修(2021). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス(初版第2刷). インターメディカ.
2. 松尾ミヨ子他編(2021). 基礎看護技術II: 看護実践のための援助技術(ナースング・グラフィカ 基礎看護学3). 最新版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

1. 川嶋みどり監修(2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

*資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します。
2. 事後課題やリフレクションペーパーに記載された内容は、次回授業時に振り返りを行い共有します。
3. 実技チェックのフィードバックは、終了時にチェック者が行い個別の技術力向上につなげます。
4. 筆記試験のフィードバックは、関連する後期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)の第1回目の授業で、問題用紙の返却と解説を通じて行います。

■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件になっています。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学びます。

■成績評価の仕方

事前事後課題への取り組み 20% 技術チェックへの取り組み 30% 筆記試験 50%

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の12：10～12：40(第2実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設けます(技術の練習や質問など自由に行うことができます)。具体的な日程は1回目の授業時間内に提示します。

研究室：樋口(411)、吉良(439)、鬼頭・吉田里奈(438)、遠山(453)

■受講上の注意事項

- ◆基本的にすべて実習ユニフォームと実習靴で行います。
- ◆30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN101

○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：リフレクションペーパーを記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。知識の定着を図るため、授業後提示される事後課題(振り返りチャレンジ)に取り組む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護技術概論 事前学修：[30分] 事前に提示された「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	樋口
2	感染予防に関する援助技術① 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義	遠山/樋口
3	感染予防に関する援助技術①<技術演習：手洗い、ガウンテクニック> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
4	環境調整に関する援助技術 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	樋口
5	環境調整に関する援助技術<技術演習：環境整備、ベッドメイキング、シーツ交換> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
6	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術① 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	遠山/樋口
7	休息を促す援助技術、活動・運動に関する援助技術①<技術演習：体位変換> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
8	活動・運動に関する援助技術② 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	鬼頭/樋口
9	活動・運動に関する援助技術②<技術演習：車椅子・ストレッチャーへの移乗と移送> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
10	食事・口腔ケアに関する援助技術 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉田里奈/樋口
11	食事・口腔ケアに関する援助技術<技術演習：食事介助・口腔ケア> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
12	排泄に関する援助技術① 事前学修：[30分]「先読みチャレンジ」に取り組む 事後学修：[30分]「振り返りチャレンジ」に取り組む	講義および演習	吉良/樋口
13	排泄に関する援助技術①<技術演習：一般的な排泄の援助> 事前学修：[30分] 該当箇所のテキストを読み、動画を視聴する。 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組む ②技術の反復練習を行う	演習	全員
14	前期技術総合演習(技術チェック) 事前学修：[30分] 該当箇所の動画で復習する。 事後学修：[30分] 事後課題(知識の振り返り)に取り組む。	演習	樋口・全員
15	前期技術総合演習(技術チェック) 事前学修：[30分] 該当箇所の動画で復習する。 事後学修：[60分] 事後課題(知識の振り返り)に取り組む。	演習	樋口・全員

■教科書

1. 吉田みづ子・本庄恵子監修(2021). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス(初版第2刷). インターメディカ.
2. 松尾ミヨ子他編(2021). 基礎看護技術II: 看護実践のための援助技術(ナースング・グラフィカ 基礎看護学3). 最新版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

1. 川嶋みどり監修(2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

*資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用します。
2. 事後課題やリフレクションペーパーに記載された内容は、次回授業時に振り返りを行い共有します。
3. 実技チェックのフィードバックは、終了時にチェック者が行い個別の技術力向上につなげます。
4. 筆記試験のフィードバックは、関連する後期科目看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)の第1回目の授業で、問題用紙の返却と解説を通じて行います。

■他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件になっています。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学びます。

■成績評価の仕方

事前事後課題への取り組み 20% 技術チェックへの取り組み 30% 筆記試験 50%

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の12:10~12:40(第2実習室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設けます(技術の練習や質問など自由に行うことができます)。具体的な日程は1回目の授業時間内に提示します。

研究室：樋口(411)、吉良(439)、鬼頭・吉田里奈(438)、遠山(453)

■受講上の注意事項

- ◆基本的にすべて実習ユニフォームと実習靴で行います。
- ◆30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN151

○細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 みつ子、吉田 里奈

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 相手のニーズを汲み取った看護技術について、根拠に基づいて考えることができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心に振り返りを行う。
2. 講義：看護技術を実践するために必要な知識を学ぶ。講義では、状況設定やデモンストレーションなどにより、看護技術の実施に必要なアセスメントの視点を育成する。
3. 演習：グループ内でのロールプレイを通じて看護技術を実践する。グループ内のディスカッションを交え、実践の体験及び思考過程を共有する。
4. 振り返り：事後課題の取り組みにより、授業内で体験的に学んだことを言語化して整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔の援助 概論 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
2	清潔の援助<全身清拭> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	鬼頭/細野
3	清潔の援助<全身清拭> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
4	清潔の援助<陰部洗浄・電法> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	吉良・吉田里奈 /細野
5	清潔の援助<陰部洗浄・電法> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
6	清潔の援助<部分浴(洗髪・手足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	遠山/細野
7	清潔の援助<部分浴(洗髪・手足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
8	感染予防に関する援助<滅菌・消毒・無菌操作> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	吉田里奈/細野
9	清潔の援助<寝衣交換> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	講義および演習	細野

No	内容	形式	教員
10	清潔の援助<寝衣交換> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	演習	全員
11	排泄に関する援助<導尿> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	講義および演習	吉良／細野
12	感染予防に関する援助<滅菌・消毒・無菌操作> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	演習	全員
13	排泄に関する援助<導尿> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
14	技術総合演習(<ヒヤリ・ハット>を含む) 事前学修：[30分] 事前課題とグループワークの準備に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	細野・樋口
15	技術総合演習(<ヒヤリ・ハット>を含む) 事前学修：[30分] グループワークの準備をする 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員

■教科書

1. 吉田みづ子・本庄恵子監修(2021). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス(初版第2刷). インターメディカ.(最新版)
2. 松尾ミヨ子他編(2022). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ. 最新版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 川嶋みどり監修. 医学書院. 2007

*資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は、授業中にその内容を取り上げ、活用することによってフィードバックする。
2. 提出された事後課題は、必要時コメントを記載して返却する。
3. リフレクションコメントを活用して次回授業時に振り返りを行う。
4. 筆記試験のフィードバックは、解説資料の配付を通じて行う。

■他の授業科目との関連

1. 本科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件である。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

■成績評価の仕方

事前課題・事後課題の取り組みと提出 30% 総合演習の取り組みと記録提出 20% 筆記試験 50%、合計 100%で評価する。

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の12：10～12：40(第2実習室あるいは担当教員の研究室)

*研究室：細野(437)・樋口(411)・吉良(439)・鬼頭／吉田里奈(438)・遠山(453)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。日程は別途提示する。

■受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォーム・ナースシューズで行う。

30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBFN151

○細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 みつ子、吉田 里奈

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら学ぶことができる。
3. 相手のニーズを汲み取った看護技術について、根拠に基づいて考えることができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学習あるいは前回の講義での質問などを中心に振り返りを行う。
2. 講義：看護技術を実践するために必要な知識を学ぶ。講義では、状況設定やデモンストレーションなどにより、看護技術の実施に必要なアセスメントの視点を育成する。
3. 演習：グループ内でのロールプレイを通じて看護技術を実践する。グループ内のディスカッションを交え、実践の体験及び思考過程を共有する。
4. 振り返り：事後課題の取り組みにより、授業内で体験的に学んだことを言語化して整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔の援助 概論 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 事後課題に取り組む	講義	細野
2	清潔の援助<全身清拭> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	鬼頭/細野
3	清潔の援助<全身清拭> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
4	清潔の援助<陰部洗浄・電法> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	吉良・吉田里奈 /細野
5	清潔の援助<陰部洗浄・電法> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
6	清潔の援助<部分浴(洗髪・手足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	遠山/細野
7	清潔の援助<部分浴(洗髪・手足浴・爪切り)> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
8	感染予防に関する援助<滅菌・消毒・無菌操作> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	吉田里奈/細野
9	清潔の援助<寝衣交換> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	講義および演習	細野

No	内容	形式	教員
10	清潔の援助<寝衣交換> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	演習	全員
11	排泄に関する援助<導尿> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	講義および演習	吉良／細野
12	感染予防に関する援助<滅菌・消毒・無菌操作> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	演習	全員
13	排泄に関する援助<導尿> 事前学修：[30分] 事前課題に取り組む 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員
14	技術総合演習(<ヒヤリ・ハット>を含む) 事前学修：[30分] 事前課題とグループワークの準備に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録に取り組む	講義および演習	細野・樋口
15	技術総合演習(<ヒヤリ・ハット>を含む) 事前学修：[30分] グループワークの準備をする 事後学修：[60分] 事後課題に取り組む	演習	全員

■教科書

1. 吉田みづ子・本庄恵子監修(2021). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス(初版第2刷). インターメディカ.(最新版)
2. 松尾ミヨ子他編(2022). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ. 最新版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

1. 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 川嶋みどり監修. 医学書院. 2007

*資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

1. 事前課題は、授業中にその内容を取り上げ、活用することによってフィードバックする。
2. 提出された事後課題は、必要時コメントを記載して返却する。
3. リフレクションコメントを活用して次回授業時に振り返りを行う。
4. 筆記試験のフィードバックは、解説資料の配付を通じて行う。

■他の授業科目との関連

1. 本科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件である。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

■成績評価の仕方

事前課題・事後課題の取り組みと提出 30% 総合演習の取り組みと記録提出 20% 筆記試験 50%、合計 100%で評価する。

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の12：10～12：40(第2実習室あるいは担当教員の研究室)

*研究室：細野(437)・樋口(411)・吉良(439)・鬼頭／吉田里奈(438)・遠山(453)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。日程は別途提示する。

■受講上の注意事項

基本的にすべて実習ユニフォーム・ナースシューズで行う。

30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。

看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN100

○清田 明美

■ 授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

■ 到達目標

1. 様々な年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
2. 清潔が脅かされるとき生活への影響を説明できる。
3. 感染症の特徴とその対応を説明できる。
4. 感染症が人々の生活や社会に与える影響について説明できる。
5. 感染防御の必要性及びその方法について説明できる。

■ 学習の進め方

講義の中で行うディスカッションを通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
ディスカッションでは、多くの学生と意見を共有し考えの多様性についても学んでいく。
学習内容を復習した上で講義に臨む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔とは？ 事前学修：[60分] 高校の生物基礎の復習(生物の体内環境について)をし、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	[講義] [ディスカッション]	清田
2	清潔である状態になるために 事前学修：[60分] 講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
3	感染防御のしくみと感染 事前学修：[60分] 高校の生物基礎(免疫について)の復習をし、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	[講義]	清田
4	感染と感染症 事前学修：[60分] 講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
5	感染症の予防 事前学修：[60分] 看護学実習における感染予防対策 p1-9を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	[講義] [ディスカッション]	清田
6	感染症とその対応 事前学修：[60分] 看護学実習における感染予防対策 p10-11を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
7	感染症のある人への看護 事前学修：[90分] 講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：[30分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
8	まとめ 事前学修：[60分] 第1回から7回までの資料と教科書等を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：[15分] 講義全体を通して理解が不十分であった内容について明確にする。	[振り返り] [その他]	清田

■ 教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

志自岐康子他編 ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版 2017 メディカ出版
看護学実習における感染予防対策 日本赤十字看護大学
その他、随時授業で資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、1 年前期から開始される「人体の構造と機能Ⅱ・Ⅲ」「看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)」に関連し、また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1 年生後期に行われる看護援助論実習 [レベルⅠ] の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

筆記試験：70%

講義内での課題、事前課題：30%

計 100%

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：授業開講日翌週月曜日の 12:20～12:50 清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：HBCN100

○清田 明美

■ 授業の目的

人の感染防御・清潔の仕組みと働き及びそれらが脅かされる状況について理解し、感染防御と清潔が維持されるための援助を考える基礎的知識を養う。

■ 到達目標

1. 様々な年齢や異なる状況において清潔とは何かを説明できる。
2. 清潔が脅かされるとき生活への影響を説明できる。
3. 感染症の特徴とその対応を説明できる。
4. 感染症が人々の生活や社会に与える影響について説明できる。
5. 感染防御の必要性及びその方法について説明できる。

■ 学習の進め方

講義の中で行うディスカッションを通して学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
ディスカッションでは、多くの学生と意見を共有し考えの多様性についても学んでいく。
学習内容を復習した上で講義に臨む。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	清潔とは？ 事前学修：[60分] 高校の生物基礎の復習(生物の体内環境について)をし、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	[講義] [ディスカッション]	清田
2	清潔である状態になるために 事前学修：[60分] 講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
3	感染防御のしくみと感染 事前学修：[60分] 高校の生物基礎(免疫について)の復習をし、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	[講義]	清田
4	感染と感染症 事前学修：[60分] 講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
5	感染症の予防 事前学修：[60分] 看護学実習における感染予防対策 p1-9を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。	[講義] [ディスカッション]	清田
6	感染症とその対応 事前学修：[60分] 看護学実習における感染予防対策 p10-11を読み、ノートにまとめる。 事後学修：[60分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
7	感染症のある人への看護 事前学修：[90分] 講義で提示する課題学習を行う。 事後学修：[30分] 講義で配布する資料を読み返す。Glexaでのクイズを解く。	[講義] [ディスカッション]	清田
8	まとめ 事前学修：[60分] 第1回から7回までの資料と教科書等を読み返し、ノートにまとめる。 事後学修：[15分] 講義全体を通して理解が不十分であった内容について明確にする。	[振り返り] [その他]	清田

■ 教科書

特に指定しない。授業中に資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

志自岐康子他編 ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版 2017 メディカ出版
看護学実習における感染予防対策 日本赤十字看護大学
その他、随時授業で資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了直後に解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、1年前期から開始される「人体の構造と機能Ⅱ・Ⅲ」「看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)」に関連し、また全学年を通しての実習に臨むための基礎知識となる。なお、1年生後期に行われる看護援助論実習〔レベルⅠ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

筆記試験：70%

講義内での課題、事前課題：30%

計 100%

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：授業開講日翌週月曜日の 12:20～12:50 清田研究室 431 研究室あるいは Glexa 内で行う。

地域看護学

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」連携 「2」実践 「3」関係 実務
経験がある教員：－ 科目ナンバー：HBCH150

○石田 千絵、吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太一

■ 授業の目的

地域で生活する人びとの健康や QOL の向上をめざした地域看護における活動の場と看護職の役割を理解する。

■ 到達目標

1. 地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2. 看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
3. 国内の社会情勢に応じた看護ニーズの変化と対応を理解できる。
4. 諸外国の社会情勢と看護活動を理解し、考察することができる。

■ 学習の進め方

講義・演習・グループワークを通して、地域看護活動について理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	健康とは 社会の変化と健康課題 事前学修：[15分] 教科書の該当ページ(第4.5章)を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	石田
2	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念① 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
3	公衆衛生看護の展開方法① 地域診断 事前学修：[15分] 教科書の該当ページ(第1章、第10章)を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・演習	井口
4	地域看護・公衆衛生看護の理念・概念② 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
5	地域看護活動の場と特性① 職域保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	未定
6	地域看護活動の場と特性② 行政機関 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	井口
7	地域看護活動の場と特性③ 学校保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
8	地域看護活動の場と特性④ 在宅療養 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	西田
9	在宅療養患者のニーズと暮らし 事前学修：[15分] 文字盤の使い方の資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 配布資料を読み返す	講義・GW	石田
10	公衆衛生看護の対象① 母子保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田
11	公衆衛生看護の対象② 成人保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	未定
12	公衆衛生看護の対象③ 高齢者保健 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。授業で指定された宿題を実施する	講義・GW	井口

No	内容	形式	教員
13	公衆衛生看護の展開方法② 施策化 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義・GW	井口
14	国際協力と地域看護 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	吉川
15	健康危機管理 事前学修：[15分] 教科書の該当ページを読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料、教科書の該当ページを読み返す	講義	石田

■ 教科書

標美奈子他、標準保健師講座.1 公衆衛生看護学概論(第5版)医学書院 2020年

■ 参考書、参考資料等

適宜、紹介する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後2週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

2年次以降で学習するプライマリーヘルスケア、在宅看護学など地域関連科目及び保健師教育課程選択者の準備科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(20%)、定期試験(80%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の12:20~12:50。

石田(432研究室) 吉川(425研究室)井口(452研究室)西田(○研究室) 未定(445研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、授業への取り組み不足として減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
3. 試験はマークシート方式とする(変更の際は、事前に伝える)。

災害看護学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 科目ナンバー：HBID150

○内木 美恵、橋爪 朋子

■ 授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

■ 到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字に果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

■ 学習の進め方

・授業の展開：1学年を2クラスに分け講義形式で行う。
・科目担当者の実務経験から、災害看護に関する具体的な事例を取り上げ、災害現場や被災者の状況、救護班の活動のイメージができるように写真等も交えて紹介する。

1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
- 2.1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、災害と気候変動・災害の定義 事前学修：[30分] 昨今の災害についての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
2	災害看護の歴史と定義、赤十字における災害救護活動の実際 事前学修：[30分] 教科書の「A 災害看護のあゆみ」について読み発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
3	防災対策の基本(自助・共助・公助) 事前学修：[30分] 自助について説明できるよう調べ、自分が実際に行っている自助について発言できるようノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	内木
4	災害看護と法律・制度 事前学修：[30分] 災害発生時の法律について興味のあるものについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木
5	災害とところの変化 事前学修：[30分] ストレスについての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	内木
6	災害サイクルに対応した災害看護活動 事前学修：[30分] 災害サイクルについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
7	災害医療とトリアージの原則・方法 事前学修：[30分] 2種類のトリアージについて調べ概要が説明できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪

No	内容	形式	教員
8	災害と健康課題 コースサマリー 事前学修：[30分] 災害による健康課題について調べてノートにまとめる。 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成し提出する。授業を振り返り、課題レポートに取り組む。	講義・討論	橋爪

■ 教科書

浦田喜久子編(2021). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

1. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
2. 定期試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害看護に欠かせない基本的な知識を学習する。

■ 成績評価の仕方

定期試験(記述式) 60%、授業への取り組み(毎回のリフレクションペーパーの内容)を40%とし、総合して評価を行う。

※リフレクションペーパーの提出期限に遅れた場合は20%の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

1. 授業開講日の14:40~16:10 内木(406研究室)、橋爪(408研究室)
 2. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。
- ※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

■ 受講上の注意事項

★4年次の総合実習で【救急(災害)看護】を希望する学生は、赤十字の「救急法」を受講しておいてください。

※赤十字の「救急法」とは、①救急法基礎講習、②救急法養成講習を受講し、救急員認定を受ける講習のことです。

★令和4年度の大学での講習実施は感染状況をみて検討いたします。

各都道府県では、①救急法基礎講習のみ部分的に開講しています。個人で各都道府県の赤十字支部のホームページから申し込み受講することができます。

*現在は、看護学総合実習での受講条件としては、必須要件とはしていません。

災害看護学Ⅰ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年・編入3年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」連携 「3」探求 科目
ナンバー：HBID150

○内木 美恵、橋爪 朋子

■ 授業の目的

災害発生から自分や家族の身を守る防災や減災対策を習得すると同時に、災害という異常事態のなかで赤十字やその他の機関が行う救護活動の全体像から災害看護の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を養う。

■ 到達目標

1. 国内および国外で発生する大災害の現状と今日的課題について説明できる。
2. 災害看護の歴史的発展を理解する。
3. 災害救護活動における赤十字に果たす役割について説明できる。
4. 災害の概念、災害時の健康障害について理解する。
5. 災害時における、人々の生命や健康および生活を支えるために必要な看護の基本について説明できる。
6. トリアージの基本的知識と方法について説明できる。
7. 自己防災および地域防災の重要性とその実際について説明できる。

■ 学習の進め方

・授業の展開：1学年を2クラスに分け講義形式で行う。
・科目担当者の実務経験から、災害看護に関する具体的な事例を取り上げ、災害現場や被災者の状況、救護班の活動のイメージができるように写真等も交えて紹介する。

1. 授業終了後にリフレクションペーパーを記入し、学んだことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
- 2.1. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。
3. 出席確認は、Glexa 上の出席コードで行う。
4. 出席状況は適宜 Glexa に提示するので、各自、自分の出席状況を確認すること。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション、災害と気候変動・災害の定義 事前学修：[30分] 昨今の災害についての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
2	災害看護の歴史と定義、赤十字における災害救護活動の実際 事前学修：[30分] 教科書の「A 災害看護のあゆみ」について読み発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	橋爪
3	防災対策の基本(自助・共助・公助) 事前学修：[30分] 自助について説明できるよう調べ、自分が実際に行っている自助について発言できるようノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	内木
4	災害看護と法律・制度 事前学修：[30分] 災害発生時の法律について興味のあるものについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	内木
5	災害とところの変化 事前学修：[30分] ストレスについての文献や自身の体験を交えて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	内木
6	災害サイクルに対応した災害看護活動 事前学修：[30分] 災害サイクルについて調べノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	橋爪
7	災害医療とトリアージの原則・方法 事前学修：[30分] 2種類のトリアージについて調べ概要が説明できるようにノートにまとめる。 事後学修：[15分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	橋爪

No	内容	形式	教員
8	災害と健康課題 コースサマリー 事前学修：[30分] 災害による健康課題について調べてノートにまとめる。 事後学修：[120分] リフレクションペーパーを作成し提出する。授業を振り返り、課題レポートに取り組む。	講義・討論	橋爪

■ 教科書

浦田喜久子編(2021). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

1. リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、次回の講義で行う。
2. 定期試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したことを基盤に、被災者との関わり方や災害看護に欠かせない基本的な知識を学習する。

■ 成績評価の仕方

定期試験(記述式) 60%、授業への取り組み(毎回のリフレクションペーパーの内容)を 40%とし、総合して評価を行う。

※リフレクションペーパーの提出期限に遅れた場合は 20%の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

1. 授業開講日の 14:40~16:10 内木(406 研究室)、橋爪(408 研究室)
 2. 毎回のリフレクションペーパーでも質問を受け付ける。
- ※オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

■ 受講上の注意事項

★4年次の総合実習で【救急(災害)看護】を希望する学生は、赤十字の「救急法」を受講しておいてください。

※赤十字の「救急法」とは、①救急法基礎講習、②救急法養成講習を受講し、救急員認定を受ける講習のことです。

★令和4年度の大学での講習実施は感染状況をみて検討いたします。

各都道府県では、①救急法基礎講習のみ部分的に開講しています。個人で各都道府県の赤十字支部のホームページから申し込み受講することができます。

*現在は、看護学総合実習での受講条件としては、必須要件とはしていません。

看護援助論実習〔レベルⅠ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：後期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」探求 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：HBNP150

○川原由佳里、吉田みづ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、桑原雄三、守谷千明、田代幸子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、佐藤太一、佐藤明子、管野心葉、内藤なづな、柴田純子、山中源治

■ 授業の目的

臨床看護の場において看護ケアを必要としている人々との直接的な関わりを通して、個々人の必要とするニーズを理解し、既習の知識・技術を活用しながら基本的な看護援助の方法を学ぶ。

■ 到達目標

1. 対象者に積極的に関心をもつ
2. 対象者と自分との相互作用に気づき、対象者の身になって感じ、考える。
3. 対象者を生活者として把握する。
4. 健康上の問題が対象者の生活行動に及ぼす影響を理解する。
5. 対象者の、援助を必要とするニーズを理解する。
6. 既習の知識・技術を用いて対象者の健康に資するよう援助する。
7. 対象者のもつ力を活かすように援助する。
8. 行った看護を言語化し、吟味する。

■ 学習の進め方

1. 学内オリエンテーション：実習の目標、スケジュール、事前学習課題等を確認し、事前準備、実習に求められる知識や技術等について確認する。
2. 病院実習：入院中の患者を1～2名担当し、患者への関わりを通して必要なニーズを把握し、日常生活行動の援助を行う。その過程を通し、援助的な関係を深める。学生自身が看護の展開プロセスの中で気付いたり、感じ、考えたりしたことは、実習記録、カンファレンスで言語化し、グループメンバーとディスカッションできるようにする。
3. 学習体験発表・レポート：学習体験発表では、実習での学びを振り返り発表する。学習体験発表内容をさらに深めてレポートにまとめる。
4. 評価面接：学生が記録した自己評価表をもとに、学生と担当教員が評価面接を行う。実習での学びと課題について振り返る。
5. 状況に応じて臨地実習、学内実習、遠隔実習、オンデマンドの学習を組み合わせる可能性がある。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習日程：2022年1月16日(月)～1月27日(金)

実習場所：日本赤十字社医療センター、武蔵野赤十字病院、大森赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院

実習時間：8時30分～16時00分

*実習オリエンテーションは時間割を参照のこと。

*なお、レベルⅠ実習の一部として、2022年8月5日(金)に見学実習を行う。見学実習では、「さまざまな健康レベルにある人々への看護援助場面の見学を通して、援助の実際や場の特性を知る。」ことを目的とする。詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

実習オリエンテーションのときに、参考図書・資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

- ①最終面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う
- ②実習記録自己評価表の教員コメント欄にてフィードバックを行う

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰ、看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ①・Ⅲ②、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどの学習が土台になります。レベルⅠ実習履修に必要な科目の試験受験資格を有していること(「履修の手引き」の実習について：履修要件科目を参照のこと)

■ 成績評価の仕方

自己評価表に基づく面接35点、学習体験発表10点、実習への取り組み姿勢(実習オリエンテーション時の課題を含む)・カンファレンスへの参加度35点、課題レポート20点 合計100点で評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

実習オリエンテーション日の昼休み。 各施設責任者(各研究室)*各施設責任者名は別途資料を参照のこと。

■ 受講上の注意事項

実習オリエンテーションは、時間厳守で臨むこと。原則として、事前に連絡せずに実習オリエンテーションに遅刻、欠席した場合は、実習を履修できませんので注意してください。

実習形式、記録提出方法、および面接方法は状況により変更する可能性があります。

地域健康社会学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：1年次 開講期：前期 対応DP：「1」関係 「2」擁護 「3」連携 科目ナンバー：HBSS100

○若林 真美

■ 授業の目的

より良い地域社会を築くうえで、個々の健康づくり及び住民が主人公となり健康に暮らす地域づくりを、健康と地域社会のつながりの視点から学ぶ。

■ 到達目標

1. 一人ひとりの人間を多角的に理解することができる。
2. 人間の尊厳と権利を擁護する上での健康課題とその関連要因に気づくことができる。
3. 地域社会の中での健康の諸課題へ対応するため、課題とその対応を理解し、自分の言葉で表現できる。

■ 学習の進め方

AL

講義・議論・グループワークを通して、健康の社会決定要因とその対応について理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	健康とグローバリゼーション(「参加型授業の心構え」を含む。 事前学修：[15分] コロナ禍によって変化した自分の生活や行動について3つ以上あげ、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
2	健康の社会決定要因について考える 事前学修：[15分] 健康に影響を与える身近な例を3つ以上あげ、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
3	健康と雇用・収入・労働環境 事前学修：[15分] 労働環境が健康に与える影響について考え、3つ以上挙げる。それらがどのように健康に影響を与えているかを、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
4	健康と教育・ヘルスリテラシー・言語の壁 事前学修：[15分] もし外国人の患者さんの入院することになった場合、どのような配慮が必要か想像し、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
5	健康と性・ジェンダー・家族 事前学修：[15分] 自分の家族を思い浮かべ「母親」「父親」「自分」「兄弟・姉妹」「祖父母」等が立場によって期待される役割やそれらの違いを1つ挙げ、その違いを自分がどう感じるか、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
6	健康とコミュニティ・社会関係資本(ソーシャルキャピタル) 事前学修：[15分] 健康づくり、健康格差、貧困問題に取り組んでいる組織とその活動内容を調べ、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事前学習のまとめとリフレクションシートの記入、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林
7	グループプレゼンテーション 事前学修：[30分] 発表するグループプレゼンテーションを作成する。グループプレゼンテーション準備状況について、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] グループプレゼンテーション準備状況シートと各グループプレゼンテーションへのコメント表を、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林

No	内容	形式	教員
8	グループプレゼンテーション 事前学修：[30分] 発表するグループプレゼンテーションを作成する。グループプレゼンテーション準備状況について、指定用紙(A4の1枚)にまとめる。 事後学修：[30分] 事グループプレゼンテーション準備状況シートとグループプレゼンテーションへのコメント表を、Glexa上の指定された場所に提出。	講義・個人ワーク・ペアワーク・グループワーク	若林

■教科書

特定の教科書は使用しない。講義時に適時参考図書を紹介する。

■参考書、参考資料等

1. 武田裕子(編)格差時代の医療と社会的処方 病院の入り口に立てない人々を支えるSHD(健康の社会的決定要因)の視点
2. 石川ひろの、進藤雄三、山崎喜比古(著)系統別看護学講座-社会学-第6版

■フィードバックの仕方

フィードバックの仕方

1. フィードバックは、毎回のリフレクションシートのルーブリック評価にて行う。
2. 最終グループプレゼンテーション時に各グループへの口頭でフィードバックを行う。
【グループプレゼンテーションの方法】(詳細は授業で説明します)
 - 1.1 グループ3~4名。
 - 2.8分間の発表(1分間の質疑応答を含む)+フィードバック×8~9グループ
3. 事前準備：各グループで、「健康の社会的決定要因」から1つテーマを選び、そのテーマと健康がどのように結びついているのかについて調べ、自分たちの体験と結びつけながら自分たちの意見をまとめる。発表スライドを作る。各グループプレゼンテーションに関するコメントシートを記入して、提出する。
4. 準備状況として、①グループ内での自分の役割②各人の役割に関する進捗状況③自分のグループが選んだテーマに関する自分の考えを指定用紙(A4の1枚)にまとめたものを提出する。

■他の授業科目との関連

1年次後期に実施する地域看護学など地域関連科目と関連している。

■成績評価の仕方

授業への取り組み：事前学習のまとめとコメントシートの提出(各3~9点×6回)(54%)、
 グループプレゼンテーション準備(16%)：準備状況シートにて(第7、8回)確認する。
 グループプレゼンテーション参加と各グループへのコメント記入(30%)

■オフィスアワー・研究室等

講義の前後で対応します。また、質問等はメールでも対応します。

■受講上の注意事項

1. 授業内容を変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 欠席や遅刻は、授業への取り組み不足として減点の対象となる。提出期限の過ぎた課題は減点の対象となる。また、歩く、関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。
3. グループプレゼンテーションに参加できない場合は、教員に相談する。(グループプレゼンテーションの内容についてのレポートを1500字以上2000字以内にまとめて提出するという別課題を設ける)
4. レポートやコメントシートに関して、参考や引用した文章には必ず出典を明記すること。剽窃(ウェブ上の文章、本などを出典を明記せずにコピー)していることが発覚した場合は、減点の対象となる。
5. 授業は、皆さんの積極的な発言によって成り立ちます。どんどん積極的に発言しましょう。(授業中の質問、各グループプレゼンテーションへの質問は加点対象になる。)

中国語

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」関係 「3」成長 科目ナンバー：HBL104

○郭 嘉瑋

■ 授業の目的

「普通話」と呼ばれる現代標準中国語を学習対象にし、その発音と基礎的な文法を習得し、簡単な挨拶や日常会話ができるようになり、中国の文化や習慣について理解を深めることを目的とする。

■ 到達目標

- ①中国語の発音を習得する。
- ②中国語で簡単な挨拶や会話ができるようになる。
- ③名前や所属など簡単な自己紹介ができるようになる。
- ④日本と中国の文化の違いについて自分で考えられるようになる。

■ 学習の進め方

この授業は、以下のように進める。

1. 教員の解説を聞き、毎回の課題となる表現を習得するために、音読練習・会話練習を行う。
2. 中国語の発音、単語や文の理解度と定着度を測るため、小テストを行う。
3. 授業後はノートにまとめた内容を復習するだけでなく、学んだ発音や単語・文を次回までにより正確に発音できるようくりかえし練習する。

この授業は「講義」だけでなく、ひとりひとりの学生に実際に声に出して発音や文を練習し、習得することを求める。したがって授業形態は「講義」と「演習」を併用するかたちで実施する。さらに、授業を進めていく中で、中国語圏の人々の文化や思考、感覚、現代中国社会、および医療に関する話題についても触れる。ことばの理解のみならず、文化や社会についても理解を深める。授業参加者には、異文化や多様性に関心を寄せ、積極的に理解しようとする姿勢が期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 事前学修：[15 分] 身の回りにある中国語や中国文化を探し、メモする 事後学修：[15 分] 授業内容を復習し、気づきや感想、およびこの授業で勉強したいことを 200 字程度にまとめる	講義・演習	郭
2	発音(1)：中国語についての概要・声調・単母音 事前学修：[15 分] 事後学習に必要な道具(ノートや教科書など)を準備し、教科書 6-7 頁を読み、知らなかった内容や興味のある内容をノートに書きだす 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 8 頁の「声調」と「単母音」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
3	発音(2)：子音 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、8 頁の「声調」と「単母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 9 頁の「子音」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
4	発音(3)：複合母音・-n、-ng をともなう母音 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、9 頁の「子音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 10 頁「複合母音」・11 頁「-n、-ng をともなう母音」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
5	発音(4)：ピンイン書き換えのルール・軽声・変調・数字 1～10 の言い方 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、10 頁「複合母音」・11 頁「-n、-ng をともなう母音」を復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、数字 1～10 を暗記する	講義・演習	郭
6	発音(5)：発音のまとめ・「あいさつ」 【小テスト(1)】発音の聴き取り 事前学修：[30 分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、ここまで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：[60 分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CD を聞いて 63 頁「あいさつ」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭

No	内容	形式	教員
7	第1課 新出単語・会話・文法ポイント解説 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、ここまでで学んだ発音を教科書やノートを見返し復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて14頁「会話」・15頁「ポイント1」を正しい発音の後についてくりかえし練習する	講義・演習	郭
8	第2課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(1)〕名前を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第1課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて18頁「会話」・19頁「ポイント2」、および名前の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
9	第3課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(2)〕大学名・専攻・学年を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第2課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて22頁「会話」・23頁「ポイント3」、および大学名・専攻・学年の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
10	第4課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔小テスト(2)〕自分の名前、大学名、専攻、学年を紹介する 事前学修：[60分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第3課の内容を復習する、自分の名前、大学名、専攻、学年の紹介を練習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて26頁「会話」・27頁「ポイント4」をくりかえし練習する	講義・演習	郭
11	第5課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(3)〕誕生日・年齢を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第4課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて30頁「会話」・31頁「ポイント5」、および誕生日・年齢の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
12	第6課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(4)〕住まい(実家)を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第5課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて34頁「会話」・35頁「ポイント6」、および住まい(実家)の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
13	第7課 新出単語・会話・文法ポイント解説 〔自己紹介(5)〕家族を紹介する 事前学修：[30分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第6課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、CDを聞いて38頁「会話」・39頁「ポイント7」、および家族の紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
14	補足語句・ドリル 〔自己紹介(6)〕趣味や好きなもの 〔小テスト(3)〕互いの情報の聞き合う 事前学修：[60分] 事後学習の定着度を数回発音して確認し、第1-7課の内容を復習する 事後学修：[60分] 授業内容をノートにまとめた上でよく復習し、補足語句、および趣味や好きなものの紹介ができるようくりかえし練習する	講義・演習	郭
15	総合練習 事前学修：[60分] 前期に学んだ表現を用いて「自己紹介」を書く 事後学修：[120分] 授業内容全体を復習し、「自己紹介」ができるようくりかえし練習する、関心のある中国の文化や社会に関する話題を一つ選んで調べ、発表できるようにまとめる	講義・演習	郭

■教科書

竹島金吾監、尹景春、竹島毅著(2012).《最新2訂版》中国語はじめての一步. 白水社.

■参考書、参考資料等

小野秀樹著(2018).『中国人のこころ：「ことば」からみる思考と感覚』. 初版. 集英社.

■フィードバックの仕方

試験のフィードバックは試験終了直後に、口頭での解説または解説資料の配布を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

初めて中国語を習う学生を対象にしていますので、予備知識は必要ありません。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 20 %、小テスト 30 %、定期試験 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。

フランス語

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」実践 「2」国際貢献 「3」成長 科目ナンバー：HBSL154

○西村 友樹雄

■ 授業の目的

フランス語の文法の基礎と、それを用いたフランス語コミュニケーションの基礎を学ぶ。

■ 到達目標

- ・簡単な会話や作文ができるようになる。
- ・フランス文化に対する理解を深める。

■ 学習の進め方

会話文をもとに基本文法をおさえ、ペア・ワークを含むさまざまなアクティビティをとおして、実践的にフランス語を学んでいきます。また時間の許すかぎり、ニュースや映像、音楽などを用いて、フランス文化の紹介も行います。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 事前学修：[20 分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[20 分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西村
2	Leçon1 自己紹介する 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
3	Leçon1 名前、国籍、出身地を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
4	Leçon2 人について語る 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
5	Leçon2 職業名、住んでいるところ、話せる言語を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
6	Leçon3 持ち物についてたずねる 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
7	Leçon3 身の回りのものについて 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
8	Leçon4 好き・嫌いを言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
9	Leçon4 趣味・活動について 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
10	Leçon5 行先を言う 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
11	Leçon5 施設・場所について 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村
12	Leçon6 紹介する 事前学修：[20 分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40 分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西村

No	内容	形式	教員
13	Leçon6 家族について 事前学修：[20分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40分] 学んだ内容の復習、授業で行った練習問題の見直し	講義・演習	西脇
14	Supplément 2 カフェで注文する 事前学修：[20分] 教科書に目を通す。音声を聞き発音する。疑問点をチェックする。 事後学修：[40分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇
15	まとめ 事前学修：[90分] 全体を振り返り、疑問点があれば整理しておく。 事後学修：[30分] 学んだ内容の復習	講義・演習	西脇

■ 教科書

北村垂矢子・Vincent Durrenberger 著、『新・オン プラティック! -使える・発音(はな)せるフランス語-』、朝日出版社、2017

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後、Glexa 上に模範解答を提示して行う。

■ 他の授業科目との関連

「国際関係論」など、国際貢献にかかわるような科目とつながります。
また、フランス語が話されている地域への留学・海外研修で使える知識を提供します。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(50%) 2. 試験(50%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつけます。また授業初回に質問・連絡用のメールアドレスを伝えます。

■ 受講上の注意事項

授業でわからないことがあるなど、困ったことがあれば遠慮せず口頭・メールどちらでもよいので聞いてください。

科目一覧

★赤十字概論★ (○角田 敦彦)	1
★心理学概論★ (○遠藤 公久)	3
★教育学概論★ (○渋谷 真樹)	5
★現代教育論★ (○渋谷 真樹)	7
★身体運動論Ⅰ(理論)★ (○伊藤 麻希)	9
★身体運動論Ⅱ(実技)★ (○伊藤 麻希)	11
★身体運動論Ⅱ(実技)★ (○伊藤 麻希)	14
★身体運動論Ⅱ(実技)★ (○伊藤 麻希)	17
★身体運動論Ⅱ(実技)★ (○伊藤 麻希)	20
★社会学概論★ (○鷹田 佳典)	23
★国際関係論★ (○角田 敦彦)	25
★日本国憲法★ (○多田 庶弘)	27
★地域健康社会学★ (○若林 真美)	29
★基礎数学★ (○山下 龍生)	31
★基礎統計学★ (○山下 龍生)	33
★化学★ (○三好 洋)	35
★情報リテラシー★ (○川崎 洋平、鷹田 佳典)	38
★日本語の表現★ (○越後 敬子)	40
★日本語の表現★ (○越後 敬子)	42
★英語 R1-1 ★ (○川崎 修一)	44
★英語 R1-1 ★ (○遠藤 花子)	46
★英語 R1-1 ★ (○川崎 修一)	48
★英語 R1-1 ★ (○遠藤 花子)	50
★英語 R1-2 ★ (○遠藤 花子)	52
★英語 R1-2 ★ (○川崎 修一)	54
★英語 R1-2 ★ (○遠藤 花子)	56
★英語 R1-2 ★ (○川崎 修一)	58
★英語 W1-1 ★ (○ Sam Bamkin)	60
★英語 W1-1 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	62
★英語 W1-1 ★ (○ Sam Bamkin)	64
★英語 W1-1 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	66
★英語 W1-2 ★ (○ Sam Bamkin)	68
★英語 W1-2 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	70
★英語 W1-2 ★ (○ Sam Bamkin)	72
★英語 W1-2 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	74
★英語 LS1-1 ★ (○ Benjamin Tutcher)	76
★英語 LS1-1 ★ (○ Sam Bamkin)	78
★英語 LS1-1 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	81
★英語 LS1-1 ★ (○ Benjamin Tutcher)	83
★英語 LS1-1 ★ (○ Sam Bamkin)	85
★英語 LS1-1 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	88
★英語 LS1-2 ★ (○ Benjamin Tutcher)	90
★英語 LS1-2 ★ (○ Sam Bamkin)	92
★英語 LS1-2 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	94
★英語 LS1-2 ★ (○ Benjamin Tutcher)	96
★英語 LS1-2 ★ (○ Sam Bamkin)	98
★英語 LS1-2 ★ (○ Michelle van Bokhorst)	100
★語学研修★ (○遠藤 花子)	102
★中国語★ (○郭 嘉璋)	103
★フランス語★ (○西村 友樹雄)	106
★人体の構造と機能Ⅰ(解剖と生理①)★ (○井上 明宏)	108
★人体の構造と機能Ⅰ(解剖と生理①)★ (○井上 明宏)	110
★人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)★ (○井上 明宏)	112
★人体の構造と機能Ⅱ(解剖と生理②)★ (○井上 明宏)	114

★人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)★ (○誉田 晴夫)	116
★人体の構造と機能Ⅲ(生体防御と代謝/生化学、感染)★ (○誉田 晴夫)	118
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ(病理学総論、内分泌・代謝、消化器)★ (○井上 明宏、吉田 英雄、高屋 和彦)	120
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)★ (○井上 明宏、出雲 雄大、石橋 由孝)	122
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、感覚器)★ (○井上 明宏、河村 直洋、田中 滋之、伊藤 英也、井桁 之総、伊地 俊介、堀内 恵美子、舟木 俊成、物部 寛子、今門 純久、未定)	124
★研究基礎Ⅰ★ (○川崎 洋平、川崎 修一、角田 敦彦、井上 明宏、遠藤 公久、遠藤 花子、鷹田 佳典、越後 敬子、伊藤 麻希、鈴木 勝己)	126
★看護学概論Ⅰ★ (○川原 由佳里)	129
★看護学概論Ⅰ★ (○川原 由佳里)	131
★看護技術論Ⅰ(援助的人間関係)★ (○堀川 英起、堀井 湖浪、武井 麻子、田代 祐子、林田 聖子、内藤 なづな)	133
★看護技術論Ⅰ(援助的人間関係)★ (○古城門 靖子、渋谷 真樹、鷹野 朋実、佐々木 幾美、冨澤 真紀、池田 良輔子)	135
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)★ (○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈)	137
★看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)★ (○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈)	139
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)★ (○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈)	141
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)★ (○樋口 佳栄、細野 知子、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 里奈)	143
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)★ (○細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 みつ子、吉田 里奈)	145
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)★ (○細野 知子、樋口 佳栄、鬼頭 幸子、遠山 義人、吉良 理絵、桑原 雄三、守谷 千明、田代 幸子、佐藤 明子、吉田 みつ子、吉田 里奈)	147
★看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)★ (○清田 明美)	149
★看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)★ (○清田 明美)	151
★地域看護学★ (○石田 千絵、吉川 悦子、井口 理、西田 志穂、佐藤 太一)	153
★災害看護学Ⅰ★ (○内木 美恵、橋爪 朋子)	155
★災害看護学Ⅰ★ (○内木 美恵、橋爪 朋子)	157
★看護援助論実習〔レベルⅠ〕★ (○川原由佳里、吉田みつ子、樋口佳栄、細野知子、吉良理絵、鬼頭幸子、遠山義人、吉田里奈、田中孝美、河田照絵、桑原雄三、守谷千明、田代幸子、西田朋子、織方愛、橋爪朋子、佐藤太一、佐藤明子、菅野心葉、内藤なづな、柴田純子、山中源治)	159
★地域健康社会学★ (○若林 真美)	161
★中国語★ (○郭 嘉璋)	163
★フランス語★ (○西村 友樹雄)	166